### 現場説明事項

工事名称 市立難波田城資料館空調設備更新工事

担当部署 総合政策部 管財課

#### 「説明事項」

1. 工事目的

本工事は、空調設備の老朽化に伴う更新工事及び、照明器具のLED化を行う。

2. 工事概要

特記仕様書、設計図書による。

3. 工事範囲

本工事の目的上必要と思われる、仮設材、安全措置(ガードフェンス・バリケード等)も本工事に含む。

#### 4. 特記事項

- 1) 工事関係車両については、難波田城資料館南駐車場(仮設図参照)を使用し、指定場所 以外に違法駐車をしないこと。
- 2) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。
- 3) 近隣住宅地及び周辺道路等に対して、安全面を十分に考慮し工事を進行すること。 また、騒音、振動、異臭等、支障があると思われる工事は、十分に協議を行うこと。
- 4) 工事について

公園は開園をしています。資料館のみの休館です。

仮設工事及び展示物、備品等の梱包・移動・保管は、10 月 9 日 (水) から作業を行い完 了後、着工とする。また、令和 2 年 2 月 28 日 (木) までに、保管している展示物、備 品等の復旧も含め完了とする。

事務室工事については、休館日の毎週月曜日とする。

- 5) 竣工図の原図は、監督員と協議の上、CAD データを修正したものから作成すること。
- 6) 提出書類については、富士見市様式にて遅滞無く提出すること。

### 参考資料

# 設計 仕様書

工事名称

市立難波田城資料館空調設備更新工事

工事場所

富士見市 大字下南畑 地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称	市立難波田城資						
請負丁事費							
工事概要	資料館、売店、納 資料館、売店、納 上記改修に伴う建	屋の空調設備の見 屋の照明器具のL 築工事	更新 .ED化				
総	括	表				下段 原	計変更 設計
名称	摘要	数量	単 位	金	額	備	考
直接工事費							
建築工事		1	式				
電気設備工事		1	式				
機械設備工事		1	式				
計		1	式				
共 通 仮 設 費		1	<b></b>				
純 工 事 費							
現 場 経 費		1	式				
工 事 原 価							
一般管理費		1	式				
工 事 価 格							
消費税相当額		1	式			10%	
請負工事費							

						<del></del>
					積 算 用 紙	下段 原設計
名 称	摘   要	数量	単位	単 価	金額	備考
工事共通仮設費						
	予備調査、敷地整理、その他に要			_		
準備費	する費用	1.0	式			
	倉庫、下小屋、現場事務所					
仮設建物費	作業員施設等の費用	1.0	式			
	場内通信設備等の工事用施設に					
工事施設費	要する費用	1.0	式			
	安全標識、消火設備等の施設の設置					
環境安全費	隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
	工事用電気設備及び工事用給排					(共通仮設費率
動力用水光熱費	水設備とその料金に要する費用	支給				(積上げ)
	屋外跡片付け、屋外発生材の処分					
屋外整理清掃費	等の整理清掃に要する費用	1.0	式			
	測量機器及び雑機械器具に要す					
機械器具費	る費用	1.0	式			
その他	材料試験等に要する費用	1.0	式			
				-		
計						
	(F	P.共通 — 2		)		富士見市総合政策部管財

変更設計

上段

上段 変更設計 下段 原 設計

								1权 原 取
名 称	摘   要	数量	単位	単	価	金	額	備考
共通仮設工事								
カ゛ート゛フェンス	1800 × 1800	135. 0	m					
キャスターケ゛ート	W3.6 × H2.0	1.0	ヶ所					
キャスターケ゛ート	W6.0 × H2.0	1.0	ヶ所					
	10人程度	1.0	式					
収蔵庫内備品								
撤去•再設置費	梱包・場外一時保管含む	1.0	式					
展示物撤去・再設置費	場外一時保管含む	1.0	式					別紙明細-1
警備センサー								
一時撤去・再取付		1.0	式					
小計								

( - 積上げ - ) 富士見市 総合政策部 管財課

上段 変更設計 下段 原 設計

												1、段		IX FI
	名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
A	建築工事													
1	直接仮設工	事 ————————————————————————————————————				1.0	式							
2	木工事					1.0	式							
3	金属工事					1.0	式							
4	塗装工事					1.0	式							
5	内装工事					1.0	式							
							I.							
6	撤去工事					1.0	式							
_	L= 11						_15							
7	処分費					1.0	式							
	=1													
	小計													
	<b>3.5</b>					1 0	<u>-</u>							
8	スクラップ					1.0	式		`			<b>☆</b> 1 日 士		

( P.A - 1 - ) 富士見市 総合政策部 管財課

												1		//下	HA FI
	名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額		備	考	
1	直接仮記	设工事													
-															
	* 4 # /				0	10.0	2								
_	養生質(	内部改修)	複合改修		3	18. 0	m³								
							_								
	整理清掃	後片付け(内部改修)	複合改修		3	18. 0	m³								
	   養生費(	内部改修)	搬出入路部分			88. 7	m <sup>²</sup>								
		 後片付け(内部改修)				88. 7	m²								
-	正元月加	及//   111/ (F 1日) (P)			'	00. 7	'''								
<u> </u>															
	内部仕」	二足場(改修)	脚立足場		3	18. 0	m³								
		計													
	<u> </u>	HI													

		P.A - 2 -	)	富士見市	総合政策部	管財課
--	--	-----------	---	------	-------	-----

上段 変更設計 下段 原 設計

							I				以口
	名称	摘    要	数量	単位	単	価	金	額	備	考	
2	木工事										
	野縁組	40 × 45 × @450	14. 4	m <sup>*</sup>							
	天井 ラワン合板	厚9.0 1類 見え隠れ	26. 4	m <sup>*</sup>							
	天井										
	天然木化粧合板	厚5.0 素地仕上	19.3	mi							
	天井										
	   縁甲板張り		7. 1	m³							
	天井										
		44 00 07	0.4								
	<b>羊縁</b>	杉 36×27	8.4	m							
	室外機 木製カバー	2か所	1.0	式							
	計										
	L		1				I		 		

( P.A - 3 - ) 富士見市 総合政策部 管財課

													<i>が</i> 下 I	<b>У</b> РТ
	名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
3	金属工	<b></b>												
	   軽量鉄も	骨天井下地	19形 @225 直			57. 2	m <sup>2</sup>							
	T1 = 30	H 7(7) 1 25	10/1/ (220 )	- JK/13										
	   故豊姓は	骨天井下地	19形 @300 直	7E FF		17. 4	m²							
	牡里政	月入开下地	19/15 @300 E	ביו אולי		17.4	111							
	+코 III ALI	u - u		Lacida II		20.0	2							
	軽重鉄†	骨天井下地	19形 @360 下均	1張りあり 		20.0	m <sup>*</sup>							
	天井点村	<b></b>	アルミ製 600角 内外	枠共額縁		13.0	ヶ所							
	開口補強	È	300×1200程度			2. 0	ヶ所							
		<del>-</del> 1												
		計												

P. A - 4 - )	富士見市	総合政策部	管財課
--------------	------	-------	-----

上段 変更設計 下段 原 設計

													<i>까</i> I	
	名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
4	塗装工事													
	天井													
							2							
	EP-G塗り		ホート・面 B種			3. 0	m <sup>*</sup>							
	天井													
	素地ごしらえ		ケイカル板面 A	種		3.0	m							
	天井													
		*****	1 +0 -1=			20.4	2							
	木材保護塗料	塗り(WP) 	木部 B種			26. 4	m <sup>*</sup>							
	天井													
	素地ごしらえ		木部 B種			26.4	m <sup>*</sup>							
	天井													
	木材保護塗料	涂り(WP)	木部細巾物(	 R種		8. 4	m							
	天井	<u> </u>	214 Helle Hall 12 1			<u> </u>								
			1 +- 6- 1 44											
	素地ごしらえ		木部細巾物	A種 ——————		8. 4	m							
	   <b>計</b>													
<u> </u>														

( P.A - 5 - ) 富士見市 総合政策部 管財課

				T .		I I					1 1 12	<i>J</i> /T F	<u>,</u>
	名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
5	内装工事												
_													
	天井												
	ロックウール吸音板	厚12.0 凹凸タイプ	PB9.5共		8. 0	m <sup>*</sup>							
	天井												
	フレキシフ゛ルホ゛ート゛	厚6.0 目透し			3.0	m <sup>*</sup>							
	天井												
	│ │化粧石膏ボード	厚9.5 突付け			54. 2	m²							
	天井												
	プラブ	厚12.5 突付け			17. 4	m <sup>*</sup>							
_		净12.5 天图1	'		17. 4								
	天井												
	ヒ゛ニールクロス	量産品			17. 4	m¹							
	天井												
	塩ビ廻り縁				32. 7	m							
	天井												
	│ │既存建具一時撤去•再取付				33.5	m <sup>*</sup>							
_													
	計												

P.A - 6 -	)	富士見市	総合政策部	管財課

 上段
 変更設計

 下段
 原 設計

				T					T.			< μ I
	名称	摘	要	数量	単位	単	価	金	額	備	考	
6	撤去工事											
	天井											
	合板・ボード撤去	一重張り		74. 6	m <sup>*</sup>							
	天井											
	合板・ボード撤去	二重張り		34. 4	m¹							
	天井											
	ビニールクロス撤去			17. 4	m¹							
	天井											
	下地撤去			109.0	m <sup>*</sup>							
	天井											
	竿縁撤去			8. 4	m							
	天井点検口撤去	600角		7.0	ヶ所							
	201 M 20 - 11M 2											
	計			( 5 :						<b>☆</b>		

( P.A - 7 - ) 富士見市 総合政策部 管財課

上段 変更設計 下段 原 設計

	<i>H</i>	<i>=</i> 11.	مارا		Net	—	37771	))/	/ <del></del>		phore	1+12	-	ну н г
	名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
7	処分費													
			2t車 DID無し 8	 5.5km以下										
	発生材:	運搬	石膏ボード類			0.8	m³							
	70	~= 1/1/2	2t車 DID無し 8											
	発生材:	電搬	木材類 人力科			1.3	m³							
	五二四		/ ハイガ 大只 / ハノ J 1.			1.0								
	発生材	処分	石膏ボード(再生	生)		0.8	m³							
	発生材	処分	木くず(再生)			0.5	m³							
	発生材	処分	解体系混合廃	————— 棄物		0.4	m³							
	70-11	<i>,</i> _,,	7711171725 1175	>IN 173										
	発生材	加公	金属くず			0. 4	m³							
	光生物	<b>処力</b>	並属\9			0.4	111							
		計												

( P.A - 8 - ) 富士見市 総合政策部 管財課

上段 変更設計 下段 原 設計

											1		界 設計
	名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
8	スクラップ												
	スクラップ		H4			0.3	t						
		<del>i</del> †											
	<u> </u>	•											

P. A - 9 -	)	富士見市	総合政策部	管財課

上段 変更設計 下段 原 設計

 名 称	摘    要	数量	単位	単価	金額	備 考
別紙明細-1						
展示物撤去・再設置費						
	ジオラマ樹木及び石碑は、現場					
展示物撤去・養生作業	養生のみ	1.0	式			
	- 展示ガラスケース (養生及び搬出) 	・地形模型( (養生及び W950×D7 W1300×D ・水辺ジオラ (取外し、養	機出) 00×H: 1000× うマ養生	300 1台 H300 1台	-グラフィックパネル (取外し、養生及び搬出) W600×H900 18点 W900×H900 4点 W1200×H900 1点 W1800×H1200 1点 W900×H450 2点	・樹木展示 (現場養生のみ) ・石碑レプリカ (現場養生のみ)
一時保管レンタルルーム		3.0	ヶ月			
再設置作業		1.0	式			
運搬費	4tトラックチャーター 運び手	2.0	回			
その他現場管理費	車両 交通費	3.0	日			
計						
改め						

(P. A. 別 - 1 - )

富士見市 総合政策部 管財課

	名	称	摘	要	米行	量	単位	単	価	金	 額	<u> </u> 備	 考	
	<u> </u>	ላነን	710	女	女人	里	于14	于	ІЩ	<u> </u>	11/1	V/FI	77	
Е	電気設備	[事												
1	電灯コンヤ	アント設備工事				1.0	式							
2	弱電設備	[事				1.0	式							
3	大報設備 二	<b></b>				1.0	式							
	産業廃棄物					1.0	式							
	<b>庄</b> 未完未作					1.0	14							
		合計												

(	P. E - 1 -	)	富士見市	総合政策部	管財課

 上段
 変更設計

 下段
 原 設計

名称	摘   要	数量	単位	単 個	金	額	備考	
1 電灯コンセント設備工事								
新設 LED照明器具	25001m							
A321	埋込型 32W-1灯相当	10.0	個					
新設 LED照明器具	52001m							
A322	埋込型 32W-2灯相当	40.0	個					
新設 LED照明器具	52001m							
A322B	埋込型 32W-2灯 BT付相当	3.0	個					
新設 LED照明器具	25001m LSS9-4-23							
B321	富士型 32W-1灯相当	1.0	個					
新設 LED照明器具	52001m							
B322	富士型 32W-2灯相当	12.0	個					
新設 LED照明器具	52001m							
B322B	富士型 32W-2灯 BT付相当	2.0	個					
新設 LED照明器具	32001m							
B162	富士型 16W-2灯相当	1.0	個					
新設 LED照明器具	52001m							
C322	直付反射笠型 32W-2相当	3.0	個					
新設 LED照明器具	9801m							
D201	棚下灯 20W-1相当	1.0	個					
新設 LED照明器具	32001m							
E321	埋込型黒板灯 32W-1灯相当	2. 0	個					

( P.E - 2 - ) 富士見市 総合政策部 管財課

 上段
 変更設計

 下段
 原 設計

名称	摘   要	数量	単位	単	価	金	額	備	考	
新設 LED照明器具	φ 100									
F09	埋込型ダウンライト 60形	4. 0	個							
新設 LED照明器具	φ 150									
F27	埋込型ダウンライト 150形	4.0	個							
新設 LED照明器具	和風 φ 150									
FW27	埋込型ダウンライト 150形	38.0	個							
新設 LED照明器具	25001m									
G321	直付型 32W-1灯	92.0	個							
新設 LED照明器具	22101m									
H321	ウォールライト 32W-1火丁	2.0	個							
新設 LED照明器具	10201m									
H201	ウォールライト 20W-1火丁	1. 0	個							
新設 LED照明器具	φ150 防雨型 9951m									
160	埋込形ダウンライト FDL27形相当	4. 0	個							
新設 LED照明器具	φ 150 ハロケン電球30形相当									
K1B	埋込形非常灯	14. 0	個							
新設 LED照明器具										
N18	ブラケット形 100形電球1灯相当	5. 0	個							
新設 LED照明器具	5551m J12V75形(50W)器具相当									
P50	埋込形ユニハ゛ーサルタ゛ウンライト 100形	19. 0	個							
							-			

( P.E - 3 - ) 富士見市 総合政策部 管財課

上段 変更設計 下段 原 設計

名称	摘   要	数量	単位	単 価	金 額	備考
撤去 照明器具						
A41	埋込形 40W-1灯	10.0	個			
撤去 照明器具						
A42	埋込形 40W-2灯	38. 0	個			
撤去 照明器具						
A42B	埋込形 40W-2灯 BT付	3.0	個			
撤去 照明器具						
B41	富士形 40W-1灯	1.0	個			
撤去 照明器具						
B42	富士形 40W-2灯	14.0	個			
撤去 照明器具						
B42B	富士形 40W-2灯 BT付	2.0	個			
撤去 照明器具						
B22	富士形 20W-2灯	1.0	個			
撤去 照明器具						
C42	反射笠形 40W-2灯	3.0	個			
撤去 照明器具						
D21	棚下灯 20W-1	1.0	個			
撤去 照明器具						
E41	埋込形黒板灯 40W-1灯	2.0	個			
撤去 照明器具						
F9	世込形ダウンライト 9W	4.0	個			

( P.E - 4 - ) 富士見市 総合政策部 管財課

上段 変更設計 下段 原 設計

名称	摘   要	数量	単位	単 価	金額	備考
撤去 照明器具						
F18	埋込形ダウンライト 18W	4. 0	個			
撤去 照明器具						
F27	埋込形ダウンライト 27W	38. 0	個			
撤去 照明器具						
G41	トラフ形 40W-1灯	86. 0	個			
撤去 照明器具						
G41G	トラフ形 40W−1灯 ガード付	4. 0	個			
撤去 照明器具						
H41	ブラケッ形 40W-1灯 カバー付	2. 0	個			
撤去 照明器具						
H21	ブラケット形 20W-1灯 カバー付	1.0	個			
撤去 照明器具						
I60W WP	埋込形ダウンライト 60W	4. 0	個			
撤去 照明器具						
K1B	埋込形非常灯	14. 0	個			
撤去 照明器具						
N18W	ブラケット形 18W	5. 0	個			
撤去 照明器具						
P50	埋込形ユニハ゛ーサルタ゛ウンライト	19. 0	個			
撤去 照明器具						
Q60	コート゛ヘ゜ンタ゛ント	2. 0	個			

( P.E - 5 - ) 富士見市 総合政策部 管財課

上段 変更設計 下段 原 設計

	<del>_</del>		
名 称	摘   要	数 量 単位 単 価 金 額	備考
電源切離し接続費	動力空調室外機 直入	3.0 箇所	
小計			
		( D.C. c )	

( P.E - 6 - ) 富士見市 総合政策部 管財課

					No.							<u> </u>	1 +又	- /	
	名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額		備	考	
		<b>+</b> -													
2	弱電設備工事	<b>₽</b>													
	撤去再取付	スト゜ーカー	天井埋込型 /	 \TT∰:		3. 0	個								
_	الكلا	/\c/\	77714224	11 1 ////			IIE4								
			_												-
	小計														
	. 1 HI														

P.E - 7 - 富士見市	総合政策部	管財調
----------------	-------	-----

上段 変更設計 下段 原 設計

										I		1 12	が下す	, дет Н
	名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
		<del></del>												
3	火報設備工具	<u></u>												
	撤去再取付	威知器	差動式2種			6. 0	個							
	3,4,4,4,4,4,4,4,4,4,4,4,4,4,4,4,4,4,4,4	<b>75</b> (7) (1) HA	71.07. 1-11				"							
	消防検査立会	会	P-1			1.0	工事							
	1													
<u> </u>														
	小計													
L												1		

( P.E - 8 - ) 富士見市 総合政策部 管財課

上段 変更設計 下段 原 設計

										1	I`B		成訂
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
産業廃棄	物机分费												
 生术光米													
照明器具	処分				1.0	式							
同上用収	集運搬費				1.0	回							
	.,,,												
11 11 2 5 2 5 11 2	<b>、</b>	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\				-1-							
 リサイクル処ろ	j 	蛍光管			1.0	式							
同上用収	集運搬費	リサイクル施設まで			1.0	回							
.l. <b>⇒</b> l.													
小計								\			<b>☆</b>		

P.E - 9 -	)	富士見市	総合政策部	管財課

													1 +12	- 小	С н 1
	名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額		備	考	
   <sub>1.7</sub>	投資金	<b>*</b>													
IVI	機械設備	月上尹													
l 1	空気調利	1設備工事	難波田城資料館			1. 0	式								
È			人口/从吴 1 TAI			1. 0	- 4								
2	換気設備	<b>青工事</b>	IJ			1.0	式								
3	撤去工事	<b>1</b>	IJ			1.0	式								
,		: 古帝:	如見・吉広			1 0	式								
4		5店空調設備工事	納屋・売店			1.0	工人								
1 5	納屋•売	5店撤去工事	IJ			1.0	式								
H	1/11 1/21 21					1.0									
6	処分・遺	<b>運搬費</b>				1.0	式								
													<u> </u>		
		合計													
	1									1		1			

P.M - 1 -	)	富士見市	総合政策部	管財課

上段 変更設計 下段 原 設計

	Т													ПТП
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額		備	考	
空気調和	1設備工事													
	, EX MII — 1.													
		. I . mt etc				1.								
AC-1	EHP室外機	床置型、56.0 	)kw#彡		1.0	台								
AC-2	EHP室外機	床置型、28.0	kw形		1.0	台								
ΔC-3	FHP宏从機		lzw⊞Ź		1 0	台								
INC 5	LIII 主/門及	<u> </u>	(KW) >		1.0									
搬入費		揚重機含む			1.0	式								
AC-1-1														
天埋ダク	ト型室内機	冷 11.2kW、	暖 12.5kW		2.0	台								
AC-1-2														
天埋ダク	ト型室内機	冷 7.1kW 版	爰 8.0kW		2.0	台								
AC-1-3														
天埋ダク	ト型室内機	冷 7.1kW 時	爰 8.0kW		2. 0	台								
AC-2-1		標準パネル												
4方向天井	中カセット型室内機	冷 11.2kW	暖 12.5kW		2. 0	台								
AC-2-2		標準パネル												
4方向天井	<b></b> 中カセット型室内機	冷 5.6kW 與	爰 6.3kW		1.0	台								
AC-3-1		標準パネル												
4方向天井	<b></b> 中カセット型室内機	冷 14.0kW	暖 16.0kW		1.0	台								
	AC-1 AC-2 AC-3 搬入費 AC-1-1 天埋ダク AC-1-2 天埋ダク AC-1-3 天埋ダク AC-2-1 4方向天封 AC-2-2 4方向天封 AC-3-1	空気調和設備工事 AC-1 EHP室外機 AC-2 EHP室外機 AC-3 EHP室外機 搬入費 AC-1-1 天埋ダクト型室内機 AC-1-2 天埋ダクト型室内機 AC-1-3 天埋ダクト型室内機 AC-2-1 4方向天井カセット型室内機 AC-2-2 4方向天井カセット型室内機	空気調和設備工事  AC-1 EHP室外機 床置型、56.0  AC-2 EHP室外機 床置型、28.0  AC-3 EHP室外機 床置型、28.0  搬入費 揚重機含む	空気調和設備工事       床置型、56.0kw形         AC-1       EHP室外機       床置型、28.0kw形         AC-3       EHP室外機       床置型、28.0kw形         撮入費       揚重機含む         AC-1-1       天埋ダクト型室内機       冷 11.2kW、暖 12.5kW         AC-1-2       天埋ダクト型室内機       冷 7.1kW 暖 8.0kW         AC-1-3       天埋ダクト型室内機       冷 7.1kW 暖 8.0kW         AC-2-1       標準パネル         4方向天井カセット型室内機       冷 11.2kW 暖 12.5kW         AC-2-2       標準パネル         4方向天井カセット型室内機       冷 5.6kW 暖 6.3kW         AC-3-1       標準パネル	空気調和設備工事       床置型、56.0kw形         AC-2       EHP室外機       床置型、28.0kw形         AC-3       EHP室外機       床置型、28.0kw形         機入費       揚重機含む         AC-1-1       天埋ダクト型室内機       冷 11.2kW、暖 12.5kW         AC-1-2       天埋ダクト型室内機       冷 7.1kW 暖 8.0kW         AC-1-3       天埋ダクト型室内機       冷 7.1kW 暖 8.0kW         AC-2-1       標準パネル         4方向天井カセット型室内機       冷 11.2kW 暖 12.5kW         AC-2-2       標準パネル         4方向天井カセット型室内機       冷 5.6kW 暖 6.3kW         AC-3-1       標準パネル	空気調和設備工事       床置型、56.0kw形       1.0         AC-2       EHP室外機       床置型、28.0kw形       1.0         AC-3       EHP室外機       床置型、28.0kw形       1.0         搬入費       揚重機含む       1.0         AC-1-1       天埋ダクト型室内機       冷 11.2kW、暖 12.5kW       2.0         AC-1-2       天埋ダクト型室内機       冷 7.1kW 暖 8.0kW       2.0         AC-1-3       天埋ダクト型室内機       冷 7.1kW 暖 8.0kW       2.0         AC-2-1       標準パネル       4方向天井カセット型室内機       冷 11.2kW 暖 12.5kW       2.0         AC-2-2       標準パネル       冷 5.6kW 暖 6.3kW       1.0         AC-3-1       標準パネル	空気調和設備工事       AC-1       EHP室外機       床置型、56.0kw形       1.0 台         AC-2       EHP室外機       床置型、28.0kw形       1.0 台         AC-3       EHP室外機       床置型、28.0kw形       1.0 台         搬入費       揚重機含む       1.0 式         AC-1-1       天埋ダクト型室内機       冷 11.2kW、暖 12.5kW       2.0 台         AC-1-2       天埋ダクト型室内機       冷 7.1kW 暖 8.0kW       2.0 台         AC-1-3       天埋ダクト型室内機       冷 7.1kW 暖 8.0kW       2.0 台         AC-2-1       標準パネル         4方向天井カセット型室内機       冷 11.2kW 暖 12.5kW       2.0 台         AC-2-2       標準パネル         4方向天井カセット型室内機       冷 5.6kW 暖 6.3kW       1.0 台         AC-3-1       標準パネル	空気調和設備工事       た置型、56.0kw形       1.0 台         AC-1 EHP室外機       床置型、28.0kw形       1.0 台         AC-2 EHP室外機       床置型、28.0kw形       1.0 台         AC-3 EHP室外機       床置型、28.0kw形       1.0 式         AC-1-1 天埋ダクト型室内機       冷 11.2kW、暖 12.5kW       2.0 台         AC-1-2 天埋ダクト型室内機       冷 7.1kW 暖 8.0kW       2.0 台         AC-1-3 天埋ダクト型室内機       冷 7.1kW 暖 8.0kW       2.0 台         AC-2-1 標準パネル       イカ向天井カセット型室内機       冷 11.2kW 暖 12.5kW       2.0 台         AC-2-2 標準パネル       クトラの天井カセット型室内機       冷 5.6kW 暖 6.3kW       1.0 台         AC-3-1       標準パネル       クトラの大井カセット型室内機       クトラの大井カセット型を内機       クトラの大井カセット型を内機       クトラの大井カセット型を内機       クトラの大井カセット型を内機       クトラの大井カセット型を内機       クトラの大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	空気調和設備工事       R       1.0 台         AC-1       EHP室外機       床置型、56.0kw形       1.0 台         AC-2       EHP室外機       床置型、28.0kw形       1.0 台         AC-3       EHP室外機       床置型、28.0kw形       1.0 台         搬入費       場重機含む       1.0 式         AC-1-1       天埋ダクト型室内機       冷 11.2kW、暖 12.5kW       2.0 台         AC-1-2       天埋ダクト型室内機       冷 7.1kW 暖 8.0kW       2.0 台         AC-1-3       天埋ダクト型室内機       冷 7.1kW 暖 8.0kW       2.0 台         AC-2-1       標準パネル       4方向天井カセット型室内機       冷 11.2kW 暖 12.5kW       2.0 台         AC-2-2       標準パネル       1.0 台       台         AC-3-1       標準パネル       1.0 台	空気調和設備工事       AC-1     EHP室外機     床置型、56.0kw形     1.0 台       AC-2     EHP室外機     床置型、28.0kw形     1.0 台       AC-3     EHP室外機     床置型、28.0kw形     1.0 式       AC-1-1     天埋ダクト型室内機     冷 11.2kW、暖 12.5kW     2.0 台       AC-1-2     天埋ダクト型室内機     冷 7.1kW 暖 8.0kW     2.0 台       AC-1-3     天埋ダクト型室内機     冷 7.1kW 暖 8.0kW     2.0 台       AC-2-1     標準パネル       4方向天井カセット型室内機     冷 5.6kW 暖 6.3kW     1.0 台       AC-3-1     標準パネル	空気調和設備工事     AC-1     EHP室外機     床置型、56.0kw形     1.0 台       AC-2     EHP室外機     床置型、28.0kw形     1.0 台       AC-3     EHP室外機     床置型、28.0kw形     1.0 台       搬入費     揚重機含む     1.0 式       AC-1-1     天埋ダクト型室内機     冷 11.2kW、暖 12.5kW     2.0 台       AC-1-2     天埋ダクト型室内機     冷 7.1kW 暖 8.0kW     2.0 台       AC-1-3     天埋ダクト型室内機     冷 7.1kW 暖 8.0kW     2.0 台       AC-2-1     標準パネル     冷 11.2kW 暖 12.5kW     2.0 台       AC-2-2     標準パネル       4方向天井カセット型室内機     冷 5.6kW 暖 6.3kW     1.0 台       AC-3-1     標準パネル	空気調和設備工事     1.0 台       AC-1 EHP室外機     床置型、56.0kw形     1.0 台       AC-2 EHP室外機     床置型、28.0kw形     1.0 台       AC-3 EHP室外機     床置型、28.0kw形     1.0 台       搬入費     揚重機含む     1.0 式       AC-1-1     天埋ダクト型室内機     冷 11.2kW、暖 12.5kW     2.0 台       AC-1-2     天埋ダクト型室内機     冷 7.1kW 暖 8.0kW     2.0 台       AC-1-3     天埋ダクト型室内機     冷 7.1kW 暖 8.0kW     2.0 台       AC-2-1     標準パネル       4方向天井カセット型室内機     冷 11.2kW 暖 12.5kW     2.0 台       AC-2-2     標準パネル       4方向天井カセット型室内機     冷 5.6kW 暖 6.3kW     1.0 台       AC-3-1     標準パネル	名 称     摘 要     数 量 単位 単 価 金 額 備       空気調和設備工事     1.0 台       AC-1 EHP室外機     床置型、56.0kw形     1.0 台       AC-2 EHP室外機     床置型、28.0kw形     1.0 台       AC-3 EHP室外機     床置型、28.0kw形     1.0 台       機入費     場重機含む     1.0 式       AC-1-1     大型ダクト型室内機     冷 11.2kW、暖 12.5kW     2.0 台       XC-1-2     大理ダクト型室内機     冷 7.1kW 暖 8.0kW     2.0 台       AC-2-1     標準パネル       4カ向天井カセット型室内機     冷 5.6kW 暖 6.3kW     1.0 台       AC-2-2     標準パネル       4カ向天井カセット型室内機     冷 5.6kW 暖 6.3kW     1.0 台       AC-3-1     標準パネル	名     終     摘     要     数 量 単位 単 価 金 額 備 考       空気満和設備工事     AC-1 EHP室外機 床置型、56.0kw形     1.0 台       AC-2 EHP室外機 床置型、28.0kw形     1.0 台       AC-3 EHP室外機 床置型、28.0kw形     1.0 台       撮入費 揚重機含む     1.0 式       AC-1-1 天型ダクト型室内機 冷 11.2kW、暖 12.5kW     2.0 台       AC-1-2 天理ダクト型室内機 冷 7.1kW 暖 8.0kW     2.0 台       AC-2-1 標準バネル     海 7.1kW 暖 8.0kW     2.0 台       AC-2-1 標準バネル     海 11.2kW 暖 12.5kW     2.0 台       AC-2-2 標準バネル     海 11.2kW 暖 12.5kW     2.0 台       AC-2-2 標準バネル     海 11.2kW 暖 12.5kW     2.0 台       AC-3-1     標準バネル     AC-3-1

( P.M - 2 - ) 富士見市 総合政策部 管財課

上段 変更設計 下段 原 設計

					1 1					「段	界 設計
名	称	摘	要	数量	単位	単	価	金	額	備	考
AC-3-2		標準パネル									
4 方向天井カ	セット型室内機	冷 8.0 kW	暖 9.0kW	1.0	台						
AC-3-3		標準パネル									
4方向天井カ	セット型室内機	冷 4.5kW 暖	훈 5.0kW	1.0	台						
集中コント	ローラー			1.0	個						
標準リモコ	ン			6.0	個						
スパイラル	ダクトφ200			6.0	m						
スパイラル	ダクトφ150			3.0	m						
	<b>1</b>										
	ダクトφ100			3.0	m						

P.M - 3 - )	P.M - 3 - )	富士見市 総合政策部	管財課
-------------	-------------	------------	-----

											 1 12	が下	HA FI
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
		屋内いんぺい											
スパイラル。	ダクト保温材 φ200用	グラスウール2	25mm		6.0	m							
		屋内いんぺい											
スパイラル。	ダクト保温材 φ150用	グラスウール2	25mm		3.0	m							
		屋内いんぺい											
スパイラルタ	ダクト保温材 φ100用	グラスウール2	25mm		3. 0	m							
保温機能作	寸空調ドレン管VP25	天井内			12.0	m							
計													

P.M - 4 -	)	富士見市	総合政策部	管財課

上段 変更設計 下段 原 設計

 名 称	摘	要	数	量	単位	——— 単	——	金	 額	<u>  ' '<sup> </sup>    </u> 備	
						<u> </u>			<u> </u>		
2 換気設備工事											
AEX-1	天井埋込形										
全熱交換換気扇	$\phi$ 250 $\times$ 750m3/h			1.0	台						
AEX-2	天井埋込形										
全熱交換換気扇	$\phi 200 \times 480$ m $3/h$			1.0	台						
AEX-3	天井埋込形										
全熱交換換気扇	$\phi 200 \times 330 \text{m}3/\text{h}$			1.0	台						
AEX-4	天井埋込形										
全熱交換換気扇	$\phi$ 250 $\times$ 1110m3/h	1		1.0	台						
AEX-5	天井埋込形										
全熱交換換気扇	$\phi 200 \times 330$ m $3/h$			1.0	台						
AEX-6	天井埋込形										
全熱交換換気扇	$\phi$ 150×240m3/h			1.0	台						
AEX-7	天井埋込形										
全熱交換換気扇	$\phi$ 150×280m3/h			1.0	台						
AEX-8	天井埋込形										
全熱交換換気扇	$\phi$ 250×780m3/h			1.0	台						
全熱交換換気扇リモコン				8.0	台						

( P.M - 5 - ) 富士見市 総合政策部 管財課

上段 変更設計 下段 原 設計

名称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
VF-1											
天井ダクト換気扇	$\phi$ 100×100m3/h			1.0	台						
VF-2											
中間ダクト換気扇	$\phi$ 200×700m3/h			1.0	台						
VF-3											
天井ダクト換気扇	$\phi$ 100×20m3/h			1.0	台						
VF-4											
天井ダクト換気扇	$\phi$ 150×200m3/h			2.0	台						
VF-5											
天井ダクト換気扇	$\phi$ 150×560m3/h			1.0	台						
VF-6											
天井ダクト換気扇	$\phi$ 150×200m3/h			2.0	台						
VF-7											
レンジフードファン600形	φ 150×600m3/ h	ı		1.0	個						
VF-8											
レンジフードファン600形	φ 150×600m3/ h	ı		1.0	個						
VF-9											
レンジフードファン600形	φ 150×600m3/ h	ı		1.0	個						

( P.M - 6 - ) 富士見市 総合政策部 管財課

名称		摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
スパイラルダクト	φ 250	亜鉛鋼板製			6.0	m						
	-											
スパイラルダクト	φ 200	亜鉛鋼板製			6. 5	m						
スパイラルダクト	φ 150	亜鉛鋼板製			6.5	m						
		¬ド^^ ^▽ トロ トトー 生!!			1 0							
スパイラルダクト	φ 100	亜鉛鋼板製			1.0	m						
デカ 1 /日 /日 ++ 1 0 F /		屋内いんぺい			<i>C</i> 0							
ダクト保温材 φ250	0州	グラスウール25: 屋内いんぺい	<u>m m</u>		6. 0	m						
  ダクト保温材 φ200	<sub>∧⊞</sub> ├	グラスウール25:	m m		6. 5	m						
γ γ γ γ γ γ γ γ γ γ γ γ γ γ γ γ γ γ γ	ол 	<u>ラッハッ ル23.</u> 屋内いんぺい	111 111		0.0	111						
  ダクト保温材 φ150	om F	グラスウール25:	m m		5. 0	m						
	~/11	<u></u> 屋内いんぺい				111						
  ダクト保温材 φ100	0用	グラスウール25:	m m		1. 0	m						
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		屋内いんぺい										
ダクト断熱材 φ150	0用	ロックウール50:	m m		0. 7	m <sup>2</sup>						
-	計											

, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(	P.M - 7 -	富士見市 総合政策部	管財課
---	---	-----------	------------	-----

上段 変更設計 下段 原 設計

	名 称	摘    要	数 量	単位	単 価	金額	 備   考
3	撤去工事						
	AC-1 EHP室外機	56.0kw形 床置型	1. 0	台			
	AC-2 EHP室外機	35.5kw形 床置型	1.0	台			
	AC-3 EHP室外機	28.0kw形 床置型	1.0	台			
	搬出費	揚重機含む	1. 0	式			
	AC-1-1						
	室内機	11.2kw 天埋ダクト型	2. 0	台			
	AC-1-2, 3						
	室内機	7.1kw 天埋ダクト型	4. 0	台			
	AC-3-1						
	室内機	14.0kw 4方向天井カセット型	1. 0	台			
	AC-2-1						
	室内機	11.2kw 4方向天井カセット型	2. 0	台			
	AC-2-2						
	室内機	9.0kw 4方向天井カセット型	1.0	台			
	AC-3-2						
	室内機	8.0kw 4方向天井カセット型	1.0	台			

( P.M - 8 - ) 富士見市 総合政策部 管財課

上段 変更設計 下段 原 設計

	11.	let at	ъ. ⊨	224.11.	224	/		मंत्र:	/# + +z
名		摘   要	数量	単位	単	価	金	額	備考
AC-2-3									
室内機		5.6kw 4方向天井カセット型	1.	) 台					
AC-3-3									
室内機		4.5kw 4方向天井カセット型	1.	) 台					
集中コン	トローラー		1.	) 個					
空調用標準	準リモコン		7.	) 個					
スパイラ	ルダクトφ200		6.	) m					
スパイラ	ルダクトφ150		3.	) m					
スパイラ	ルダクトφ100		3.	) m					
ダクト保治	温材25mm	グラスウール、屋内いんぺい	6.	l m²					
ドレン管	VP25	屋内一般	12.	) m					
			/ D		•	,			<b>常工日士 WATE</b> 如 <b>您</b> 时

( P.M - 9 - ) 富士見市 総合政策部 管財課

 上段
 変更設計

 下段
 原 設計

 名 称		数量	単位	——— 単		金	 額		i +×	<u>///                                    </u>
AEX-1, 8	<u> </u>	数 里	千世	于	ІЩ	212.	帜	TVR	1	~7
	T-1-111/ 750 700 0/1	0.0	-/->							
全熱交換換気扇φ250	天井埋込形、750~780m3/h	2.0	台							
AEX-2, 3, 5										
全熱交換換気扇φ200	天井埋込形、330~480m3/h	3.0	台							
AEX-4										
全熱交換換気扇φ250	天井埋込形、1110m3/h	1.0	台							
AEX-6, 7										
全熱交換換気扇 φ 150	天井埋込形、240~280m3/h	2.0	台							
全熱交換換気扇用標準リモコン		7.0	台							
VF-1										
天井ダクト扇 ø 100	100m3/h	1.0	台							
VF-2										
中間ダクト扇 φ 200	700m3/h	1.0	台							
VF-3										
天井ダクト扇 φ 100	20m3/h	1.0	台							
VF-4, 6										
天井ダクト扇 ø 150	200m3/h	2.0	台							
VF-5										
  天井ダクト扇φ150	560m3/h	1.0	台							
VF-7, 8, 9										
レンジフードファン	600形、600m3/h	3.0	台							

( P.M - 10 - ) 富士見市 総合政策部 管財課

 ————— 名	 称	摘   要	数 量	単位	 単  価	金額	
	421	1向 女	—————————————————————————————————————	十亿	-	亚 帜	УHI 45
  ファ <sup>®</sup> ノニ	a. B b l 1950	亜鉛鋼板製	6. 0	100			
A/14/	ルダクトφ250	<b>里</b>	0.0	m			
スパイラ	ルダクトφ200	亜鉛鋼板製	6. 5	m			
フパイニ	<b>ルガカト 1 150</b>	コエクハク図 ナロ 集山	6. 5	100			
<i>AM17</i>	ルダクトφ150	亜鉛鋼板製	0.0	m			
スパイラ	ルダクトφ100	亜鉛鋼板製	1.0	m			
 	<b>ΣΕΙ ±±ο</b> Γ	ガニュカ ュ Brbiti on s	11 -	m²			
ダクト保	温材25mm	グラスウール、屋内いんぺい	11. 5	m			
ダクト断	熱材50mm	ロックウール、屋内いんぺい	0.7	m <sup>2</sup>			
計							
<u> </u>			,			1	<b>宣士日主 ※入水築並                                      </b>

	(	P.M - 11 -	)		富士見市	総合政策部	管財課
--	---	------------	---	--	------	-------	-----

_										I				以口
	名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
4	納屋・売	店空調設備工事												
	1111722 72	7 1 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	冷 4.0kW	────────────────────────────────────										
							7.							
	RC-1 /V-	ームエアコン		床置型室外機		1.0	台							
			冷 4.0kW	暖 5.0kW										
	RC-2 ルー	ームエアコン	壁掛室内機、	床置型室外機		1.0	台							
	冷棋被覆	銅管 φ9.5		n		6. 0	m							
	1   7   1   1   2	μη Ε Ψ Φ <b>3.</b> 0	/Kimi/—2011111	1		0.0	111							
	冷媒被覆	銅管 φ6.4	保温厚8mm			6.0	m							
	樹脂製化	粧カバー	幅140			2. 0	m							
		<u>-</u>												
	181.7.6年	VDOO	E.H. fir.											
_	ドレン管	VP20	屋内一般			5. 0	m							
	計													
	1													

P.M - 12 - ) 富士見市 総合政策部 管財	P.M - 12 -	)	富士見市	総合政策部	管財
----------------------------	------------	---	------	-------	----

# 積 算 用 紙

 上段
 変更設計

 下段
 原 設計

_			1		1		1 1			I		<u> </u>	1 + 1		以口
	名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額		備	考	
5	納屋・売	店撤去工事													
			冷 4.0kW	暖 5.0kW											
	RC-1 ルー	-ムエアコン	壁掛室内機、	床置型室外機		1.0	台								
			冷 4.0kW	暖 5.0kW											
	RC-2 ルー	-ムエアコン	壁掛室内機、	床置型室外機		1.0	台								
	冷媒被覆	銅管 φ9.5	保温厚20mn	1		6.0	m								
	冷媒被覆	銅管 φ6.4	保温厚8mm			6.0	m								
	樹脂製化	脏カバー	幅140			2. 0	m								
	ドレン管	VP20	屋内一般			5. 0	m								
	計														

P.M - 13 - )	富士見市	総合政策部	管財課
--------------	------	-------	-----

# 積 算 用 紙

 上段
 変更設計

 下段
 原 設計

名称	摘   要	数量	単位	単 価	金 額	備考
6 処分・運搬費						
解体系混合廃棄物		12. 5	m³			
金属くず		1. 1	m³			
運搬費	4 t ダンプ	2.0	台			
運搬費	2 t ダンプ	1.0	台			
家電リサイクル		2.0	式			
冷媒ガス回収・処分	56.0kw、書類作成含む	1.0	式			
冷媒ガス回収・処分	35.5kw、書類作成含む	1.0	式			
冷媒ガス回収・処分	28.0kw、書類作成含む	1.0	式			
計		(				ᇦᆫᇦᄼᇦᄼᇸᄊᄼᇎᄻᆇᇷᅟᅓᄞᅝᄜ

|--|

市立難波田城資料館空調設備更新工事

令和元年度

# 図面リスト

No.	名称	縮尺	No.	名称	縮尺	No.	名称	縮尺
A -0 1	表紙、図面リスト		E -01	電気設備工事特記仕様書		M -0 1	機械設備工事特記仕様書 (1)	
02-1	特記仕様書(改修その1)		0 2	資料館・売店・納屋平面図(改修図)電気設備	1/100	0 2	機械設備工事特記仕様書(2)	
02-2	特記仕様書(改修その2)		03	照明器具数量表		0 3	機械設備工事特記仕様書(3)	
02-3	特記仕様書(改修その3)		0 4	照明姿図		0 4	空調設備器機表	
02-4	特記仕様書(改修その4)					0 5	空調設備平面図	1/100
02-5	特記仕様書(改修その5)					0 6	換気設備器機表	
02-6	特記仕様書(改修その6)					0 7	換気設備平面図	1/100
0 3	工事区分表					0 8	納戸・売店空調設備平面図	1/50
0 4	案内図、配置図							
0 5	総合仮設計画図	1/400						
0 6	資料館 仮設計画図	1/100						
0 7	資料館 平面図(改修図)	1/100						
0 8	売店・納屋 AC室外機木製カバー 平面図ほか(改修図)	1/10,1/50						
0 9	資料館 断面図(改修図)	1/100						
1 0	資料館 展開図(改修図)	1/50						
1 1	資料館 天井伏図(改修図)	1/100						
1 2	資料館 建具キープラン(改修図)	1/100						
1 3	資料館 建具表 (改修図)	1/100						

	課長	副課長	主査	監督員	主幹		JOB MANAGER	JOB CAPTAIN DRAFTING BY	工事名称	施工年度	図面番号
上 日 士 纵 人 Ta 体 如 体 肚 部						一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号			市立難波田城資料館空調設備更新工事	一 <sup>二十八</sup> 令和元年度 工事場所 点,日本人 <b>之一</b> 之間,以上	A-0 1
士見市総合政策部管財課						(有)梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴			図面名称 表紙、図面リスト		編尺 A1: S=1/ A2: S=1/
									衣献、凶風ソヘト		A3 : S=1/

工 事 名 <b>市立難波田城資料館空調設備更新工事</b>	章  項  目     特  記  事  項	16 中間検査[1.7.2]{1.5.1} 中間検査の実施 ※行う(埼玉県建設工事検査要綱第4条) ・行わない	3 1 施工数量調査 調査範囲 ・図示の範囲 ・
工 争 石   川 工 無 次 田 拠 貝 杯 郎 仝 詗 改 浦 史 利 工 争	1 <b>適用基準等</b> ※埼玉県建築工事実務要覧に記載の要領等 ※建築工事監理指針(国土交通省監修)(参考図書)	中間検査実施回数( ) 実施段階( ) 監督員の指示による 中間検査成績評定 ※対象外(埼玉県成績評定要領)	[1.5.2~3] 調査方法 図示   防
   I		(17) 完成図等 監督員の指示により埼玉県建築工事監督要綱別表第1に示す書類を提出する [1.8.1] 完成図	水
1. 工事場所 富士見市大字下南畑 地内	版      共   2)既存部分の火災保険等   種類:火災保険等   期間:工事完成期日後14日を含む期間   {1.1.3}	[1.8.2] 種類及び記入内容 ※配置図及び案内図、各階平面図、各立面図、断面図、仕上表 ・施工図(・構造躯体・・・)・・施工計画書(・・・)	
   2.敷地面積 17,264.82m²	通   3 工事実績情報の登録   ※行う( 請負代金額500万円以上, 10日以内に登録) · 行わない [1.1.4] {1.1.8}	施工図及び施工計画書を除く完成図 作成方法及び原図のサイズ (・) A 1 二つ折り製本 1 部(・) A 3 二つ折り製本 2 部	上
	項 4 適用区分 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 (1.2.2) ・風圧力 風速 (Vo= m/s) 地表面粗度区分 (・I ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ)	[1.8.3] 保全に関する資料 ※1部・ 部 (通常取扱いに注意を要するものの使用方法を解説する) {1.6.2} 完成写真(埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成する) ************************************	,
3. 工事種目 <u>木造平屋建て 延べ面積 676.08m²</u>	・積雪荷重 H12.5.31告示第1455号における区域 別表( )	埼玉県電子納品運用ガイド ライン ※適用する( CD-Rで1 部提出) ・適用しない 撮影者 ※監督員の承諾する撮影者 ・ 撮影箇所 ※外部( )内部( )	4 既存防水層の 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 · 図示 ·
	5 別契約の関連工事   ※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。   [1.1.7] ・監督員指定の別契約工事が行う全体調整に全面的に協力する。	着工時と完成時の状況を比較できるように撮影する ・ 埼玉県建築工事写真作成要領別表4	下地補修 POS工法及びPOSI工法(機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした [3. 2. 6] 立上り部等の補修及び処置 (2. 2. 6) コンジャ (4. 12 2 4 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 1
	6 工事の記録 埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員の請求により提出する。	写真の大きさ ※カラーキャビネ版 カラー全紙パネル 写真帳の大きさ ※監督員の指示による	※改修標準仕様書3.2.6(d)(3)(vii)①~③による・
	│	外部全景完成写真及びカラースライド の提出時期 · {1.6.3}[1.8.2] 図面情報電子化媒体 ※CD-R, 1 部 (埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による)	5 アスファルト防水   屋根保護防水   [3.3.2~5]   <u>防水層の種別   近法 種別 施工箇所 断熱材 G</u> 絶縁用シート 立上り部の保護
	7 電気保安技術者 ※適用する [1.3.3] {1.3.1}	CADデータの形式 ※SXF(sfc) ⊙JWW DXF verについては監督員と協議する。 施設CADデータ 更新して提出 更新しない {1. 6. 4} 保証書 防水工事 ※屋上防水 外壁防水 金属屋根	- P2A · A-1   ※ポリエチレンフィルム · 乾式保護材   ※カー2   ×カー2   ×カー2
	8 施工条件   施工時間   [1.3.5]   ※行政機関の休日に関する法律(S63第91号)に定める行政機関の休日以外とする。	建物引き渡し日から10年間、受注者、施工者、材料メーカーの3者連名とし2部提出する。	・P1B・B-1
4. 工事内容 空調設備更新に仮設工事	ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ・以下の期間を除いた現場閉所日数の割合が28.5%(8日/28日)以上であること 年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間	上記以外・1部提出	※B-2
<u>空調設備更新に伴う天井改修</u> その他詳細は図面参照	年末年90日間、夏季が収3日間、工場装作の60円間、工事主体の一時中正期間   指定期間( )   施工時間以外の施工条件	下請契約 全体及び県内に分け、契約数及び契約金額の総計を提出する	
	図示による		・ P 1 B I ・ B I − 1 A 9511によるA種押出法ポ ・ T 1 B I ※ B I − 2 リスチレンフォーム保温板
	9 施工中の安全確保 本工事の受注者が同施設の別途工事を含めた統括安全衛生責任者とする [1.3.7]		・BI-3 3種b(スキンあり) ・
	(10)環境保全等 [1.3.10] ※建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。		(厚さ)·25mm ·    改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
	(11)発生材の処理等 [1.3.11] ・引き渡しを要するもの(・図示 )		
	注 a) 発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理 のうえ調書を添えて監督員に報告する。		※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による 平場の保護コンクリートの厚さ
	b) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c) 引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促 進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下		こて仕上げ ※水下 80mm以上 ・
	では関する法律」「建設工事に係る資材の特質派化等に関する法律」(以下 「建設リサイクル法」という。)「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」そ の他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。		対式保護権
	12)県産品の使用 受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は埼		金属複合板:金属板と樹脂を積層一体化したもの。
5. 工 期 契約工期 契約工期 契約 日から令和 2年 2月28日まで			屋根露出防水   防水層の種別   おより
共通仮設費率の算定に用いる工期	(13) 環境への配慮 [1. 4. 1] {1. 4. 3} と共に、次の①から④を満たすものとする。		本   本   本   本   本   本   本   本   本   本
現場代理人の現場への常駐を要しない期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで	① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、 パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保		- M 4 C ※C-2 ・製造所・製造所
現場施工期間	温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルム		· C-3
6. 工事範囲 ※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。	アルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない 材料を使用する。		・D-1     ・製造所・製造所・製造所・設ける       ・M3D     ・D-3
・「3.工事種目」すべてを工事範囲とする。 ・「3.工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。 ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。	③ 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル 等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。		POD · D-4 による による 改修用ドレン ・設ける
	④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、 ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が		・DI-1     (材質)       ・ DI-1     (材質)
工事種目  空調設備更新	極めて少ない材料を使用したものとする。 (14)材料の品質等 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを	2) (1) 足場その他 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガ	
工事項目		2 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	・ M 3 D I するもの又はJIS A9511によ : 設ける : 設ける : : : : : : : : : : : : : : : : : : :
2 仮設工事	材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を	説 ○内部足場 ○設置する (※脚立、足場板等 · ) · 設置しない · 外部足場 · 設置する (	・M4D
3 防水改修工事	提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること	工	(厚さ) 25mm
4 外壁改修工事	② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること	・	脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定による
-1 コンクリート打放し	⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	・脱気装置の種類 、設置数量 個/㎡ 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材
- 1 仕上げ外壁 -2 モルタル塗り仕上げ外壁	※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の	. (	の張りじまい位置 ※図示・ 屋内防水
	証明のためのガイドライン」(林野庁 H18. 2. 15)に準拠した証明書を監督員に提出する	2 既存部分の養生 既存部分 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] 既存家具、既存設備等 ※ビニルシート等	工法     種別     施工箇所     備考       ・P1E ・E-1     保護層・設ける
-3 タイル張り仕上げ外壁	[1.5.2] {1.3.2} <u>仮設工事 とび作業</u> 防水改修工事 パスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業	既存ブラインド、カーテン等 ・ビニルシート等 ・ 保管場所(・図示 ・ )	・P2E ※E-2     株設備 説けるい
-4 塗り仕上げ外壁	・アクリルゴム系塗膜防水工事作業・合成ゴム系シート防水工事作業・塩化ビニル系シート防水工事作業・セメント系防水工事作業・セメント系防水工事作業	固定された備品、机、ロッカー等の移動・図示・	押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・
5 建具改修工事	・シーリング防水工事作業・FRP防水工事作業・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業・内外装板金作業・	既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一 損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。	屋根排水溝 ※図示 ・
6 内装改修工事		3 仮設間仕切り 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 図示 [2.3.2][表2.3.1] 仮設間仕切りの種別と材質等	シート防水 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
7 塗装改修工事	建具改修工事     ・ビル用サッシ工事作業       ・自動ドア施工作業	<u>種別 下地 仕上げ(厚さmm) 塗装 充填材</u> ・A種 ・木 ・せっこうボード(9.5mm) ・無し ※有り	Manage
8 耐震改修工事	内装改修工事  ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上作業   ・木質系床仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・タイル張り作業	・B種     ・軽量鉄骨     ・合板(9.0mm)     ・片面       ※C種     単管     防炎シート       充填材:グラスウール32k(厚:50mm以上)	・M4AS ・AS-T2 ・製造所の ・AS-J2 指定による 脱気装置
9 環境配慮改修工事	・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業・保温保冷工事作業・ ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業・保温保冷工事作業・ ・壁装作業	仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等	M3AS
10 鉄筋工事		※木製       ※合板張り程度       ・無し       ※有り         ・片面       ・無し	・AS-J3 よる よる 改修用ドレ・AS-T3 ・ : : : : : : : : : : : : : : : : : :
11 コンクリート工事	・とび作業       構造物鉄工作業         その他       コングリートプロック工事作業	<u>・</u> 充填材:グラスウール32k(厚:50mm以上)	・POAS     ・AS-T4     ・製造所     ・製造所     ・設けないの指定に
	16 化学物質の濃度測定   対象化学物質   判定基準   備考	4 監督員事務所 規模 · 既存建物内の一部を使用 [2.4.1] · · 構内に新設 m <sup>2</sup>	AS-J3   よる よる   脱気装置   Washington   Wash
	[1. 6. 9] ホルムアルデヒト 100 μ g / m³ (0. 08ppm) 以下 ※厚生労働省 トルエン 260 μ g / m³ (0. 07ppm) 以下 が定める指針	※設置しない(下記備品のみ用意する) 備品( 名分相当)	
Ⅱ 建築改修工事仕様	キシレン     870 μ g / m³ (0. 20ppm) 以下     値, 量単位の       エチルベンゼン     3,800 μ g / m³ (0. 88ppm) 以下     換算は 2 5 ℃	・机・椅子・書棚・黒板・掛時計・寒暖計・長靴・雨合羽・保護帽・懐中電灯・安全帯・軍手・衣類ロッカー	U くは2号で透温係   ・設ける   数を除く規格に適合   ・設けない
(1)質問回答書、本特記仕様書(改修)及び図面に記載されていない事項は、すべて埼玉県建築工事 特別共通仕様書、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」 及び国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」による。	スチレン   220 μ g / m³ (0.05ppm) 以下   パラジクロロベンゼン   240 μ g / m³ (0.04ppm) 以下   測定方法	・冷暖房機器・消火器・湯沸器・茶器・掃除用具・電話機・FAX・電子メール通信機器・スキャナー・プリンター	
(2) 本特記仕様書の表記		5 現場表示板 ※設置する({1.1.12}による表示 · 要 · 不要) · 設置しない [2.4.1]{1.1.12}	
1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2)特記事項は、 ○ 印の付いたものを適用する。 ○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。	②ホルムアルデヒド 。 ・ ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出法によって採取し、	6 工事用水 構内既存の施設・利用できない ①利用できる(・有償 ①無償) ただし、その仮設にかかる費用は、受注者の負担とする。	格に適合するもの
<ul><li>○ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。</li><li>○ 印と ※の場合は、○のみを適用する。</li><li>3)特記事項に記載の { } 内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該</li></ul>	高速液体クロマトグラフ法(以下HPLC)により行うものとする。 ・パッシブ採取機器により採取し、HPLCまたはガスクロマトグラフ法(	(7) 工事用電力 構内既存の施設・利用できない (①利用できる(別途施設調整を行うこと) ただし、その仮設にかかる費用は、受注者の負担とする。	(厚さ)・25mm ・
図表を示す。   4)特記事項に記載の[ ]内の表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28   年版」(以下「改修標準仕様書」という)の当該項目、当該図表を示す。	以下 G C ) あるいは A H M T 一 吸光光度法(以下 A H M T 一 A b s )のうち採取機器に適応した分析法による。  ③ トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼン	8 工事用搬入路 ※図示・	改質アスファルトシートの種類及び厚さ   ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による・   粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
5)特記事項に記載の( )内の表示番号は、「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版」(以下「標準仕様書」という)の当該項目、当該図表を示す。		② 仮囲い ② 設置する ・	
6)製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、( )内は製品名を示す。 7) 本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」に	GC/MS)により行うものとする。 ・パッシブ採取機器により採取しGCまたはGC/MSのうち採取機器に適	10 交通誘導員 ・図示による	※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 脱気装置の種類及び設置数量
基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成29年2月7日閣議決定)」(以下「グリーン購入法基本方針」)による特定調達品目の判断基準等を満たす環境物品等を選択するよう努めるものとする。	。	11 快適トイレ 仕様 ※図示	※改質アスファルトシート製造所の指定による ・脱気装置の種類 、設置数量 個/㎡
なお、 [G] 印は設計図書で定めのある品目を示す 8)注は標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。			押え金物
富士見市 総合政策部 管財課			市立難波田城資料館空調設備更新工事
			No Scale   特記仕様書(改修その1)

7 合成高分子系	1 施工数量調査 [1.5.2、3	調査範囲 ・外壁改修範囲 ・図示の範囲 ]調査時期 ・外壁仕上げ等除去前 ・外壁仕上げ等除去後 調査方法 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水	4-3       1 既存タイル張りの 撤去       ・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ         タ 2 ひび割れ部改修工法 改修箇所 ※既存タイル張り面	4-4 塗	1 所要量の確認 [4.6.2][表4.6.1]       工程ごとの所要量の確認 ※改修標準仕様書表4.6.1による 単位面積当たりの塗付け量 表 7. による         2 既存塗膜等の除去・       工法 処理範囲 下地面の補修
[表3. 5. 1~3]       ・S-F1       ・製造所の・製造所の・設ける・設ける・設ける・設けないを指定による指定による       ・設ける・設けないを         ・S-F2       ・必修用・レイン・       ・ 必修用・レイン・		の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、 また欠損部の形状寸法等を調査する。	1 [4. 1. 4] [4. 2. 2] ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面)  現	サ   仕   上   ボ	下地処理及び       ・サンダー工法       ※図示 ・既存仕上げ面全体 ・ (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)       ・ひび割れ部 改修工法         下地調整       ・高圧水洗工法       ※図示 ・既存仕上げ面全体 ・ 加圧力 ※30MPa程度以上 (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)       ・浮き部 改修工法         ・塗膜はく離剤工法       ※図示 ・既存仕上げ面全体       ・必修工法
S-M1		コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部 を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。	大     ※目動式低圧エポキシ	-	・ 塗膜はく離剤上法 ※ 図示 ・ 既存仕上げ面全体 ・ 欠損部 ・ 水洗い工法 ※ 図示 ・ 上記以外の既存仕上げ面全体 改修工法 ・ 次間整 ※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル
・ S3S ・ S-F1 ・ 製造所の・製造所の ・ 設ける ・ 設けない ・ S-F2		既存部分の破壊を行った場合の補修方法 · 図示 · 調査報告書の部数 · 2部 ·	外     樹脂注入工法       W     一樹脂注入工法       ※エポキシ樹脂・低粘度形・中粘度形       コア抜取り検査・行う・行わない	_	3 下地調整塗材 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [4.1.5][4.2.2][4.6.5]
・ S-M1       ・ 製造所の・製造所の ・ 設ける ・ 設ける ・ 設けない         ・ S-M2       ・ S-M2	2 ポリマーセメント スラリー [4.2.2	- 3 以上   3%   0.5N/IIIII   5.UN/mm   15%以下   5.UN/IIIII	抜取り個数   ※長さ500mごと及びその端数につき1個   抜取り部の補修方法   図示   ・ Uカットシール材充填工法(既存タイル張り撤去面)		4 仕上げ塗材仕上げ 新規仕上
S-M3		以上     以上       以上     以上       以上     以上       場所     0.35~0.55       粘調係数     0.50~1.00	・シーリング材 充填材料 ※ 1 成分形又は 2 成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂		・外装薄塗材E ・ さざ波状 ・平たん状 ・ 可とう形外装薄塗材E ・ 凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・ 防水形外装薄塗材E ・ 着色骨材砂壁状(・吹付け・こて塗り) ・ 外装薄塗材 S ・ 砂壁状じゅらく ・ 京壁場じゅらく
・S4SI     ・SI-F2     (厚さ)・25mm・ は は は は は は は は は は は は は は は は は は	[4. 2. 2	モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、 ] 細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 	3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2] 接着剤の種類 [4.5.7、8] ・ポリマーセメントモルタル		・厚付け ・外装厚塗材 C ・吹放し・凸部処理・平たん状 仕上塗材 ・外装厚塗材 S i ・凹凸状・ひき起こし・かき落とし ・外装厚塗材 E ・ 上塗材・適用する・適用しない ・複層塗材 C E ・ ゆず肌状・凸部処理・凹凸模様
・SI-M2     (厚さ)・25mm・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2 [4.3.4~6	工法の種類ひび割れ幅(mm)注入口間隔(mm)注入量(mI/m)※自動式低圧エポキシ0.2以上~1.0未満 低 ※200~300 ・ 130 ・	・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系 ・タイル張替え工法		・複層       ・可とう形複層塗材CE       ・         仕上塗材       ・複層塗材Si       ・       耐候性 ※耐候形3種         ・複層塗材E       ・       上塗材         ・複層塗材RE       ・       溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系
程別 施工箇所		・手動式エポキシ 樹脂注入工法     0.2以上~0.3未満 低 ・50~100 ・ ・40・ 0.3以上~0.5未満 低 ・100~200 ・ ・70・ 機械式エポキシ 樹脂注入工法       ・機械式エポキシ 樹脂注入工法     0.5以上~1.0以下 中 ・150~250・ ・130・	接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系		・防水形複層塗材CE       ・       樹脂 ※アクリル系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
S-C1   15.2.5(b)(2)及		※エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形 コア抜取り検査 ・行う ・行わない 抜取り個数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個 抜取り部の補修方法 ※図示	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※改修標準仕様書表4.5.1による タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験 ・行う ・行わない ・セメントモルタルによる陶磁器質タイル(セラミックタイル)張り		・可とう形改修塗材E ・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状 改修用 ・ 可とう形改修塗材 R E ・ 耐候性 ※耐候形 3 種 ・ 仕上塗材 ・ 可とう形改修塗材 C E ・ 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・ 弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・
ルーフィフケッードの程規及の序で ※改修標準仕様書表3. 5. 1から表3. 5. 2による・ し 絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート・・ 上			タイル張りの工法 タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り 外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤による陶磁器質タイル張り		5 マスチック塗材塗り 種別 ・A種 ・B種 [4.7.2][表4.7.1]
固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は 両面に樹脂を積層加工した鋼板		ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂	シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・ 伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系・		
脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシート製造所の指定による ・脱気装置の種類 、設置数量 個/㎡ 既存防水下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の	2 欠損部改修工法	・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法	4 浮き部改修工法     [4.2.2][4.5.9~15]       エ法の種類     (本/㎡)     (箇所/㎡)       一般部 指定部 一般部 指定部       ・アンカーピンニング部分     ※16 ※25 ー ※25 ー	)	
目地処理       ・行う(・図示 ・ ) ・行わない         PCコンクリート部材の入隅部の増張り(種別 S-F1, SI-F1の場合)       ・行う(・図示 ・ ) ・行わない	[4. 1. 4] [4. 2. 2 [4. 3. 7		エポキシ樹脂注入工法     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_	
A L C パネル下地の入隅部の増張り(種別 S-C1の場合) ・行う(・図示 ・ ) ・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 モ	撤去	・行う(※全面 ・図示の範囲) ・樹脂注入工法	#リマーセメントスラリー注入工法 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	_	
8 塗膜防水     ※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材とする     力       [3. 6. 2, 3]     仕上塗料     高日射反       工法     種別     施工箇所	[4. 1. 4] [4. 4. 2, 5~7	T法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m)   ※自動式低圧エポキシ 0.2以上~1.0未満 低 ※200~300 ・130 ・   樹脂注入工法 0.5以上~1.0以下 中 ※200~300 ・130 ・   手動式エポキシ 0.2以上~0.3未満 低 ・50~100 ・40	- 注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 — ※50 ポリマーセメントスラリー注入工法 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	_	
A		樹脂注入工法 0.3以上~0.5未満 低 ·100~200 · 70 · 機械式エポキシ 0.5以上~1.0以下 中 ·150~250 · 130 · 過脂注入工法 ※エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形	・タイル部分張替え工法	5 建	1 改修工法       建具の種類 かぶせ工法 撤去工法 適用箇所         ・アルミニウム製建具 ・ は脂製建具 ・ は異表による・
・X-1     ・製造所の・製造所の ・設ける・設けない 上げ 外指定による指定による		コア抜取り検査 行う 行わない 抜取り個数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個 抜取り部の補修方法 ※図示	※ステンレス鋼(SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの ・ 注入口付アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304) 呼び径外径6mm	具改修工	一     ・内部     ・建具表による       ・鋼製軽量建具     ・建具表による       ・ステンレス製建具     ・建具表による       新規に建具を設ける場合
・P1Y       ※Y-2       保護層・設ける・設けない         ・P2Y       ※Y-2       保護層・設ける・設けない		・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材 ・充填材料 ※ 1 成分形又は 2 成分形ポリウレタン系 ・ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない	・タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル	事	壁部分の開口の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 2 防火戸 適用箇所 ・建具表による [5.1.4] 防火戸の自閉機構及びヒューズ 装置等との連動 ・ 行う ・ 行わない
脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料製造所の指定による ・脱気装置の種類 、設置数量 個/㎡		・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂	<ul> <li>・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系</li> <li>・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系</li> <li>・タイル張替え工法</li> <li>接着剤の種類</li> <li>・ポリマーセメントモルタル</li> </ul>		3 見本の製作等
9 シーリング シーリング改修工法の種類 [3.7.2、8] ・シーリング再充填工法 ・シーリング充填工法 ・	3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.4.2,8,9	・可とう性エポキシ樹脂 ・充填工法	・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系 ・伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 ・位置 ※改修標準仕様書表4.5.1による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		特殊な建具の仮組 ・ 行う (建具符号: ) ・ 行わない  4 防犯建物部品 ・ 適用する ( ) 適用箇所 (・建具表による ・ ) (5.1.7) ・ 適用しない
・ブリッジ工法 ボンドブレーカー張り ・適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない		・モルタル塗替え工法 既製目地材 ・使用する(形状 ) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示・	タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験 ・行う ・行わない ・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り		5 アルミニウム製建具 性能等級 [5.2.2] 外部に面する建具 [表5.2.2] ・A種(建具符号:・建具表による・・・・)
シーリング材の種類、施工箇所       下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。         施工箇所       シーリング材の種類(記号)	4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.2.2 [4.4.10~15	一般部 指定部 一般部 指定部       ・アンカーピンニング部分     ※16     ※25     _     ※25     _	外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤による陶磁器質タイル張り シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・		・ B種(建具符号:・建具表による・・・・・・) ・ C種(建具符号:・建具表による・・・・・・) 防音ドアセット, 防音サッシ 変音性の等級( ) ( 建具符号:・建具表による・・・・)
シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(a)(1)~(3)による 注 接着性試験を行う。ただし、同じ材料の組合わせで実施した試験成績書がある		エポキシ樹脂注入工法     ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系  5 目地改修工法     [4. 5. 16] ・伸縮調整目地改修工法     伸縮調整目地改修工法     伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示		断熱ドアセット, 断熱サッシ G 断熱性の等級( )(建具符号:・建具表による・・ ) 耐震ドアセット 面内変形追随性の等級( )(建具符号:・建具表による・・ )
場合は、監督員の承諾を受けて試験を省略することができる。  10 とい  [3.8.2、3] ルーフドレン		・注入口付アンカーピンニング部分       ※9       ※16       _       _       ※25       _         工ポキシ樹脂注入工法       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・         ・注入口付アンカーピンニング全面       ※9       ※16       ※9       ※16       _       _         エポキシ樹脂注入工法       ・       ・       ・       ・       ・       ・	6 タイルの形状、寸法等 施工 主な用途 形状/寸法 吸水率による区分 うわぐすり 役物 色 再生材の 耐凍害性 備考 箇所 による区分 (mm) I類 II類 II類 II類 kipう 無ゆう 有 無 標準 特注 適用 G 有 無 [4. 2. 2]	- -	種類   材種   線径   網目
種別 施工箇所		・注入口付アンカーピンニング全面       ※9       ※16       ※9       ※16        ※50         ポリマーセメントスラリー注入工法       ・<		_	・防鳥網       ステンレス (SUS304) 線材       1.5mm       網目寸法15mm         特の見込み寸法       ・建具表による表面処理         外部に面する建具       ・B-1種       ・B-2種
ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示		・モルタル塗替え工法	標準的な曲がりの役物は一体成形とする	_	被膜等の種類(※改修標準仕様書表5.2.2による・・・・
鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書表3.8.5による たてどい受金物の取付 ※図示 ルーフドレンの取付 ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填		・ 注入口付アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm ・ 充填工法	試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない		着色(・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 結露水の処理方法 ・図示 ・ [5. 2. 5] 水切り板、ぜん板 ・図示 ・ 6 樹脂製建具 性能等級
11 アルミニウム製笠木   種類 ・オープン形式(・押出250形 ・押出300形 ・押出350形 ) ・板材折曲げ形(・オープン形式 ・シール形式 ) 本体幅:( )mm 板厚(※2.0mm ・ mm) 表面処理 種別( )種 皮膜等の種類(※標準仕様書表14.2.1による ・ )		元県工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法 既製目地材 ・使用する(形状 ) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示 ・			Teff
着色(・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 既存笠木等の撤去 ・行う(範囲 ・図示 ・ ) ・行わない 下地補修の工法 ※図示 ・		在工17月20日至至月2日 日本 10日			防音ドアセット, 防音サッシ 遮音性の等級(・T-1 ・T-2 ・ )(建具符号:・建具表による ・ ) 断熱ドアセット, 断熱サッシ G 断熱性の等級(・H-4・H-5・H-6・ ) (建具符号:・建具表による ・ )
笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 12 防水工事施工票 ※設置する(ケ所)(施工年月日は防水工事施工完了日(手直しは除く)を記入)					枠の見込み寸法 ・ 建具表による ・
{ 2. 1. 2} · 設置しない			課長副課長主幹主査担当	日付	工事名 図面No.
富士見市総合政策部管財課				縮尺 No	中立難波田城員科館空調設備更新工事   <sub>図面名</sub>

7 鋼製建具 [5.2.2] [5.4.2~4][表5.4.2] 性能等級 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号:・建具表による・・・・ )・・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・・Sー4(建具符号:・建具表による・・・)・・Sー5(建具符号:・建具表による・・・)・・Sー6(建具符号:・建具表による・・・)・・Sー6(建具符号:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17 オーバーヘッドドア [5. 12. 2、3]     セクション材料	ひ修範囲   既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲   ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示   天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲   ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示   下地イとでである。   でまる   ではまる   では	10 防腐・防蟻・防虫処理       ・防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材 適用部位: ( ) ・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理
<ul> <li>遮音性の等級( ) (建具符号:・建具表による ・ )</li> <li>断熱ドアセット, 断熱サッシ G</li> <li>断熱性の等級( ) (建具符号:・建具表による ・ )</li> <li>耐震ドアセット</li> <li>面内変形追随性の等級( ) (建具符号:・建具表による ・ )</li> <li>鋼板</li> </ul>	[5. 13. 2~4] [表5. 13. 1] [表	事 [6.2.2] 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及び エポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・ 3 既存壁の撤去及び 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修	※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~Iによる   ※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~Iによる   ※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~Iによる   ※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~Iによる   ・ボード原料接着剤への薬剤混入による防腐、防蟻処理   適用部位:(
材料	材料板ガラスによる種類   種類   性能   ・フロートガラス   ・フロート強化ガラス   ・	下地補修※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修・行う・行わない) ・図示4 木下地等の表面 仕上げ表面仕上げの種別 ・ A種適用箇所	11 内部間仕切、窓、床 等の木材 [ 6. 5. 6~9]
[5. 2. 2] [5. 5. 2]       簡易気密型ドアセット         ・適用する(建具符号:・建具表による・・・・・適用しない防音ドアセット,防音サッシ       ・・・・・適用しない防音・アセット,防音サッシ         ・適用する(建具符号:・建具表による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	品種       性能       色調         ・熱線吸収フロート板ガラス       ・1種・2種       ・ブルー・グレー・ブロンズ         ・熱線吸収網入磨き板ガラス       複層ガラス       断熱性       日射熱遮へい性         ・断熱複層ガラス       ・1種       U1         ・2種       U2	5 製材 G       [6. 5. 1]       ・ 「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材         施工箇所 樹種 寸法 (mm)       等級 形状 含水率 の適用         ※2級・ ※A種・B種・・	(12) 軽量鉄骨天井下地
面内変形追随性の等級( ) (建具符号:・建具表による・ ) (15.5.3] 鋼板 ※亜鉛めっき鋼板・ビニル被膜鋼板・カラー鋼板 [5.5.4] 鋼板の厚さ ・改修標準仕様書表5.5.1による 7合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板・建具表による			

10 人出掛形後古		25 ==	+ 毎	7 1 ++ WA		
19 合成樹脂塗床   種別 施工箇所 工法 仕上げの種類   浮膜型塗床材 ※平滑仕上げ   で防滑仕上げ・つや消し仕上げ   ・厚膜型塗床材 ・厚膜型塗床材 ・厚膜型塗床材 ・ ア滑仕上げ・つや消し仕上げ ・ アア   ・アア   ・アア	24 モルタル塗り       既製目地材・設ける 施工箇所( ) 形状(※図示・ )         [6. 15. 3、6]       ・設けない         床目地・設ける(工法 ※押し目地・ ) ・設けない	35 表示   <u>区分   木</u>   (20. 2. 10)   ・衝突防止表示   ・スラ   (・両面・片面)・図元   ・室名札   ・アク	対 (mm) 厚さ(mm) 取付高さ(mm) 備考		屋内で使用する塗料のボルムアルテヒト放散量 ※規制対象外 ・	
Ital キシ樹脂系塗床     ・厚膜流し展べ工法     ・防滑仕上げ       ・樹脂モルタル工法     ・薄膜型塗床材     ※平滑仕上げ	25 タイル張り   伸縮調整目地の位置 床タイル (※縦、横とも4m以内ごと ・図示 ・ )   [6.16.2]   になっていいが (・図示 ・ )   になっていいが (・図示 ・ )   になっていいが (・図示 ・ )   になっていいが (・図示 ・ ・ )   になっていいが (・ 図示 ・ ・ )   になっていいいが (・ 図示 ・ ・ )   になっていいが (・ ・ )   になっていいが (・ ・ 図示 ・ ・ )   になっていいが (・ ・ )   になっていいが (・ ・ )   になっていいが (・ ・ )   になっていいが ・ ・ ・ ・ )   になっていいが ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ピクトグラフ・アク	· リル板 · 図示 · 5 · 図示 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 ·	│ 装 │ 2	下地調整	
(Is K 5970)     よる         * 7クリル樹脂塗床     ※製造所の指定に 工程       金布量(kg/m²)	[6. 16. 3] セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの形状、寸法等		'リル板 · 図示 · 5 · 図示 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 ·	工事	下地面の種類     下地調整の種別     ひび割れ部の補修       本部     ※RB種・・RA種・RB種・	
(エポキシ樹脂系塗床)   ※0.25kg/㎡以上   表面仕上げ   ※ア滑・防滑	M L 面 D   区分 (mm) I 類 II 類 II 類 II 類 kb j 無ゆう 無ゆう 有 無 標準 特注 適用 G 有 無 抵抗性	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		鉄鋼面       ※RB種       RA種         亜鉛めっき面       ※RB種       RA種         亜鉛めっき面(鋼製建具)※RB種       RC種	
April   Ap		・			モルタル、プラスター面       ※RB種       ・RA種       ・RB種       ・行う         コンクリート面(DP以外)       ※RB種       ・RA種       ・行う         ALCパネル面       ・行わない       ・行わない	
		色、書体、印刷等の種類	リ、取付け形式等は図示による。 		ALCパネル面       ・行わない         押出成形セメント板面       ・RA種 ・RB種 ・RA種 ・RB種 ・行う         ・RC種       ・行わない         コンクリート面(DP)       ・RB種 ・RC種 RA種 ・行う	
20 フローリング張り   単層フローリング G     11.2~7     単層フローリング G	世界 は	****   *****   *****   *****   *****   *****   *****   *****   ******	類     スラットの材質 (mm) の材種     取付箇所       式     ※アルミニウム ※25 ※鋼製     ・図示		To	
・フローリング・ボート・ ・ 釘留め工法 ※なら 15 板幅75       1 等 (根太張り)・ 板長さ500以上       ・釘留め工法 ※なら・12以上 板幅75	施工箇所 主用途 形状/寸法 吸水率区分 うわぐすり 役物 色 再生材の 耐凍害性 備考 区分 (mm) I類 II類 II類 II類 II類 II類 ii 類 ii 類 ii 類			   3 錆止め塗料塗り   [7.3.2~)	種別	
<u>(直張り) 板長さ300以上</u> ・塗装品 <u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>		1本操   ・電動   -   アルミスラット 焼付!	<u>*作コート、式</u> ・クロススラット ・100 ・ ナ塗装仕上げ		鉄鋼面       EP-G以外       塗替え       A種       ※C種         新規鉄鋼面見え掛り A種       ※A種         新規見え隠れ       A種       ※B種	
・フローリンケ・ブ・ロック     ※なら 15     303×303     ・塗装品       1等     ・無塗装品       ・モザ・イクハ゜ーケット 接着工法     ・塗装品	標準的な曲がりの役物は一体成形とする試験張り・行う・行わない見本焼き・行う・行わない	ポリエステル繊維又は植	はで定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工 植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 G		EP-G       塗替え       B種       ※C種         新規鉄鋼面見え掛り B種       ※A種         新規見え隠れ       B種       ※B種	
	内装壁タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		リング式  ・2級  ・  ・  ・		亜鉛めっき面     EP-G以外     塗替え     ※ A種     ※ C種       新規鉄鋼面見え掛り※ A種     ※ A種     ※ C種       EP-G     塗替え     ○ C種     ※ C種	
種類     工法     樹種     厚さ/大きさ (mm)     種別     防湿処理     塗装仕上 の適用       ・天然木     ・釘留め工法     ※なら     ・A種     ・適用する     ・塗装品	26 セルフレベリング材 種類 ・せっこう系 ・セメント系	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	-ン式  ・3級   ・バー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造	4 塗装	新規鉄鋼面見え掛りC種     ※ A種       ご     塗装の種類       塗装面	
化粧複合   (根太張り)   ・	27 視覚障害者用 床タイル (11. 2. 2) (19. 2. 2)     施工箇所 屋内     種類 ・塩化ビニル製 ・300×300・・7. 0・ ・磁器質タイル・せっ器質タイル ・レジンコンクリート製・コンクリート製・300×300・・	38 カーテン (20. 2. 14) 形式 開 ・シングル・片引き・手	閉操作 ひだの種類 きれ地の種別、 品質、特殊加工等 取付箇所 備考 引き ・フランスひだ ・図示	[7. 4. 1~7. 15.	2]	
		│ ・ダブル │・引分け  ・ひ	も引き、箱ひだ、つまひだ動・プレーンひだ、片ひだ		※1種・2種       亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)       ※A種・ ※B種・ ※B種・ ・         ・クリヤラッカー塗り(CL)       ※B種・ A種 ※B種・ A種	
板長さ・900以上	28 フリーアクセス   施工箇所 構 法 寸法(mm) 高さ(mm)耐震性能所定荷重(N)表面仕上げ材 備考   カロア   ・置床式 ・500×500   ・1.0G ・3,000   ・帯電防止床タイル	・ダブル  ・引分け  ・ひ   <u>・</u>   ・引分け  ・ひ   使用される繊維のうち、	も引き  ・箱ひだ、つまひだ		・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)       -       -       一       上	
フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ・ 現場塗装仕上げ(施工箇所 )	(20. 2. 2)       ・支柱       ・0. 6G       ・5, 000       ・タイルカーへ。ット         調整式       ・置床式       ・500×500       ・1. 0G       ・3, 000       ・帯電防止床タイル		上部及び召合せの重なり ※300mm以上 ·		亜鉛めっき鋼面	
・行う(※ウレタン樹脂ワニス塗 ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗) ・行わない	・支柱 ・	(20. 2. 14) 形式・ラ	アルミニウム製及びアルミニウム合金の押出し成形材 ステンレス製 アングル ・ダブル		・つや有合成樹脂エマルションパリート面等       ※B種・ ※B種・ A種         ョンペイント塗り(EP-G)       屋内の木部 ※B種・ ※B種・ A種         屋内の鉄鋼面 ※B種・ ※B種・ A種	
21 畳敷き   種別 · A種 · B種 · C種 · D種(畳床: · KT- I · KT- II · KT- II · KT- K · KT-N)   [6. 12. 2]   下地の種類 · 標準仕様書 表12. 6. 1による床組   ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン G)	・支柱  ・   ・ 0. 6 G   ・ 5, 000   ・ タ イルカーペ ット       寸法精度	強さによる区分 ※1	f引き ・引分け 0-90 ・ 7ルマイト ・		屋内の亜鉛めっき鋼面※B種・ ※B種・ A種・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)※B種・ ※B種・ A種・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)※B種・ ※B種・ A種・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)※B種・ A種	
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、 発散が極めて少ない材料を使用したものとする。			<150 · 120×80 · 120×150 · 150×80 · 図示		・ラッカーエナメル塗り (LE)       ※B種・A種 ※B種・A種         ・オイルステイン塗り (OS)       ー         ・木材保護塗料塗り (WP)       ※B種・A種 ※B種・A種	
(22)     せっこうボード その 他ボード 及び合板張り [6.13.2~3]     種類     JIS記号     厚さ (mm)、規格等       ・硬質木毛セメント板 G     HW ・15 ・20 ・25 ・ ・中質木毛セメント板 G     - 25 ・	図心と各頂点を結ぶ線上部 2.0mm以下 表面仕上げ材の品質、性能は、標準仕様書19章による。 構成材の材質 アルミニウム製 鋼製(仕上げ: )	· アルミニウム集	⊎ 押出し型材(市販品) −1 ・C−2(・アンバ− ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)		つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(コンクリート面、モルタル面、プラスター面、 せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしみ止め ※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする	
・普通木毛セメント板 G     NW ・15 ・20 ・25 ・       ・硬質木片セメント板 G     HF ・12 ・15 ・18 ・21 ・       ・普通木片セメント板 G     NF ・30 ・	スロープ及びボーダー 製造所の仕様による 図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 20~30%	皮膜等の種類	※標準仕様書表14.2.1による ・鋼製(仕上げ: )		合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め ※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする 注)DP以外からDPの塗替えは、下地調整をRA種とする。	
・けい酸カルシウム板 0.8FK タイプ2 (無石綿) ・6 ・8 1.0FK DR ・フラットタイプ (・9 (不燃)・12 ・ )	配線取り出し開口 ・パネル 1 枚につき、40mm×80mm程度の開口 1 箇所以上 ・図示 空調用吹き出し(吸い込み)パネル ・なし ・あり(形式、施工箇所:図示)				・高日射反射塗料塗り G 下地調整(改修標準仕様書7.2.2) RA種 RB種 RC種	
- ・ロックウール吸音ボード1号 RW-B ・25 ・ グラスウール吸音ボード号32K GW-B ・25 ( ガラスクロス包) ・ ・ グラスウール吸音ボード 号32K GB-R ( ・)12.5 (不燃) ・15 (不燃)	29 可動間仕切	42 床点検口 材種 アルミニウ / 制 ・ 45	・気密形 <td rowspan="2" style="text-align: left;" th=""  ="" 「大きな<=""><th></th><th></th></td>	<th></th> <th></th>		

およしたアスペト音を助けるのが、	R 5210に示された規定の他、目で402 J/g 以下のものとする む) ) )  対及び電気炉酸化スラグ骨材 ・
7 7 7 7 7 6 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	ーン購入法基本方針における 枠を用いる場合に限る) 、型枠の一部に透明型枠等を 事前に監督員と協議する。

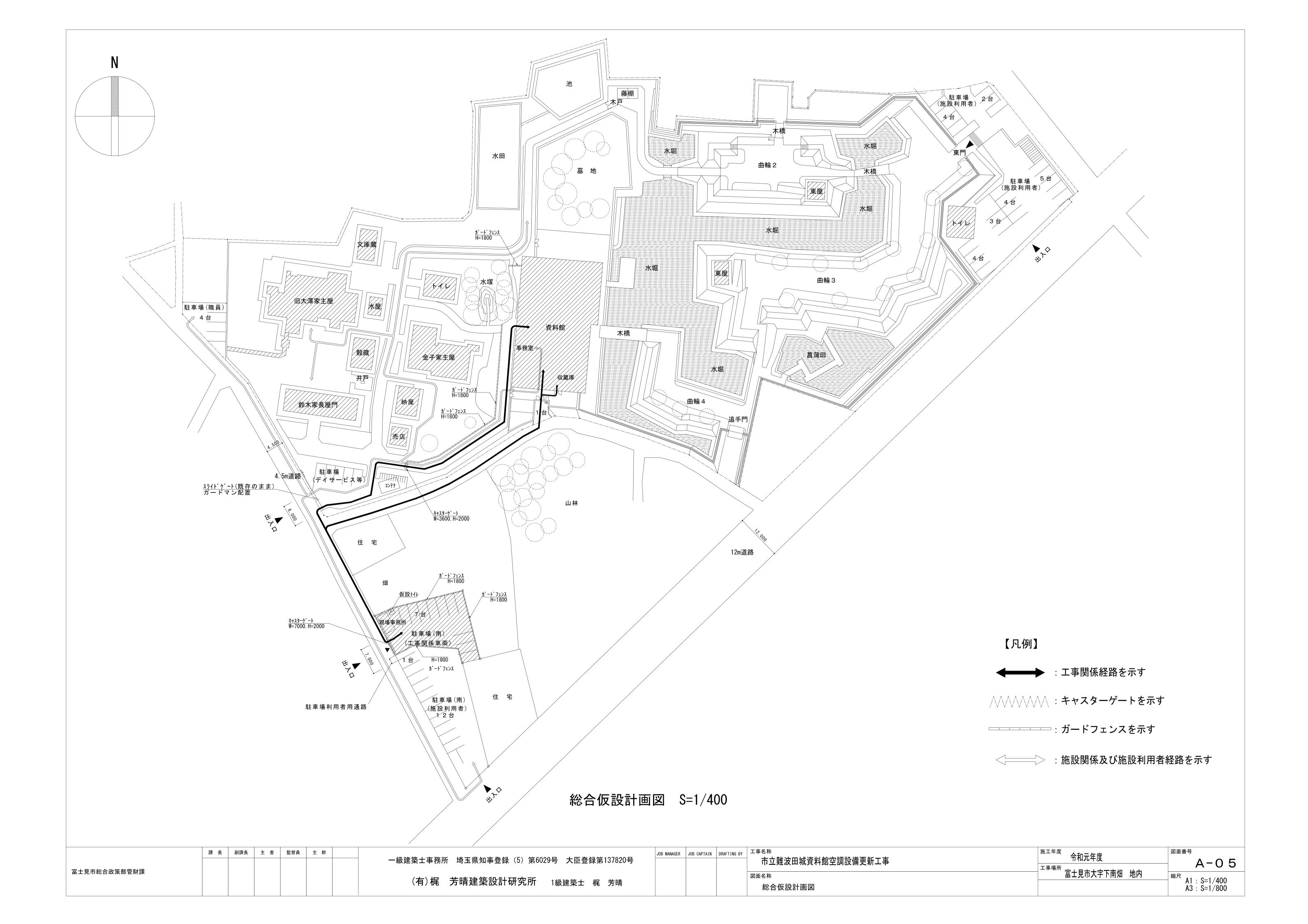
The state of the s	8 (一般事項) 1 適用範囲	(コンクリートの 1 コンクリートの 種類及び強度 [8.1.3~4] [8.9.2]       ・普通コンクリート 設計基準強度 (N/mm²) 質量(t/m³)       適 用 箇 所         (N/mm²)       2.3程度       ・15又は18       ・18         ・ 24       ・2.3程度       ・15又は18       ・18         ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10         ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10         ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10         ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10         ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10         ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10         ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10         ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10         ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10         ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10         ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10         ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10         ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10         ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10       ・ 10 <th>5 普通ボルト (7.2.3) ボルト及びナットの材料 ・標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)による ・標準仕様書 表7.2.3 (JIS附属書品)又はJIS本体規格品(ISO規格)による (JIS本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ 六角ボルト、強度区分を4.6又は4.8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット -Cの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径 の値以下とする) (7.2.3) 座金 ・標準仕様書 7.2.3(d)による・</th> <th>  18 アンカーボルト等の   アンカーフレームの形状及び寸法 (7. 10. 3)   構造用アンカーボルト(本体鉄骨) : 図示による( ) : アンカーボルトの保持及び埋込み工法(標準仕様書 表7. 10. 1) (7. 10. 3)   構造用アンカーボルト(その他の鉄骨)   種別 : A種 : B種 : C種   建方用アンカーボルト   種別 : A種 : B種 : C種</th>	5 普通ボルト (7.2.3) ボルト及びナットの材料 ・標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)による ・標準仕様書 表7.2.3 (JIS附属書品)又はJIS本体規格品(ISO規格)による (JIS本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ 六角ボルト、強度区分を4.6又は4.8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット -Cの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径 の値以下とする) (7.2.3) 座金 ・標準仕様書 7.2.3(d)による・	18 アンカーボルト等の   アンカーフレームの形状及び寸法 (7. 10. 3)   構造用アンカーボルト(本体鉄骨) : 図示による( ) : アンカーボルトの保持及び埋込み工法(標準仕様書 表7. 10. 1) (7. 10. 3)   構造用アンカーボルト(その他の鉄骨)   種別 : A種 : B種 : C種   建方用アンカーボルト   種別 : A種 : B種 : C種	
The state of the s	事       ・耐震スリット新設工事         2 既存部分の処理等 [8. 21. 2] [8. 22. 2] [8. 23. 2] [8. 24. 2]       既存構造体の撤去 撤去範囲 ・図示による( ) はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・図示による( ) ・図示による( ) ・既存コンクリートの目荒らしの程度 ・既存イ、梁面 ・打継ぎ面の15~30%程度に、平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の 凹面を全体にわたってつける	[8.1.3] ・ I 類 (JIS A 5308に適合したコンクリート) 種 類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位(※下記以外全て ) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、 水和熱が7日目で352 J/g 以下、かつ28日目で402 J/g 以下のものとする・高炉セメントB種 ⑤ 使用部位(・1Fより下部(立ち上がり部含む) ・フライアッシュセメントB種 ⑥	(7.2.3) ボルトの径 ・図示による( ) ・ [8.13.2] ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1 縁端距離及びボルト間隔等) ・ セットの種類 ・ 1種(F8T相当) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による( ) ・	構造用アンカーボルト 本体鉄骨 ・ A種[厚さ50mm] ・ B種[厚さ30mm] ※図示による( ) その他の鉄骨 ・ A種[厚さ50mm] ※B種[厚さ30mm] ・図示による( ) 建方用アンカーボルト ・ A種[厚さ50mm] ※B種[厚さ30mm] ・図示による( ) 建方用アンカーボルト ・ A種[厚さ50mm] ※B種[厚さ30mm] ・図示による( )  19 溶融亜鉛めっき (基礎、主要構造部及びその他構造耐力上主要な部分に限る。)  種別等 (8. 20. 3)(表8. 20. 1)	
The state of the s	四面を全体にわたってつける ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	※A ·B (コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m³以下) 5 混和材料 [8.2.5] 種類 ※標準仕様書 6.3.1(d)(i)による・・混和材 種類 ※標準仕様書 6.3.1(d)(ii)による・・	・大臣認定を受けた内容による  [8.13.2] ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1 縁端距離及びボルト間隔等) ・ アラスト処理(表面粗度50 μ mRz以上) ・ ブラスト処理以外の特別な処理方法	(あと施工アンカー) 1 あと施工アンカー [8.2.4][8.12.1] セット方式 ※本体打込み式改良型 接合筋の種類、径、長さ 図示による() 接着系アンカー セット方式 ※カプセル方式回転・打撃式 カプセル方式打込み型	
### Company of the Co	4 撤去工事における 注意事項 ※コンクリート及び塗り仕上げを部分的に撤去する場合は、既存部分の仕上げに 損傷を与えないよう充分注意する。特に塗り仕上げ、増設部材設置構面内の壁 コンクリート及び土間コンクリート等の撤去に際しては、カッター等で切込みを付け、既存部分の保護を図る。 ※増設する部材に接する既存コンクリートは、充分に目荒らしを行い増設部材と の一体化を図る。なお、目荒らしは、深さ6mm程度の凹凸で全体を荒らすように する。はつり工事は構造躯体に悪影響を与えない方法で丁寧に行うこと。(電気 ピックを用いる等) ※コンクリート打設前に粉塵、はつりがら等を清掃し、数日前から充分に水湿めを行う。	[8.2.6] フロー値( ) 材料及び調合等 ・改修標準仕様書8.2.6(1)による 材料及び調合等 ・改修標準仕様書8.2.6(2)及び(3)による フ 無鉄コンクリート [8.11.1] 設計基準強度 ※18 (N/mm²) スランプ ※15cm又は18cm・	すべり耐力等の確認方法 ※すべり係数試験 試験方法等 ・図示による( )・ ・構造用アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3) セットの種類(JIS B 1220) ・ABR400 ・ABR490 形状、寸法 ・図示による( )・ ・建方用アンカーボルト 種類 ・SS400 アンカーボルト 及びナット のねじの種類の規格、ねじの等級の規格並びに仕上げの程度	アンカー筋の種類 ・改修標準仕様書 表8.2.1の異形棒鋼 ・全ねじボルト アンカー筋の径及び埋込み深さ ・図示による アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ・図示による  2 あと施工アンカー 工事 穿孔機械(金属検知により電源供給が停止出来る付属装置等を使用する) ※ハンマードリル ・コアドリル 穿孔前の埋込み配管等の探査方法 ・鉄筋探知器(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う 探査方式 ・電磁波レーダー法(30表示対応型) ・電磁波レーダー法又は電磁波誘導法	
Part	・石膏ボードについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に従い、原形のまま運搬し管理型最終処分場で処分すること。 ・石綿スレート、フレキシブルボード等石綿製品の撤去にあたっては、関係法令に従い、部材が破損しないように手はずしで行い、原形のまま運搬処分すること。・以下の天井材の撤去にあたっては、ボードが破損しないように、手はずしで行うこと。・床:ビニアス系タイルの撤去にあたっては、関係法令に従い部材が破損しないように湿潤後、手はずしで行い、原形のまま飛散防止をし運搬処分すること。 〈鉄筋〉	・高炉セメントB種 G ・フライアッシュセメントB種 G 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(e)による箇所 図示による( ) 8 ひび割れ誘発目地、 打継目地 (6.6.3)(6.8.2)(9.7.3) 目地寸法 ・標準仕様書9.7.3による 間隔・位置・形状 ・図示による( )	形状、寸法 ・図示による ( ) ・ (7.3.2) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔)・改修標準仕様書 8.2.10(a)(b)による・改修標準仕様書 8.2.10(a)(b)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・図示による ( )	<ul> <li>施工確認試験</li> <li>試験方法 ※引張試験</li> <li>確認強度 ・図示による( )</li> <li>(グラウト工事)</li> <li>1 柱底均しモルタル</li> <li>及びグラウト材</li> <li>(8.2.11)</li> <li>・無収縮モルタルの材料及び調合</li> </ul>	
### CALL STATE OF THE PARTY OF	1 鉄筋   種類   種類の記号   呼び径(mm)   備 考	9 コンクリートの仕上り       ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打ち増し厚さ部で処理する合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ         10 打増し厚さ (打放し仕上げ部)       ※図示による( ・20mm・         10 打増し厚さ (対放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)       ・20mm・	[8. 12. 2] H12建告第1464号第二号イ(1)(2)のただし書きによる補強は、「突合わせ 継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による 試験の要領 [8. 14. 3] 技量付加試験 11 溶接接合 [8. 15. 4] で図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)3 溶接継手の種類別開先標準) スカラップの形状	・ グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 混和材 セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミ ネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強 ポルトランドセメントとする。 セメント 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもの	
### 12 (1997) 1 (19	3 鉄筋の継手       [8.3.4] [8.4.2~3]       部位       継手方法       呼び径 (mm)         ・柱、梁の主筋       ・ガス圧接       ・機械式継手         ・溶接継手       耐力壁の鉄筋       ・重ね継手・         基礎、耐圧スラブ、土圧壁       ・ガス圧接       ・重ね継手         その他の鉄筋 (       )・重ね継手・         重ね継手の長さ       ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図) 4.1(a))         継手位置	<ul> <li>・10mm ・20mm ・ ・ 外壁タイル後張り面の打増し処理・20mm ・ 打増し範囲・図示による・・( ) せき板の材料及び厚さ コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。・ 合板(※12mm・・) ⑤</li> <li>・6.8.3) ・断熱材を兼用した型枠の使用</li> </ul>		場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。   無収縮グラウト材の品質及び試験方法	
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1) ・図示による( カットオフ鉄筋の長さ ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1、7.1) ・図示による( 基礎梁主筋の継手位置 ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)) ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)) ・図示による(横進関係共通図(配筋標準図)) ・図示による(横進関係共通図(配筋標準図)) ・図示による(大田・図5.2 ・図5.3 ・図5.4 会数筋の定着長さ	・MCR工法用シートの使用 (6.8.3) 打増し厚さ・20mm・ 打増し範囲・図示による( ) [8.2.7] スリーブの材種・規格等 ※改修標準仕様書8.2.7(f)(2)(i)又は(ii)による 存置期間及び取外し ※改修標準仕様書8.7.8による 12 型枠の加工及び組立 シアコネクタをセパレーターとして使用	* 図示による( **) ** ・	試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が 同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2)塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中 の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。 〈連続繊維補強工事〉 1 連続繊維シート巻き [8.2.12] 材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの 連続繊維の材質 引張強度(含浸硬化後)	
Application	5 鉄筋のかぶり厚さ	打込み工法等	※全数       ・AOQL(%) ※4.0 ・2.5         突合世継手の食い違い仕口のずれの検査       「突合世継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による・抜き取り検査① ※抜き取り検査② 材質、形状及び寸法 ※頭付きスタッド(JIS B 1198)         14 スタッド       [8.16.5]	ヤング係数(含浸硬化後) ・2.35×10 <sup>5</sup> N/m㎡程度 ・2.00×10 <sup>5</sup> N/m㎡以上・ 工法 ※(財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 下地調整 ひび割れ部の改修工法の種類 ・樹脂注入工法 ・ リカットシール材充填工法 ・ シール工法 柱の隅角部の面取り ※工法の評価内容による 連続繊維補強材の強度試験 引張強度試験	
### 1	<ul> <li>・最小かぶり厚さに加える厚さ ( ) mm</li> <li>鉄筋相互のあき (機械式継手及び溶接継手を除く) ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図) 5.1(d))</li> <li>6 機械式継手 [8.4.2] 使用箇所 ・図示による ( ) H12建告第1463号に適合する性能 ・A級</li> </ul>	・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(a)(1),(b)	・16       ・19         ・22       注 スタッド溶接完了後、外観試験及び打撃曲げ試験を行う。         15 錆止め塗装       塗料の種別	試験数量 図示による( ) 付着強度試験	
(3.4) 大部を担いた (3.4) 大部を表示している。	機械式継手の種類及び工法( 鉄筋相互のあき ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5(d)) [8.4.2] 品質の確認方法 ・図示による( ) 不良となった継手の修正方法等 ・図示による( ) 7 溶接継手 [8.4.3] 使用箇所 ・図示による( ) H12建告第1463号に適合する性能 ・A級	(1) 鉄骨製作工場 (1) 鉄骨製作工場の加工能力 (1) ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株) 日本鉄骨評価センター及び(株) 全国鉄骨評価機構 (旧(社) 全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」により評価を受け、国土交通大臣から認定を受けた工場、又は同等以上の能力のある工場で評価の区分 ※( )グレード・指定しない・監督員の承諾する工場(標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)	屋外 ※改修標準仕様書 表7.3.1 A種 ・ ・ 改修標準仕様書 表7.3.1 ( )種 ・ 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ・ 改修標準仕様書 表7.3.2 ( )種	[8.12.2] ・鉄筋探査器により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う 鉄筋探査器の探査方式 ・電磁波レーダー法(3D表示対応型) ・電磁波レーダー法又は電磁波誘導法 ・はつり出しによる [8.25.2] スリットの幅及び深さ ・図示による( ) ・	
日本の主義を有する名   日本の主義を有する名   日本の主義を持ちを減移方法及が削定基   日本の主義を有する名   日本の主義を有力を名   日本の主義を有力を含   日本の主義を有力を含まる。日本の主義を有力を含まる。日本の主義を有力を含まる。日本の主義を有力を含まる。日本の主義を有力を含まる。日本の主義を有力を含まる。日本の主義を有力を含まる。日本の主義を表もと考を含まる。日本の主義を表もと考える。日本の主義を表もと考える。日本の主義を表もと考える。日本の主義を表もと考を表もと表もと考える。日本の主義を表もと考える。日本の主義を表もと考える。日本の主義を表もと考える。日本の主義を表もと表もと表もと表もと表もと表もと表もと表もと、主義を表もと表もと表もと、主義を表もと表もと表もと表もと表もと表もと表もと表もと表もと表もと表もと表もと表もと表	・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5(d)) ・図示による(本) 品質の確認方法 ・図示による(カー・標準仕様書1.2.2(b)施工計画書の品質計画による 不良となった継手の修正方法等 ・図示による(カー・標準仕様書1.2.2(b)施工計画書の品質計画による 溶接技術者	A 質等	・改修標準仕様書 表7.3.1 A種 ・耐火被覆材の接着する面への塗装 適用箇所 ・図示による( ) 塗料の種別 ・改修標準仕様書 表7.3.1 ( )種 ・改修標準仕様書 表7.3.2 ( )種	(基礎工事)       1 既存杭の撤去等       撤去範囲及び撤去方法 ※図示( )         (8. 28. 2)       杭頭部等の処理 ・処理する(※図示( )) ・処理しない ・する ・しない 健全性の確認試験 ・する ・しない         2 土工事 [8. 28. 3]       埋戻し及び盛土の種別	
17 建方精度   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1	8 圧接完了後の試験 [8.3.8]     超音波探傷試験 箇所数・全圧接部適用箇所・図示による(・)・標準仕様書5.4.9(2)(i)による箇所数	[8.2.9] ・トルシア形高力ボルト セットの種類 ・2種(S10T)・ ・JIS形高力ボルト セットの種類 ・2種(F10T)・ [8.2.9] 高力ボルトの径 ・図示による( )・ [8.13.26] ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等	[8. 18. 2~8. 18. 7]       種類       材料・工法       性能(耐火時間) 適用箇所(部位・部分)         ・耐火材吹付け       ・乾式吹付ロックウール       ・湿式ロックウール         ・温式ロックウール       ・         ・耐火板張り       ・繊維混入けい酸	・ C種 適用場所( ) 土質( ) 受渡場所( ) ・ D種(細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする) 適用場所( ) 六価クロム溶出試験・行う(現場説明書による)・行わない 建設発生土の処理・構内指示の場所に堆積・構内指示の場所に敷均し・ 山留の存置 範囲(※図示・ )	
富士見市 総合政策部 管財課		[8.14.2] すべり係数試験 ※行わない ・行う(試験方法等 ・図示( ) ・ )	<td c<="" color="1" rowspan="2" td=""><td>試験杭(位置、本数、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示) 地盤の載荷試験 適用(・平板) 試験位置、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示 杭地業の工法等 ※図示( ) 砂利及び砂地業の厚さ ※60mm 捨コンクリート地業における捨コンクリートの厚さ ※50mm</td></td>	<td>試験杭(位置、本数、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示) 地盤の載荷試験 適用(・平板) 試験位置、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示 杭地業の工法等 ※図示( ) 砂利及び砂地業の厚さ ※60mm 捨コンクリート地業における捨コンクリートの厚さ ※50mm</td>	試験杭(位置、本数、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示) 地盤の載荷試験 適用(・平板) 試験位置、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示 杭地業の工法等 ※図示( ) 砂利及び砂地業の厚さ ※60mm 捨コンクリート地業における捨コンクリートの厚さ ※50mm
	富士見市総合政策部管財課				

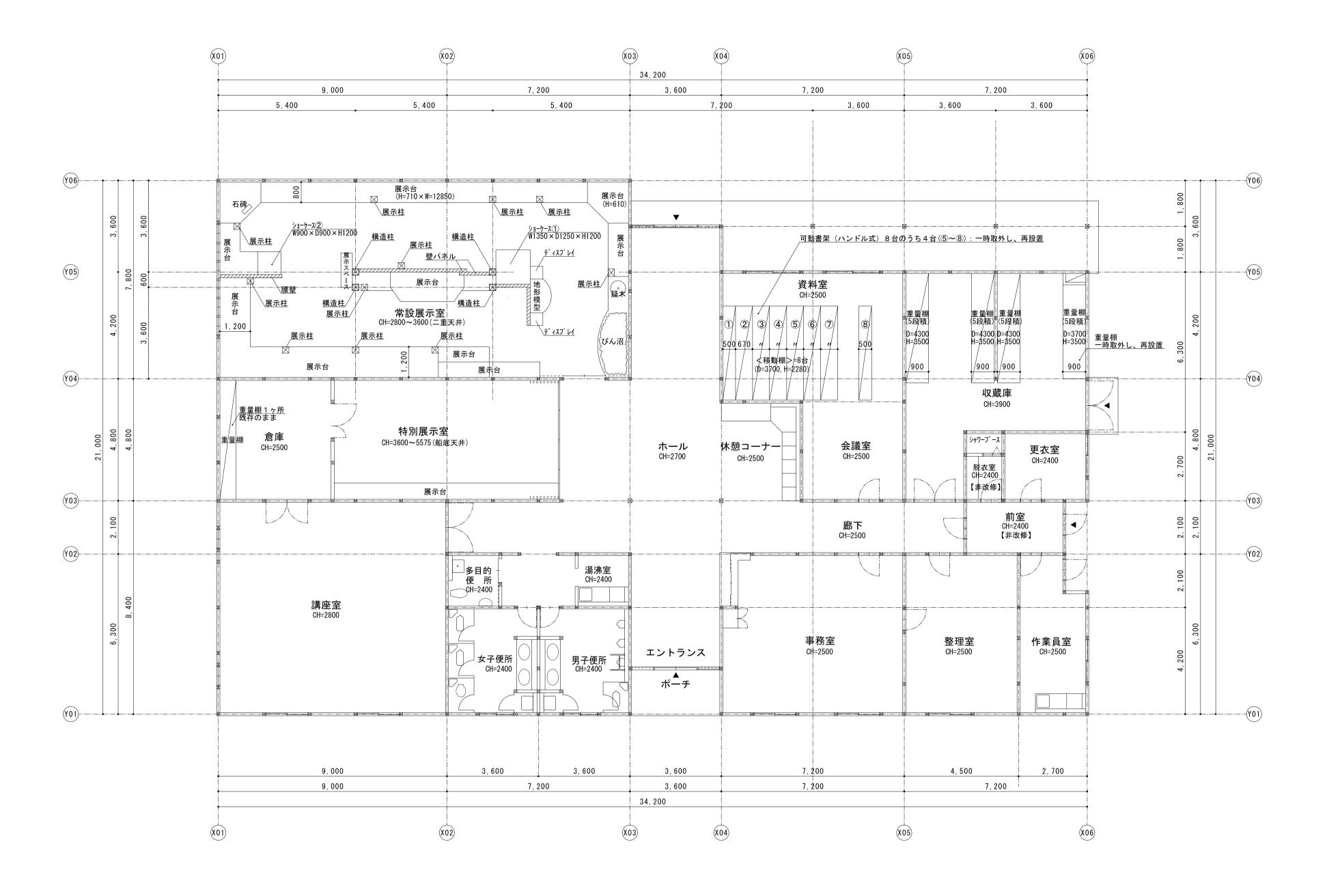
# 工事区分表

建築関係	建築	電気機械	電気設備関係	建築  電気  機械	空調換気設備関係	建築	電気	機械
建築工事一式			電気設備工事一式		空調換気設備一式			
A C室外機(売店・納屋):木製カバー工事	0		照明器具		梁貫通補強			<u> </u>
仮設工事	0		照明器具、天井切込及び補強		天井、開口補強			<u> </u>
床養生工事	0		同上配管配線		吹出口、吸込口取付用穴塞ぎ			
清掃工事	0		電気配線・配管の貫通口孔開け		機器の冷媒管及び排水管工事			
			天井点検口		空調用動力(1次側配管 配線)			
			電気設備その他工事の埋込器具天井切り込み		空調用動力(制御盤及び2次側配管:E、配線:M)			
			電気設備その他工事の埋込器具の開口補強		換気用動力 (1次側配管 配線)			
			上記貫通部穴埋め補修、シール		換気用動力・制御(2次側配管 配線)			
			蛍光灯撤去•運搬•処分		天井扇、換気扇(枠共)及び取付			
			換気扇スイッチ・空調機用リモコン(BOX・配管・モール等は電気)		機械設備配管・ダクトの貫通口孔開け			
			警備保障用 機器、配線 一時取外し、再取付(天井改修部分)	警備会社	上記貫通部穴埋め補修			
			警備保障用 配管 一時取外し、再取付(天井改修部分)	警備会社	機械設備その他工事の埋込器具天井切り込み			·
			撤去部補修、シール		機械設備その他工事の埋込器具の開口補強			İ
								İ
								İ
					備品工事関係	建築	電気	機械
					移動棚(資料室):一時撤去、再取付	専門業者		
					重量棚(収蔵庫):一時取外し、再取付および荷物の保管、再設置	専門業者		İ
						7717/21		
								 I
								Í

<b>学士日士</b>	課 長 副課長 主 査 監督員	一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号	JOB MANAGER   JOB CAPTAIN   DRAFTING BY   工事名称	<sup>施工年度</sup> 令和元年度	図面番号 A — O 3
富士見市総合政策部管財課		(有)梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴	四面名称 工事区分表		縮尺 A1: S=1/ A3: S=1/







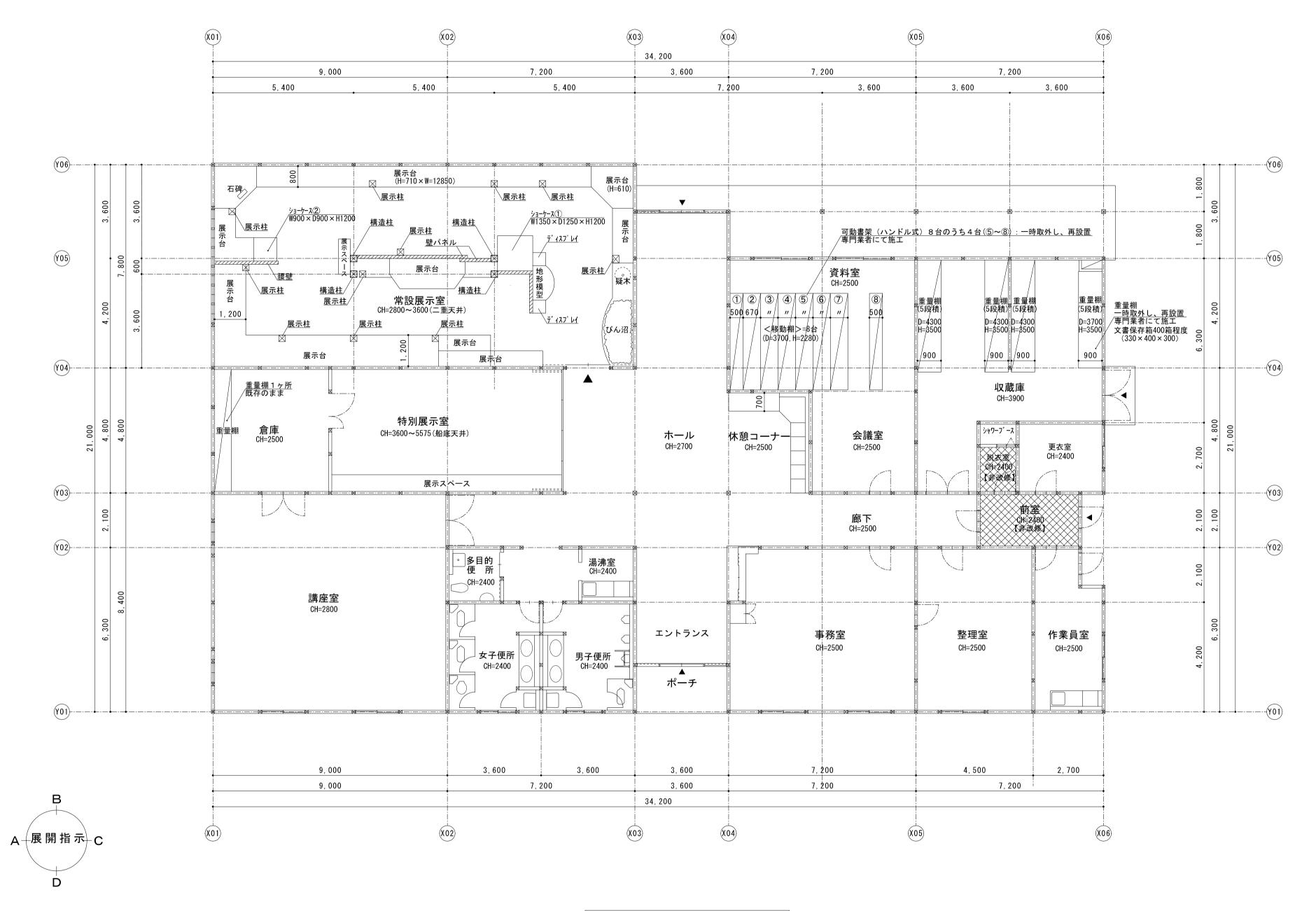
資料館 仮設計画図 1:100

注1:常設展示室のディスプレイは移動・搬出が不可能なものもあるため、 施工業者が天井改修工事に際して固定ディスプレイの養生方法や仮設計画を十分に検討すること。

注2:特別展示室のディスプレイについては、施設側にて移設・再設置とする。

注3:資料室の移動棚及び収蔵庫の重量棚は、一時取外し、再取付を行う。 また、荷物の梱包、保管場所への移動、保管、復旧も本工事で行う。

	課長副課長	主 査 監督員 主 幹	一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号	T事名称	施工 <sup>年度</sup> 令和元年度	図面番号
富士見市総合政策部管財課				市立難波田城資料館空調設備更新工事	工事場所 富士見市大字下南畑 地内	A-06
			(有)梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴	資料館 仮設計画図		A1 : S=1/100 A3 : S=1/200



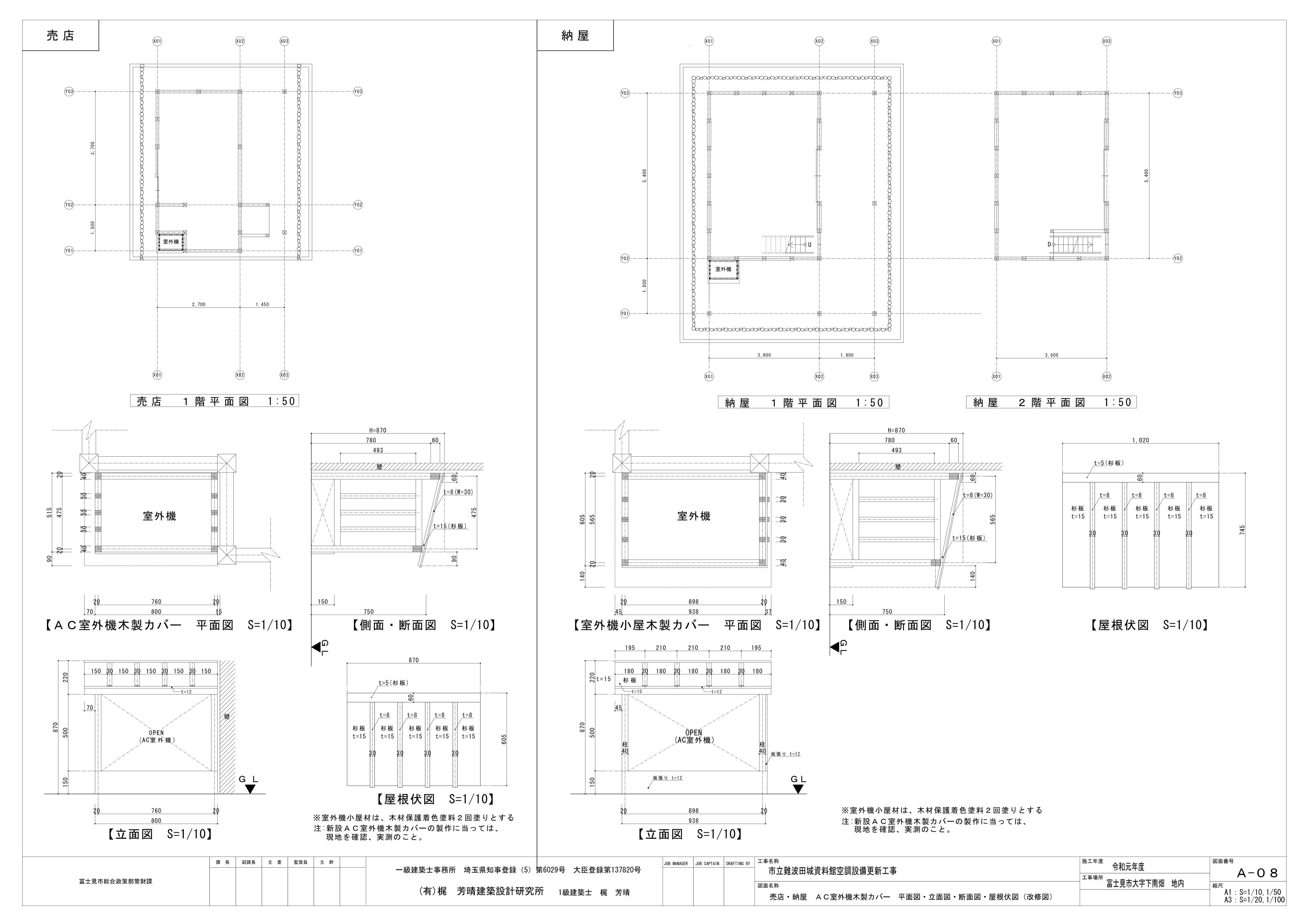
資料館 平面図 1:100

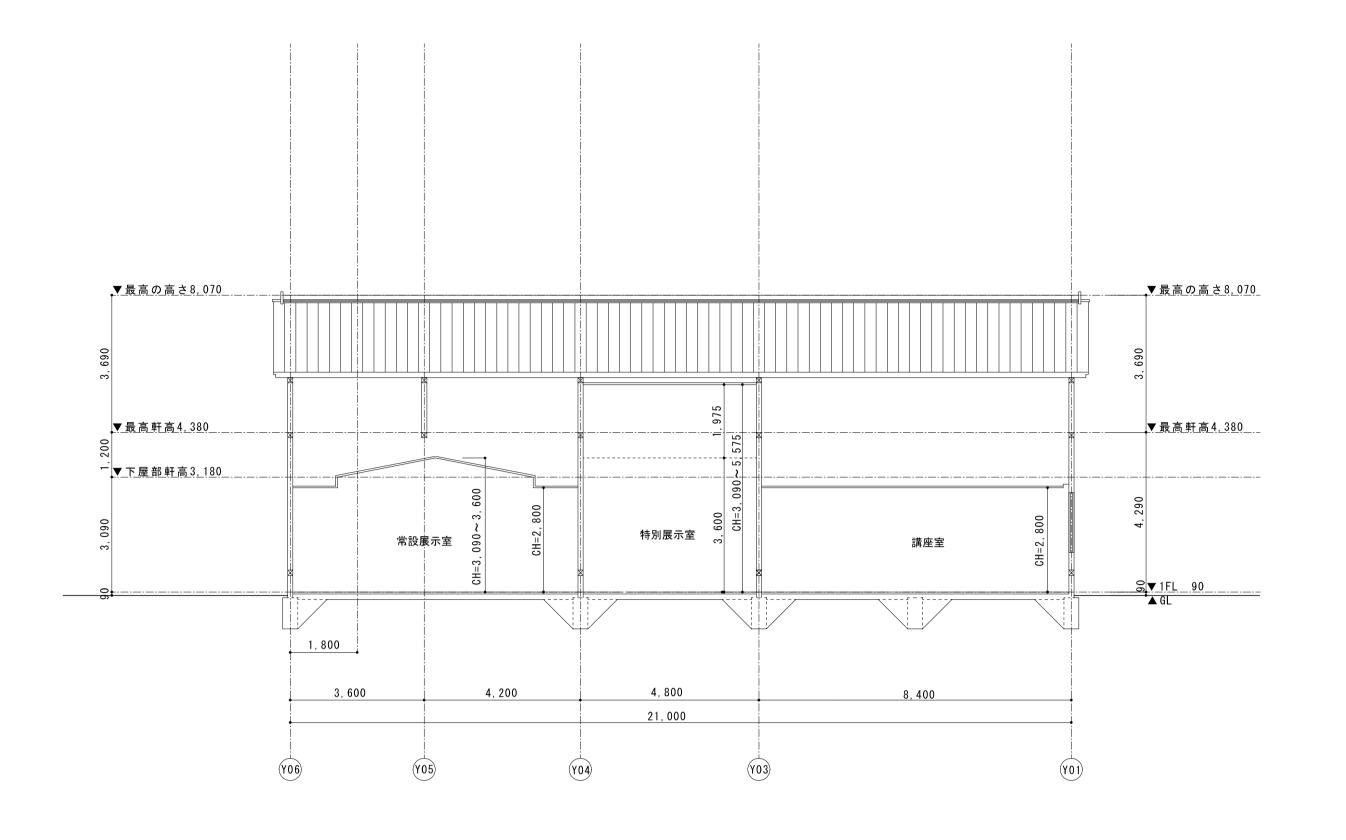
【凡例】

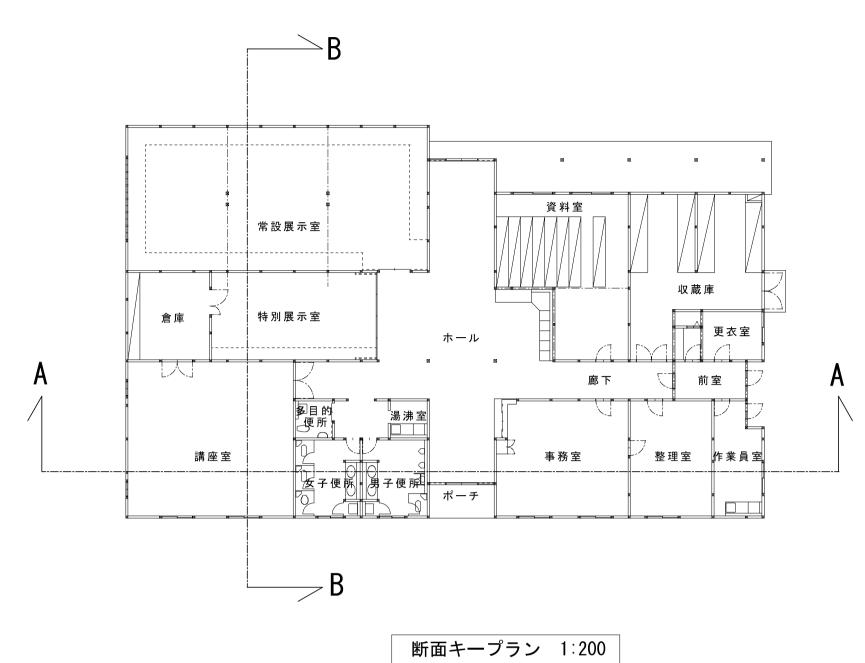
非改修(床・壁・天井)の範囲を示す

- 注1:常設展示室のディスプレイは移動・搬出が不可能なものもあるため、 施工業者が天井改修工事に際して固定ディスプレイの養生方法や仮設計画を十分に検討すること。
- 注2:特別展示室のディスプレイについては、施設側にて移設・再設置とする。
- 注3:資料室の移動棚及び収蔵庫の重量棚は、一時取外し、再取付を行う。 また、荷物の梱包、保管場所への移動、保管、復旧も本工事で行う。
- 注4:資料室の天井改修範囲は天井伏図 A-11参照のこと。

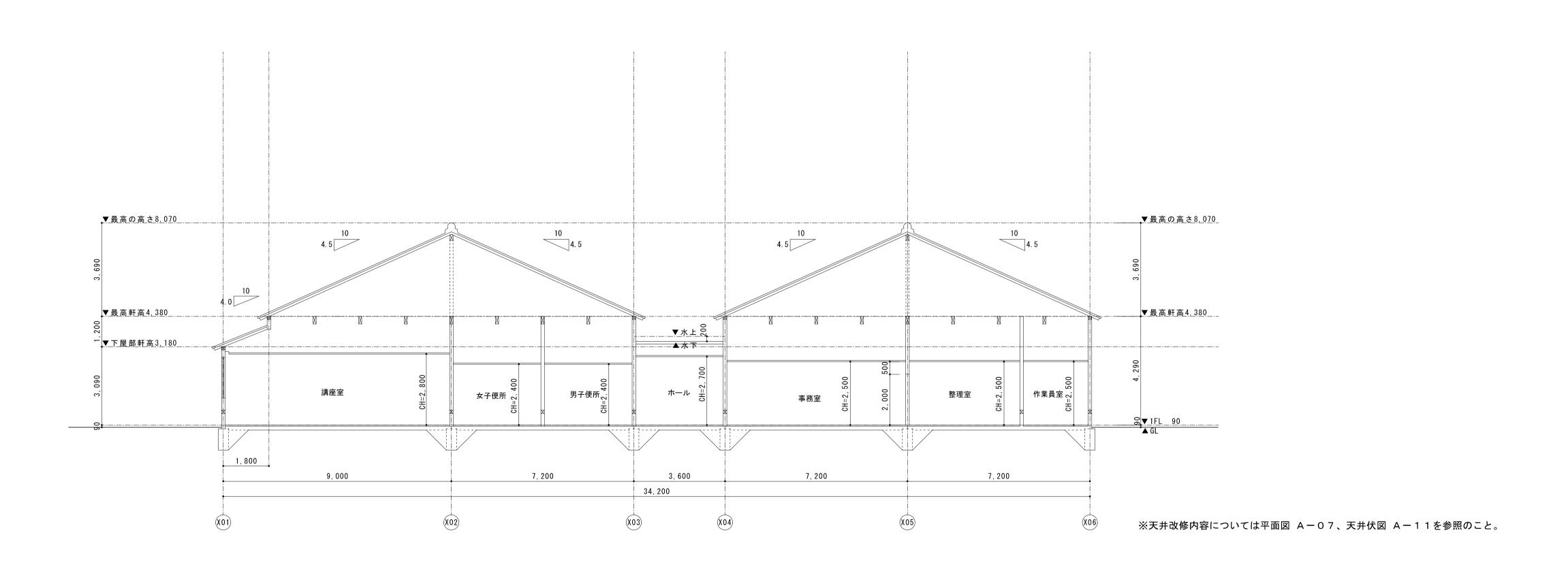
	課長副課長主査	監督員 主 幹	JOB MA'	IAGER JOB CAPTAIN DRAFTING BY 工事名称	施工年度 令和元年度
富士見市総合政策部管財課			一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号	市立難波田城資料館空調設備更新工事	
			(有)梶 芳晴建築設計研究所  1級建築士 梶 芳晴	資料館 平面図(改修図)	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200





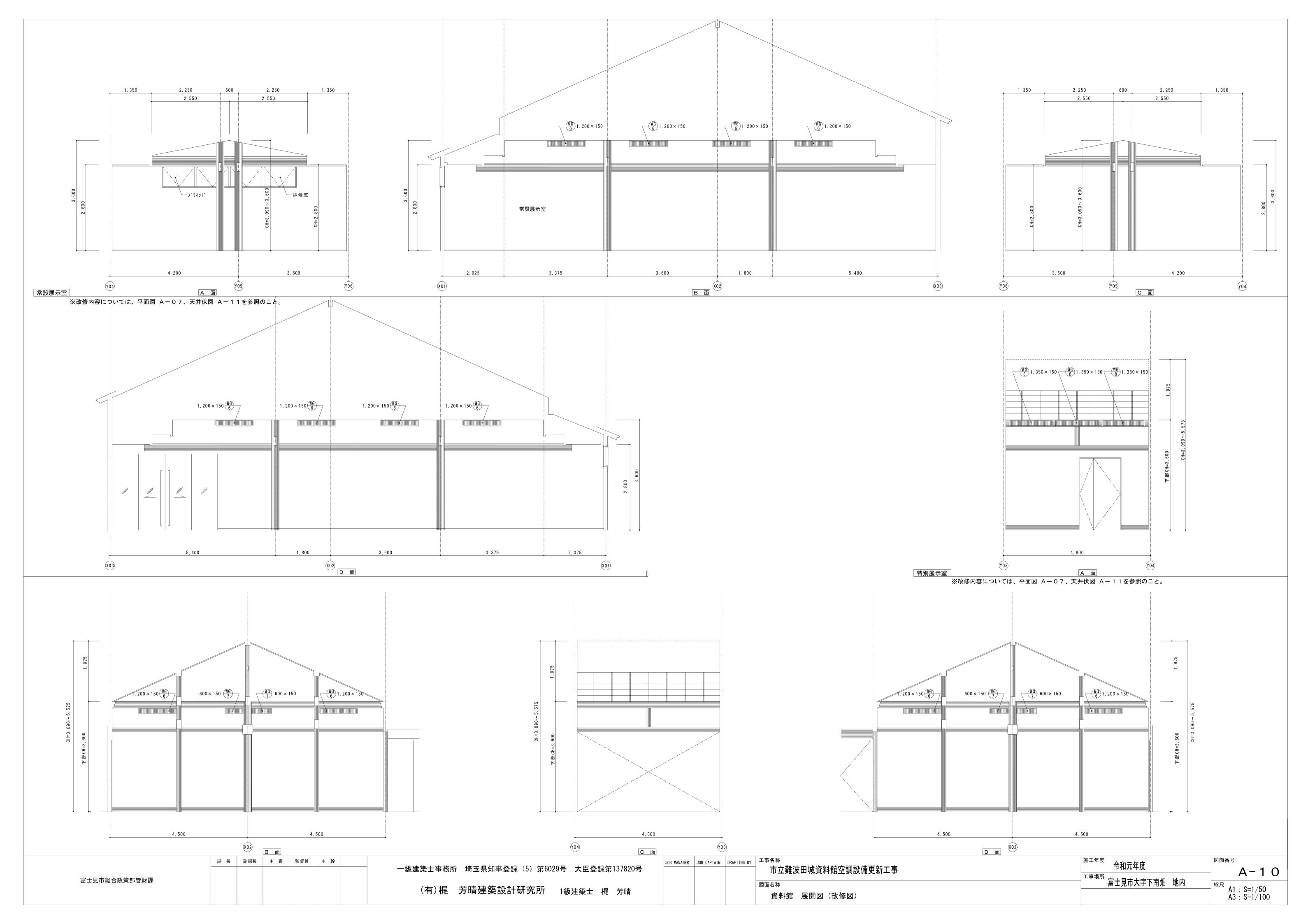


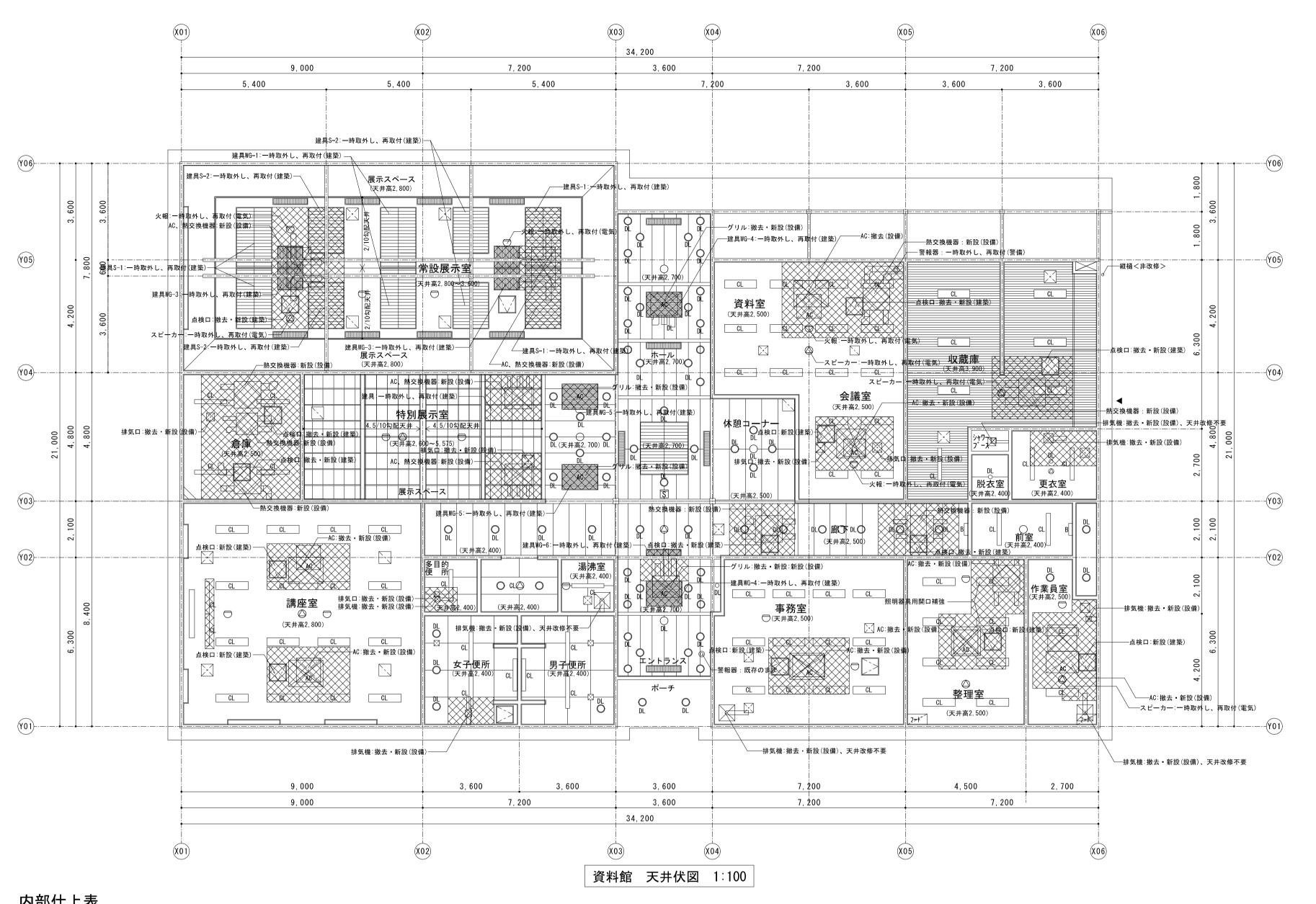
資料館 B~B断面図 1:100



資料館 A~A断面図 1:100

	課 長 副課長 主 査 監督員	一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号	JOB MANAGER JOB CAPTAIN DRAFTING B	<sup>工事名称</sup> 市立難波田城資料館空調設備更新工事	施工 <sup>年度</sup>	図面番号 — A-O 9
富士見市総合政策部管財課		(有)梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴		図面名称 資料館 断面図 (改修図)		縮尺 A1: S=1/100, 1/200 A3: S=1/200, 1/400





● 凡 例

記 号 名称・仕様

CL 電気設備による蛍光灯照明器具位置を示す。

DL 電気設備による天井埋め込み照明器具位置を示す。

B 電気設備による壁掛け又は壁埋め込み照明器具位置を示す。

電気設備による天井埋め込みスピーカー位置を示す。

機械設備による天井埋め込み型空調機位置を示す。

機械設備による天井埋め込み型空調機位置を示す。

機械設備による天井埋め込み換気扇用排気がりが置を示す。

機械設備による天井埋め込み換気扇用綿気がりが置を示す。

天井点検口(600×600)を示す。

警報器を示す。

警報器を示す。

# 【凡例】

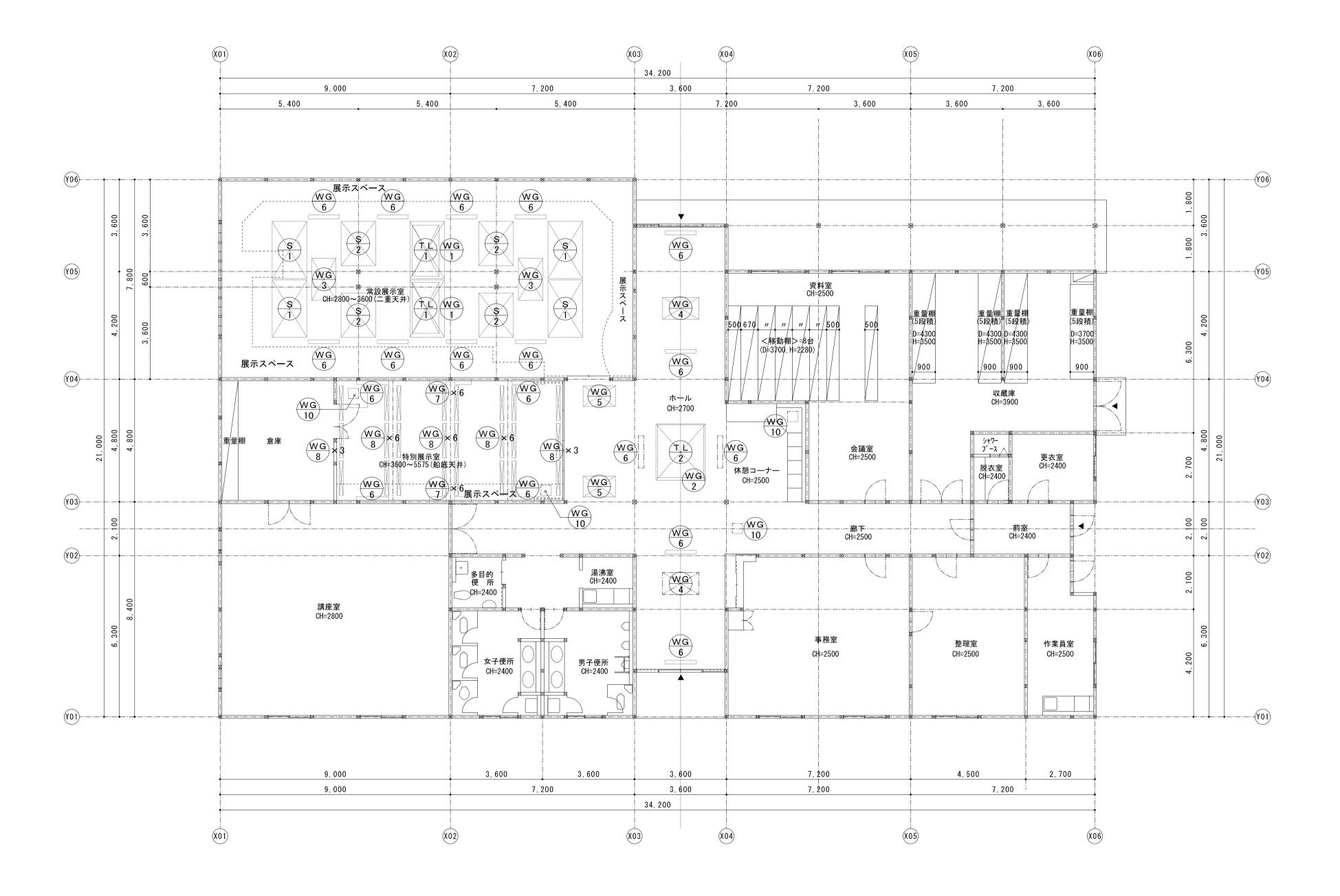
天井改修、設備改修、建具一時取外し・再取付範囲等を示す。

※ 照明器具は、すべて撤去、新設(詳細は、電気図参照)

室	图名	天井高	天井 (現況)	天井 (改修後)	廻り縁(現況)	廻り縁(改修後)	備 考	点 撤去	検口
ホーノ	ル	2700	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り)   厚5.8天然木ツキ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツキ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り新設	木製付梁	【非改修】	化粧梁   ピクチャーレール、館内案内板、付け柱、見切り縁	JAX	<del>                                      </del>
休憩:	コーナー	2500	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツキ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツキ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り新設	木製(杉) 36×27	【非改修】	化粧梁ピクチャーレール 室名サイン板、付け柱、見切り縁、電話台、ベンチ		
廊下		2500	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツキ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	軽量鉄骨下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツキ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り新設	木製付梁	【非改修】	付け柱、化粧梁	2 7	2
特別原	展示室	(船底天井) 3600~5575	木軸組下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツキ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り	木軸組下地、(専用ネイル 接着剤併用張り) 厚5.8天然木ツキ板合板張りの上 木材保護着色塗料2回塗り新設	(竿縁天井) 木製(杉) 36×27	【非改修】	付け柱、見切り縁、化粧梁、付け桁、ピクチャーレール、室名サイン板 ※ディスプレイについては、施設側にて移設・再設置		
常設原	展示室	(2重天井) 2800~3600	軽量鉄骨下地 厚9PB捨て張りの上 厚12 石綿吸音板張り	軽量鉄骨下地 PB捨て張りの上 厚12 石綿吸音板張り新設	木製(杉) 36×27	【非改修】	室名サイン板、ブラインド、ピクチャーレール、木製照明ボックス、付け柱、見切り縁、付け桁、梁 ※ディスプレイについては、専門業者にて移設・再設置	1 7	
事務国	室	2500	軽量鉄骨下地 厚9化粧石膏ボード張り	軽量鉄骨下地 厚9.5化粧石膏ボード張り新設	塩ビ製	塩ビ製新設	ブラインド 室名サイン板、受付カウンター		
整理图	室	2500	軽量鉄骨下地 厚9化粧石膏ボード張り	軽量鉄骨下地 厚9.5化粧石膏ボード張り新設	塩ビ製	塩ビ製新設	ブラインド   キッチンセット、バックライニング		
作業員	員室	2500	軽量鉄骨下地 厚9化粧石膏ボード張り お思されること	軽量鉄骨下地 厚9.5化粧石膏ボード張り新設	塩ビ製	塩ビ製新設	ブラインド		
資料图		2500	軽量鉄骨下地   厚9化粧石膏ボード張り   軽量鉄骨下地	軽量鉄骨下地 厚9.5化粧石膏ボード張り新設 軽量鉄骨下地	塩ビ製	塩ビ製新設	ブラインド、室名サイン板 可動書架(ハンドル式)の8台の内4台を一時取外し・再設置(専門業者)	1 7	
会議3		2500	摩里妖育下地   厚9化粧石膏ボード張り   軽量鉄骨下地	撃量鉄育下地 厚9.5化粧石膏ボード張り新設 軽量鉄骨下地	塩ビ製	塩ビ製新設	室名サイン板、カーテンボックス		_
講座3		2800	厚9化粧石膏ボード張り   軽量鉄骨下地	厚9.5化粧石膏ボード張り新設 軽量鉄骨下地	塩ビ製	塩ビ製新設	ホワイトボード (4500×1500) 、見切り縁等		+
更衣室		2400	厚9化粧石膏ボード張り   軽量鉄骨下地	厚9化粧石膏ボード張り新設	塩ビ製	塩ビ製新設	脱衣棚		1
脱衣室	至	2400	厚6フレキシブルボード張りVP仕上   軽量鉄骨下地	【非改修】	塩ビ製	【非改修】			1
前室		2400	厚9化粧石膏ボード張り 軽量鉄骨下地	【非改修】 軽量鉄骨下地	塩ビ製	【非改修】	<b>₹</b> ∃ Jm		
倉庫	的トイレ	2500	厚12PB下地ビニルクロス貼り張り 軽量鉄骨下地	厚12 P B 下地ビニルクロス貼り張り新設 軽量鉄骨下地	塩ビ製	塩ビ製新設	重量棚   安全手摺、化粧鏡   安全手摺、化粧鏡	2 7	+
	ガイレ	2400	厚6フレキシブルボード張りVP仕上 軽量鉄骨下地	厚6フレキシブルボード張りEP-G仕上新設	塩ビ製	塩ビ製新設	室名サイン板、バックライニング安全手摺、化粧鏡、室名サイン板		+
	トイレ	2400	厚6フレキシブルボード張りVP仕上 軽量鉄骨下地	【非改修】 軽量鉄骨下地	塩ビ製	【非改修】	トイレブース(芯材入)、バックライニング         安全手摺、化粧鏡、室名サイン板		+
湯沸雪		2400	厚6フレキシブルボード張りVP仕上 軽量鉄骨下地	厚6フレキシブルボード張りEP-G仕上新設	塩ビ製	塩ビ製新設	トイレブース(芯材入)、バックライニング バックライニング、床見切り縁		+
	ワー室		厚6フレキシブルボード張りVP仕上 軽量鉄骨下地	【非改修】	塩ビ製	【非改修】	キッチンセット、吊戸棚【一時取外し、再取付:建築】 照明60W、シャワーセット、換気グリル共一式、折り戸、引き手、タオル掛け、排水トラップ一式		+
収蔵原		3900	ユニットバス仕様 (8011タイプ)	【非改修】但し、ユニットバスの点検口から設備更新工事あり	ユニットバス仕様	【非改修】	注:ユニットバスの点検ロより設備更新工事あり	1 7	

※天井改修工事では軽量鉄骨下地及び木軸組下地、仕上材を撤去・新設とする。 ※天井改修時における警報器の一時取外し・再取付については、警備会社と調整を行うこと。

	課長副課長主査監督員主幹	一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号	JOB CAPTAIN DRAFTING BY 工事名称 市立難波田城資料館空調設備更新工事	施工年度 <b>令和元年度</b> 工事場所 <b>一 </b>
富士見市総合政策部管財課		(有)梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴	図面名称 資料館 天井伏図(改修図)	at見市大字下南畑 地内 A1: S=1/100 A3: S=1/200



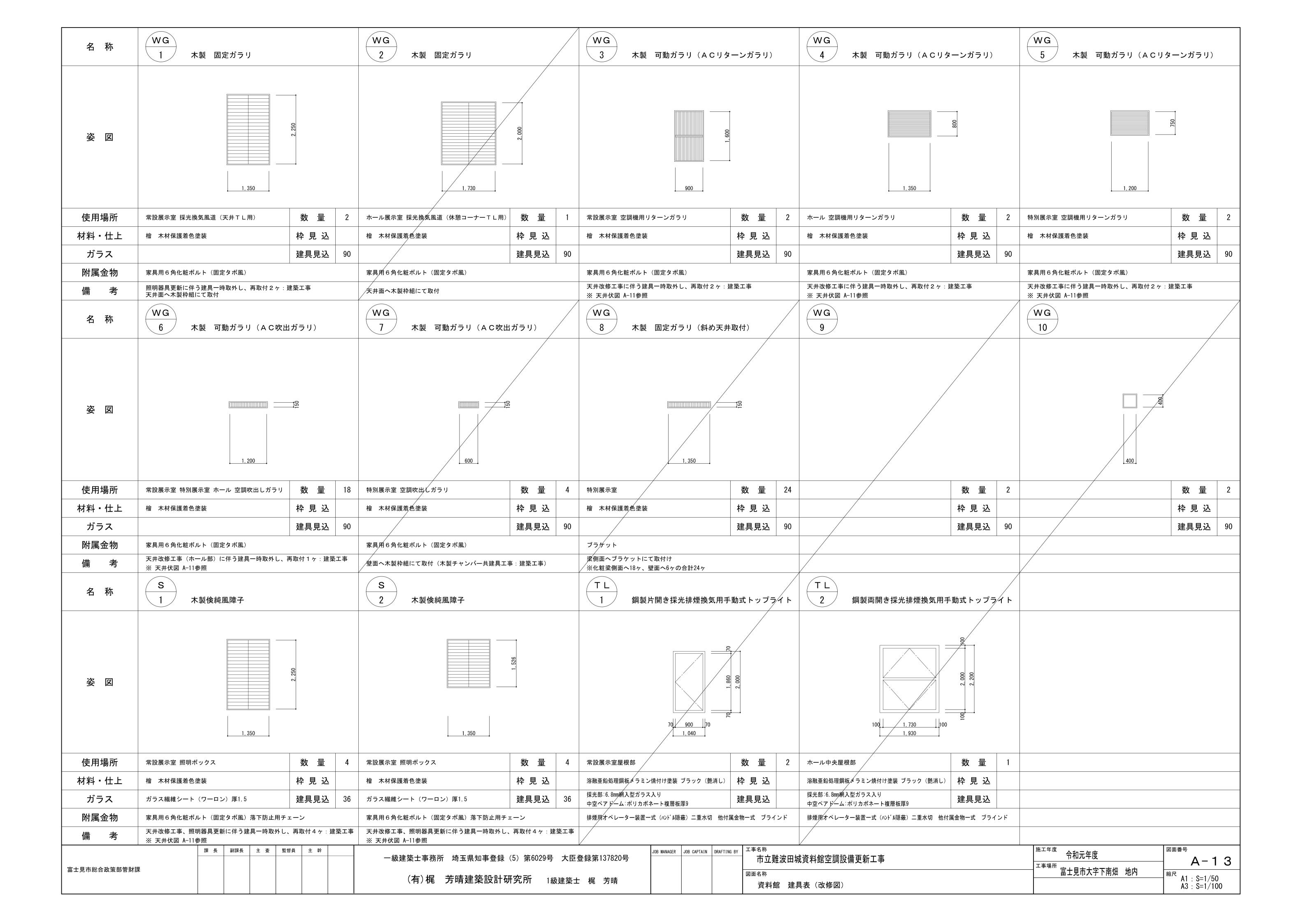
資料館 建具キープラン 1:100

建具一時取外し、再取付リスト

×	生 <del>人</del> 时収がし、	中央リックト				
	室名	建具記号	個数	室名	建具記号	個数
	常設展示室	S — 1	4ヶ	ホール	WG — 4	2 ケ
	常設展示室	S – 2	4 ケ	ホール	WG - 5	2ヶ
	常設展示室	WG — 1	2ヶ	常設展示室	WG-6	1ヶ
	常設展示室	WG-3	2ヶ			

- 注1:建具キープランでは、天井改修工事による建具の一時取外し・再取付がある建具番号を上記表に示している。
- 注2:建具表は、A-13参照
- 注3:建具一時取外し、再取付に際しては、現場監督員と設備業者との協議の上、仮設計画を施工者が決めること。

	課長副課長主査監督員主幹	JOB MANAC	SER JOB CAPTAIN DRAFTING BY 工事名称	施工 <sup>年度</sup> 令和元年度	図面番号
		一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号	市立難波田城資料館空調設備更新工事	丁惠場所	- A-12
富士見市総合政策部管財課		(有)梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴	図面名称 資料館 建具キープラン(改修図)		縮尺 A1: S=1/100 A3: S=1/200



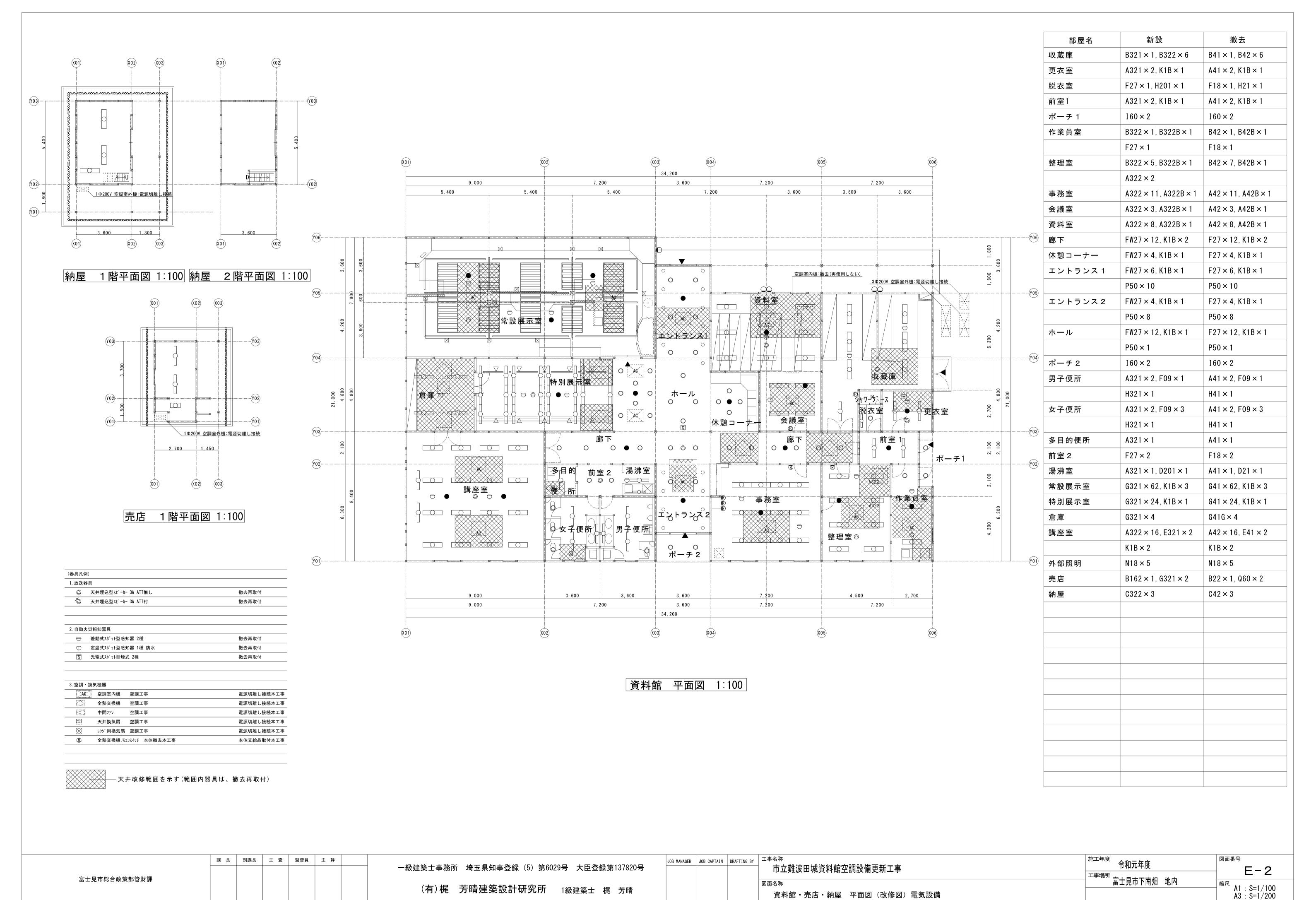
### 電気設備工事特記仕様書 2.4 取付高さ 1 工事概要 12 金属電線管の 露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗 壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。 (4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は 1.1 エ事名 市立難波田城資料館空調設備更新工事 塗装 装を行わない。 受注者の負担とする。 1.2 工事場所 取付高さ(mm) 富士見市大字下南畑 地内 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。 (5)特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブル 1.3 エ 期 契 約 日 から 令和 2 年 2 月 2 8 日 ただし、見えかかり部の塗装については監督員の指示による。 県営住宅 とし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 スイッチ(一般) 床上~中心 1,300 盤等の鍵は、既存盤及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。 1,200 13 鍵 (6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を " (身体障害者用) 1,100 1,000 行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定 1.4 工事科目(〇印の付いたものを適用する) (人感センサー切換用) 2,000 2,000 14 地中電線路 (1)管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記 を行い、試験記録を提出する。 コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット (一般) 400 300 (7)調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。 ● 電灯コンセント設備 ・ テレビ共同受信設備 (和室) 150 200 敷き均し土 管 種 別 (8)受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを テレビ電波障害防除設備 台上~中心 (台上) 150 500 硬質ビニル電線管(VE) 行うこと。 電熱設備 監視カメラ設備 防水型コンセント 500 床上~中心 500 耐衝撃性塩化ビニル管(HIVE) 良質土 - 雷保護設備 駐車場管制設備 ※以下は、高等学校および特別支援学校の改修工事(夏休み工事)に適用する 波付硬質合成樹脂管(FEP) 分電盤、制御盤、開閉器箱 (上端1,900以下)1,500 (上端1,900以下)1,500 受変電設備 防犯、入退室管理設備 呼出ボタン(身体障害者用) ポリエチレン被覆鋼管(PLP) 900 900 (9)騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については原則として夏休み ● 自動火災報知設備 ▶ 静止型電源設備 復帰ボタン ( " 1,800 1,800 (2) 地中電線路には、ケーブル埋設標及び標識シートを設ける。ただし、低 期間に設定すること。 発電設備 ▪ 自動閉鎖設備 廊下表示灯 ( " 2,000 2,000 圧・弱電回路の標識シートは図面特記による。 構内情報通信網設備 ・ ガス漏れ火災警報設備 端子盤 2,000 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。 構内交換設備 電話配管設備 (15) 回路の種別 ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケ • 情報表示設備 中央監視制御設備 3 その他 行先の表示 ーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。 • 映像、音響設備 昇降機設備 3.1 他工事との取合区分 拡声設備(非常放送設備) (16) 電線の接続 湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープ 発注図又は工事区分表による。 誘導支援、呼出し設備 2.3 工事別一般事項(特記事項選択項目は、〇印のついたものを適用する) を巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。 3.2 図面上の縮尺 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよ 記事 図面上の縮尺は、発注図の大きさを日本工業規格A1版とした縮尺とする。 工期:令和 年 月 日) (1) 電灯コンセント い。ただし、接続はボックス内とする。 3.3 疑義 (1)配線器具 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間(建設業法により必要になった場合) 本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、 設備 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は連用形とする。なお、2口コンセン 屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施 1 専任期間の始期 17 電線管の接続 監督員と協議するものとする。 トは複式を使用してもよい。 請負契約締結の日から、(①現場施工に着手するまで(現場事務所の設置、資機材の搬入 したねじなし工法としてもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 又は仮設工事等が開始されるまで)の期間 ・令和 年 月 日までの期間)については、 18 残土処分 埋戻し後の建設残土は、監督員が指示する構内の場所に敷き均しとする。 (2)照明器具 主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘 2 専任期間の終期 19 再生砂・再生 契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を 導灯とし、関係法令に適合したものとする。 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、 得た上で、・使用できる。 ※使用できない。 アスコン (3)照度測定 後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。 再生砂使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌 電灯設備工事に際し、新営工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修 舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書 3 専任期間の中断 の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。 前と改修後の照度測定を下記基準により実施すること。 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、 第1条 この特記仕様書は、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト JIS C 7612 「照度測定方法」 工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。 $|igl(2\ 0igr)$ 工事実績情報 舗装版切断時に発生する濁水(以下「濁水」という。)の処理に関し必要な事項を定めるもの 請負代金が500万円以上のすべての工事について、受注時、変更時及び 学校環境衛生基準 1.7 建物概要 の登録 (4)分電盤 完成時に監督員の承諾を受けた後、工事実績情報を登録し、登録結果を 第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 監督員に報告する。 - 種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) m3 (5)継枠 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが 市地内、(株) (21) 耐震施工 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政 ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却又は溶融含まず) 10mm程度以上離れる場合は継枠を使用する。ただし、ボード張りで、ボ 1.8 工事概要 法人建築研究所監修)による。 中間処理後、最終処分場又は再資源化(処理に焼却又は溶融を含む) ード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、継枠を必 ・照明器具のLED化 なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものと 2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 要としない。 空調機器更新に伴う電源工事 する。 第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した (6)位置ボックスの省略 ・空調機器更新に伴う支障部位の弱電機器の撤去、再取付 (1)設計用水平地震力 濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとす ケーブルころがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器 機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。 具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。 なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しな 2 工事仕様 ければならないものとする。 (2)動力設備 (1)動力制御盤及び開閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷 2.1 共通仕様 設計用標準水平震度 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃 用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」 一般の施設 棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 特定の施設 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別 機器種別 という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において 途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)、公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) 2. 0 1. 5 1. 5 1. 0 定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。 (以下「標準仕様書等」という。)及び監督員の指示に従い施工する。 2. 0 第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければな 防振支持の機器 2.0 2. 0 1. 5 3 雷保護設備 (1)受雷部突針はLR1とする。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。 水 槽 類(※1) 2.0 1. 5 1. 0 らないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結 (2)水平導体又はメッシュ導体は、太さ38mm2以上の銅より線、t3×25mm (2)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。 した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 1.5 1. 0 1.0 0.6 以上の大きさの銅帯又はt4×25mm以上の大きさのアルミ帯とする。 (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。 | 防振支持の機器 | 1.5 1. 5 1. 5 1.0 2 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。 (3)引下げ導線は、太さ22mm2以上の銅より線を使用する。 1. 0 1. 0 水 槽 類(※1) 1.5 0.6 第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変 2.2 特記仕様(特記事項の選択項目は、〇印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。 器 1. 0 0. 6 0. 6 0. 4 更の対象としないものとする。 4 受変電設備 高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に ● 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。) 2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協 地下・1階 | 防振支持の機器 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 0.6 再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その 目 事項 | 水 槽 類(※1) | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 議するものとする。 端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 【備 考】(※1):水槽類には、オイルタンク等を含む。 (1)機材等 3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。 (端末処理・耐塩用・一般用 ) 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のもの 重要機器 とする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提 受 電 電 圧 交流 3 相 3 線式 6.6 kV 5 0 Hz ·配電盤 ·発電装置(防災用) ·直流電源装置 ·交流無停電電源装置 定格電圧 7.2kV 定格電流 A 出し承諾を受けるものとする。 柱上用高圧気中 •交換機 •火災報知器受信機 •中央監視装置 •太陽光発電装置 負荷開閉器(PAS) 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む 上層階の定義は次による。 機材等は使用しないこと。 主 遮 断 装 置 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA 2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品 変圧器設備容量 動力用 kVA× 台 目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項 は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 を満たすこと。 (2)設計用鉛直地震力 電灯用 kVA× 台 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 高圧進相コンデンサ kVar× 台 施工時間 2 施工条件 |(22) あと施工アンカー 機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員 直列リアクトル ・6% ・13% ※行政機関の休日に関する法律(S63第91号)に定める行政機関の休日以外。 の承諾を受けるものとする。 kVar× 台 上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、 本工事に必要な電力及び水は、構内から使用できるものとしその仮設にかか (3) 工事用電力・水 アンカーボルトを選定すること。 る費用は、受注者の負担とする。 施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は 5 構内情報通信 ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。 (4) 工事用仮設物 すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。 十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 網設備 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を (5) 足場・さんばし類 ※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 添付すること。 6 静止型電源 · 直流電源装置 · 交流無停電電源装置 • (概要) ・本工事とする。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル 設備 挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 6 監督員事務所 本工事で ・設ける(規模 ) ※設けない (原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。) あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施する (7) 保 険 受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを 7 発電設備 ・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 こと。 火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出す ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 燃料電池発電装置 熱併給(コージェネレーション)発電装置 (23) はつり 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてX線撮影調査 (8) 再使用機材 · 太陽光発電装置 · 風力発電装置 取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを を実施してから、ダイヤモンドカッターを使用すること。 確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。 (概要) |(24) 改修部分の足場 本工事で単独に必要となる足場は、下記により設ける。 (9) 建設リサイクル 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について (1)内部足場 ※ 脚立足場 法の適用 ※ 適用する(契約金額による) ・ 適用しない (2)外部足場 ※ A種(枠組足場) · B種(単管本足場) · C種 · D種 8 構内交換設備 局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。 ※足場を設ける場合は、「「手すり先行工法等に関するガイドライン」につい (10) 完成図書の 完成図書の電子納品ガイドライン ※ 適用する ・適用しない て」(厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等 9) 自動火災報知設備、 電子納品 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載する (1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基 こと。また、完成図の中に主要機器一覧表(名称、製造者名、形式、容量又は ガス漏れ火災警報 (2)総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組 出力、数量等)を記載すること。 設備、拡声設備 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえ 立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関 官公庁等打ち合わせ相手 県営住宅の完成図の提出部数は、A3二つ折り5部とする。 (非常放送設備) で行うものとする。 する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により 打ち合わせ担当者 建築: 行うものとする。 (1 1) 発生材処理 昇降機 引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 10 昇降機設備 特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標 準仕様書(機械設備工事編)による。 施設管理者 (構外搬出処理費は、※本工事 ・別途) (25) その他 (1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成 電力会社 (1)引渡しを要するもの なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。 し、監督員の承諾を受ける。 電話会社 (2)買取処分をするもの (銅屑・鉄屑 (2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製 <u>ケーブルテレビ会社</u> 消防本部 : (3) 再生資源化を図るもの(蛍光管 蛍光管等は再資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 (3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に (4)特別管理産業廃棄物 ( 提出し、承諾後施工する。 ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。 課 長 | 副課長 | 主 幹 | 主 査 | 担 当 | 縮 尺 工事名称 図 名 図面番号 設計年月日

富士見市総合政策部管財課

E - 0.1

電気設備工事特記仕様書

市立難波田城資料館空調設備更新工事



# 照明器具数量表

											 新	設																	女	 去						
器具	A A 3 3 2 2 1 2	A 3 2 2 B	3 2	3 2	B 3 2 2 B	1 (	C D 3 2 2 0 2 1	3	0	F 2 7	F W 2	G H 3 3	H 2 0	6 0	1	N F 1 5 8 C	;		A 4 1	4	A E 4 4 2 1 B		4	2 4	C D 4 2 2 1		0		G 4	G 4	4	H I 2 6 1 0	K N 1 - 3	1 5	P Q 5 6 0 0	
収蔵庫			1	6																	1	6														
	2		'												1				2		<b>'</b>												1			
脱衣室	_									1			1						_									1				1				
	2														1				2														1			
ポーチ 1														2																		2				
作業員室				1	1					1												1	1					1								
整理室	2			5	1																	7	1													
事務室	11	1																		11	1															
会議室	3	1																		3	1															
資料室	8	1																		8	1															
廊下											12				2													1:					2			
休憩コーナー											4				1		•											4					1			
エントランス 1											6				1	1												6					1		0	
エントランス 2											1 2				1	1	)											1:					1		1	
ポーチ2											1 2			2	1	<u>'</u>													_			2	'			
	2								1			1							2								1				1					
	2								3			1							2								3				1					
多目的便所	1																		1																	
前室 2										2																		2								
湯沸室	1						1												1						1											
常設展示室												6 2			3														6 2				3			
特別展示室												2 4			1														2 4				1			
倉庫												4																		4						
講座室	1 6							2							2					16						2							2			
外部照明																5																	5	5		
<b>+</b> +						1																														
売店						1						2												1											2	
納屋							3																		3											
411/ <del>**</del>																																				
				_																																
合 計	10 40	3	1	1 2	2	1   3	3   1	2	4	4	38	92 2	1	4	1 4	5 1	9		10	38	3 1	14	2	1 / :	3 1	2	4	4 3	8   86	4	2	1 4	14 5	5   1	9 2	

	課長	副課長	主査	監督員		JOB MANAGER JOB CAPTAIN DRAFTING BY 工事名称	施工 <sup>年度</sup> 令和元年度 図面番号 <b>一 〇</b>
富士見市総合政策部管財課					一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号	市立難波田城資料館空調設備更新工事	<u> </u>
由工光中心自以来中自对外					(有)梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴	図面名称 照明器具数量表	<u> </u>

# 新設照明器具姿図

A 3 2 1	LED埋込型照明器具 25001mタイプ	B 3 2 1	D富士型照明器具	25001mタイプ LSS9-4-23	C 3 2 2	LED反射笠付型照明器具 52001mタイプ	D 2 0 1	LEDキッチンライト 9801m
A 3 2 2	LED埋込型照明器具 52001mタイプ	B 3 2 2	D富士型照明器具					
A 3 2 2 B	LED埋込型照明器具 52001mタイプ		D富士型照明器具	52001mタイプ				
	非常用照明 バッテリー内臓							
【参考 A321, A322 】	1			LSS10-2-30				
199 1021, 1022	· 	【参考 B321, B322	B202 ]					
			_					
	【参考 A322B】		[*	(同) (同) (同)				
	.ック 埋込 X L X 4 2 O R E N T L E 9 .ック 埋込 X L X 4 5 O V E N T L E 9	【参考 B321 】パナソニック 直 【参考 B322 】パナソニック 直 【参考 B322B】パナソニック 直	付XLX450DENTLE9					
【参考 A322B】パナソニ	LED埋込型照明器具 黒板灯	【参考 B202 】パナソニック 直	付XLX230DENJLE9			直付X L X 4 5 0 K E N T L E 9	【参考】パナソニック	LGB52094LE1 LEDウォールライト 2210lmタイプ
E 3 2 1	32001mタイプ LRS8-4-26		Dダウンライト60形		G 3 2 1	LSS1-4-23	H321	LBF3MP/RP-4-20 LEDウォールライト 10201mタイプ
				形 1605lm <b>φ</b> 150			H 2 0 1	LBF3MP/RP-2-06
		FW27	Dダウンライト150: 	形 1575lm <b>φ</b> 150				
		【参考 F09 】						
		\$						
				【参考 F27 ,FB27】				
【参考】パナソニック	埋込XLX431BSNTLE9	【参考 F09 】パナソニック ダバ 【参考 F27 】パナソニック ダバ 【参考 FB27】パナソニック ダバ	ウンライトXND1560SNL	_ E 9	【参考】パナソニック	直付XLX420NENTLE9		ック NNFW41800JLE9 ック NNFW21800CLE9
I 6 0	LED軒下ダウンライト100形 9951m φ150 防雨型	K 1 B	E D 非常灯専用型 リモニ	コン自己点検機能付	N 1 8	LEDブラケット 10131m 防雨型	P 5 0	LEDュニハ゛ーサルタ゛ウンライト 1 O O 形 5551m
П		_						
\$				<b>O</b>				
				ال				
【参考】パナソニック	ダウンライト×NW1060WNLE9	【参考】パナソニック NNFB LED内蔵、非常時・非常灯用し φ150中天井用(~6m)、30%	ED点灯/常時消灯		【参考】パナソニック	NNY20256	【参考】パナソニック	NTS61121B
	1					I		I
		I						

# 既設照明器具姿図

A 4 1	FL40W × 1	B 4 1	FL40W × 1	C 4 2	FL40W × 1	D 2 1	FL20W × 1
A 4 2	FL40W × 2	B 4 2	FL40W × 2				
4 4 2 B	F L 4 O W × 2 非常用照明 バッテリー内臓	B 4 2 B	FL40W× 2				
		B 2 2	F L 2 O W × 2 非常用照明 バッテリー内臓				
E 4 1	FL40W× 1	F 0 9	FLD9W φ 100	G 4 1	FL40W × 1	H 4 1	FL40W× 1
		F 1 8	FLD18W φ 150	G 4 1 G	FL40W× 1 ガ-ド付	H 2 1	FL20W × 1
		F 2 7	FLD27W φ 150				
I 6 0	IL60-W φ 150	K 1 B	IL-20 φ 150	N 1 8 W	FLD18W	P 5 0	JDR110V50W φ 100
Q 6 O	IL60W						

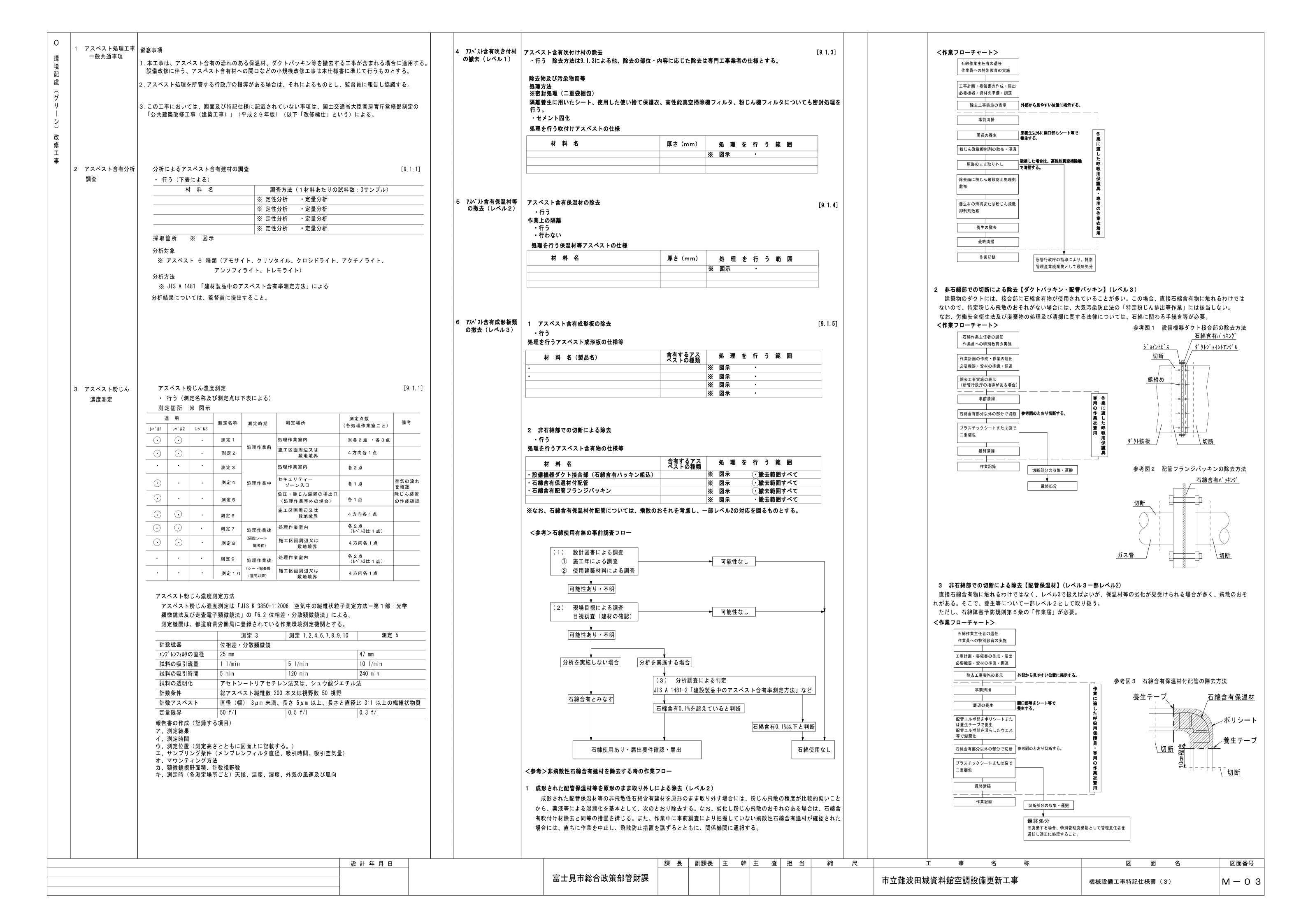
	課長	副課長	主査	監督員	主幹		
		一	一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820				
富士見市総合政策部管財課							(有)梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴

JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称
			市立難波田城資料館空調設備更新工事
			照明姿図

<sup>施工年度</sup> 令和元年度	図面番号
富士見市下南畑 地内	<b>E-4</b> 縮尺 A1: S=1/1 A3: S=1/1

機械設備工事特記仕様書	章 項 目 1 機 材 等	特 記 事 項 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること	(18) 防露保温工事	標準仕様書第2編によるほか下記による。 空気調和設備工事の保温の種別	23 管の埋設深さ	(1)公道上は、道路管理者の指定する深さとする。 (2)構内車両通路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。 (3)その他の場所では、地表面(舗装する部分では路盤材下面)から管の上端まで
I 工事 概要 1 工事名称		使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材は、使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(グリーン購入法)に規定される 特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。		区 分     施 工 箇 所     保 温 種 別       ド レ ン 管     屋内露出(一般居室、廊下)     a1・(ハ)・VII       機械室、書庫、倉庫     b ・ (ハ)・VII	24 既設管分岐・接続	300mmとする。 既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に
о <u>т</u>	2 電気保安技術者	・置く ※置かない		天井内、PS内及び空隙壁中       c2・(ロ)・VII         浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)       e3・(ハ)・VII		規定された工法による。 やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。
4 建物概要	3 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律(S63第91号)に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。		蒸 気 管       屋内露出(一般居室、廊下)       A1・(イ)・II         機械室、書庫、倉庫       B・(イ)・II		※コンクリートの建築物に出入りする箇所の付近の露出部配管 ※鋼管と銅管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分
性     性     型     性     数     (m²)     令別表第一       ①     難波田城資料館     木造     平屋建     (1)口       ②     納屋     木造     2階建     (1)口	4 技能士の適用	<ul><li>配管施工(配管工事) 建築板金施工(風道制作及び取付け)</li><li>・熱絶縁施工(保温工事)・冷凍空気調和機器施工(冷凍空調機器の据付)</li></ul>		天井内、PS内及び空隙壁中       C2・(ロ)・Ⅱ         床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)       D・(ロ)・Ⅱ         屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	-   共   -   通   26 天井仕上げ区分	※50A以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ ・全て絶縁フランジ ( )書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
②   MM	(5)機材の検査及び 試験、施工の検査 及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。 ※飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水 道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験と		及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。) 冷水・冷温水管 屋内露出(一般居室、廊下) A1・(ハ)・Ⅲ	-   〜 -   事   27 他工事との -   頃   取合区分	スリーブ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に 支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明示し、監督員と打合わせ
⑤       工事種目(●印を付いたものを適用する。)		し、公立の保健所、試験所又は認定の試験所(事前に監督員の承諾を得る)に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。		(膨張管、空気抜管、 膨張タンクからボ 天井内、PS内及び空隙壁中 C1・(イ)・Ⅲ	-   頃     1	
建物別及び屋外     エ 事 種 別       エ 事 種 目     ① ② ③ ④ ⑤ 屋外		ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化物イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑪残留塩素の12項目とする。		イラー等への補給 水管を含む。)	29 保 険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。
● 空 気 調 和 設 備     一 式 一 式       ● 換 気 設 備 一 式		※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用 状態に入った後速やかに(概ね3ヶ月以内)流入水・処理水の水質試験を行う。 試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。		(厨房の天井内は含まない。)         温 水 管       屋内露出(一般居室、廊下)       A1・(イ)・I         (膨張管を含む。)       機械室、書庫、倉庫       B・(イ)・I	項 30 配管識別	配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。
O 排 煙 設 備       O 自 動 制 御 設 備       O 衛 生 器 具 設 備	6 監督員事務所	ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。 本工事で ・設ける(規模 ) ※設けない		天井内、PS内及び空隙壁中       C2・(ロ)・I         床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)       D・(ロ)・I	-   (	請負代金が500万円以上のすべての工事について、受注時、変更時及び 完成時に監督員の承諾を受けた後、工事実績情報を登録し、登録結果を
O 給 水 設 備       O 排 水 設 備       O 給 湯 設 備		工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が 代行し遅滞なく行う。		屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。) 及び浴室、厨房等の多湿箇所 E3・(イ)・ I (厨房の天井内は含まない。)	32 そ の 他	監督員に報告する。 
〇 消 火     設 備       〇 厨 房 機 器 設 備		本工事に必要な電力及び水は、構内から使用できるものとしその仮設にかかる費用は、		(注)1. 冷媒管は、断熱材被覆銅管を使用し、外装は下記による。		完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること また、完成図の中に主要機器一覧表(名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量
O ガ ス 設 備	9 工事用仮設物	受注者の負担とする。  すべて受注者の負担とし、構内につくることが ※できる ・できない		屋内露出部 ※保温化粧カバー(※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製) 屋外露出部 ※溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ・SUSラッキング ・保温化粧カバー(※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼鈑製 ・SUS製)		を記載すること。県営住宅の完成図の提出部数は、A3版二つ折り5部とする。 三相誘導電動機はJIS C 4213 (IE3)トップランナーモーターとする 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を
	● 10 足場・さんばし類		•	2. 施工種別Bの材料及び施工順序4、5に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。 3. 機器類の保温材の種別は、(※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材)とする		すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
6 指定部分  ※無    • 有	般 11 残土処分	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。	— 般	ダクトの保温の種別 区 分 施 工 箇 所 保 温 種 別	1 共通事項 	改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記書の一般共通事項による。
7 主任技術者又は監理技術者の専任期間(建設業法により必要になった場合) 1 専任期間の始期	共     通   12 埋め戻し土・盛土	※根切土の中の良質土(但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ・山砂の類	共	長 方 形 ダ ク ト屋内露出 (一般居室、廊下)J1・(イ)・X屋内露出 (機械室、書庫、倉庫)I・(イ)・X屋内隠ぺい、DS内I・(ロ)・X		本工事で単独に必要となる足場は、下記により設ける。 (1)内部足場 ※ 脚立足場 ・ (2)外部足場 ※A種(枠組足場) ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種
・	事 13 再生砂、再生砕石、 項 再生アスコン使用		事	屋外露出 (バルコニー、解放廊下を含む。) 及び浴室、厨房等の多湿箇所 K3・(イ)・X		※足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法に関するガイドライン」によ
主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。 2 専任期間の終期	特	再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。	特	(厨房の天井内は含まない。)         円 形 ダ ク ト       屋内露出(一般居室、廊下)       O1・(イ)・X         屋内露出(機械室、書庫、倉庫)       N・(イ)・X		「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による! 組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式に
工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、 後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。	記   14 発生材の処理等	※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 (構外搬出処理費は ※本工事 ・別途)	事	屋内隠ぺい、DS内       N • (ロ) • X         屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)		行うものとする。
3 専任期間の中断 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、	項	(1) 引渡しを要するもの(       )         (2) 買取処分をするもの(       )         (3) 再生資源化を図るもの(・硬質塩化ビニル管・)       )	項	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)P3・(イ)・X消音内貼りサプライチャンバーM・(ロ)・IX	修    既存家具等養生	(1)関係請負業者と共用部分 ※別契約の関係請負業者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。(種別は(2)による。)
工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。		(4)特別管理産業廃棄物 ( ) (4) ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。	<b>続</b>	消音チャンバー・消音エルボ L・(ロ)・呱	<b>→</b>	(2) 本工事で単独で必要となる養生は、下記による。 ※ビニールシート・合板・
8 工事範囲 図示のとおり 9 機械設備工事概要	(15) 容量等の表示	(1)機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2)電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。	<b>₹</b>	給排水衛生設備工事の保温の種別         区分       施工箇所       保温種別         給水管       屋内露出(一般居室、廊下)       a1・(ハ)・VII	項 4 備品等の移動	・別途工事 ・別途工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事
・全ての空調室外機、室内機を更新する。 ・既設冷媒管、ドレン管、制御線は再利用とする。	16 配 管	(1) 地中埋設配管(排水管を除く) 1) 地中埋設標(コンクリート製) ※要(図示の箇所) ・不要		機械室、書庫、倉庫     b・(ハ)・WI       天井内     c2・(ロ)・WI       PS内及び空隙壁中     —	_ 付 5 仮設間仕切り - 加	(1)関係請負業者と共用部分 ※別契約の関係請負者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。(種別は(2)による。)
・全ての換気扇、給・排気ファンを更新する。 ・既設ダクト、フード、制気口は再利用とする。		2) 地中埋設鋲(キャッツアイ) ※要 (舗装部の分岐、曲部) ・不要 3) 埋設表示テープ (2倍折込み) ※要 ・不要		県営住宅PS内       c2・(ハ)・WI         床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)       —	-   事 -   項 -   )	(2) 本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。 ※A種 単管下地全面シート張り ・
・納屋、売店のルームエアコンを更新する。(冷媒管、ドレン管共)	17 耐震施工	設備機器の固定等は、すべて「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計・・施工指針2014年版」により行う。		屋外露出(バルコニー、解放廊下を含む。) 及び浴室、厨房等の多湿箇所 e3・(ハ)・WI (厨房の天井内は含まない。)	6 撤去後機材の扱い	(1) 改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場 図示区分による。
		ただし、設計用地震力(水平及び鉛直)は次の設計用水平震度 K <sub>H</sub> 及び設計用鉛直 震度 K <sub>V</sub> (K <sub>H</sub> / 2)を用いて計算する。		屋内露出(一般居室、廊下) ― 機械室、書庫、倉庫 ― エサウ		(2) 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有すものは、現場 品として監督員に報告する。
埼玉県環境配慮 ・長寿命機材の選定(2-3-③) ・設備更新を踏まえた計画(2-3-④) 方針の適用項目 ・再生品の優先使用(2-3-⑥)・有害物質の放散量が少ない材料の使用(2-4-②)		設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。 設計用水平震度		排水及び通気管       天井内       c 2・(ロ)・VII         PS及び空隙壁中       —         及び浴室、厨房等の多湿箇所       2 (い) VIII		それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを に提出する。
(12) ・発生材の再資源化を推進(3-1-⑥)・フロン等の回収、破壊を行う(4-1-①) ・		耐震安全性の分類 設置場所 特定の施設 一般の施設		(厨房の天井内は含まない。)       e3・(ハ)・VII         給湯管       屋内露出(一般居室、廊下)       a1・(イ)・I         (膨張管、空気抜管、機械室、書庫、倉庫       b・(イ)・I	_ 7 支持金物の再使用	(1) インサート金物 ・インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用で ※新品
・ゾーニングの工夫 (5-3-①) ・外気冷房制御の導入 (5-3-②) ・搬送動力の低減 (5-3-③) ・ヒートポンプの採用 (5-3-④)		重要機器     一般機器     重要機器     一般機器       上層階     (2.0)     (2.0)     (2.0)     (1.5)       屋上及び塔屋     (2.0)     (4.5)     (4.5)		(膨張管、空気抜管、     機械室、書庫、倉庫     b ・ (イ)・I       膨張タンクからボイラー等への補給     天井内     c 2・ (ロ)・I       PS内及び空隙壁中     d ・ (ロ)・I		(2) 形鋼支持金物等 ・再使用できる ※新品
・熱回収システムの導入(5-3-⑤) ・コージェネレーションの導入(5-4-①) ・節水機器の採用(6-1-①)・雨水利用(6-1-③) ・排水再利用(6-1-④) ・アスコン廃材の再利用(6-3-②) ・再生塩ビ管の採用(6-3-③)		産工及び培産     〈2.0〉     〈1.5〉     〈1.5〉     1.0       1.5     1.0     1.0     0.6       中間階     (1.5)     (1.5)     (1.5)     (1.0)		水管を含む。)	8 あと施エアンカー の種別	金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については 監督員の承諾を受けるものとする。
10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様		<1.5>       <1.0>       <0.6>         1.0       0.6       0.6       0.4		(注)1. 消火、排水及び通気管のうち見えかかり部は塗装を施す。 2. 排水管の管種が耐火二層管、耐火VPの場合は、保温を要しない。	(9) フロン回収	冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する ※破壊プラント搬入 ・フロン再生後引き渡し ・未再生引き渡し 「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」に基づ
を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項 は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通		1階及び地下階     (1.0)     (1.0)     (0.6)       <1.5>     <1.0>     <1.0>     <0.6>		3. 施工種別 b の材料及び施工順序 3、4 に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する4. 機器類の保温材の種別は、(※グラスウール ・ロックウール)とする。		処理すること。
仕様書による。		(注)( )内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 < >内の数値は水槽類に適用する。		5. 消火管屋外露出部保温仕様は、e3・(ハ)・WIとする。 6. 便所内露出SUS管及び流し内露出SUS管は保温を要しない。		※全体再調整 ・改修部及び影響部のみ調整 建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること
11 同時期発注の関連工事 - 建築工事 - 電気設備工事		<ul><li>※上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、 10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階) 中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの (平屋建の場合は無し)</li></ul>		※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、 原則としてF☆☆☆☆とする。	はつり	現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のも 選定すること。
		重要機器は次のものを示す。 給水装置 排水装置 換気機器 空調機器 熱源機器 防災設備 監視制御設備 危険物貯蔵装置	19 防 凍 保 温	※屋外露出給水管(呼び径20以下のみ)は、保温厚50mmの防凍保温を行うこと。 ・図示の屋外露出部(給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。)は		粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源をなど環境対策に配慮すること。
1 共通仕様 (1)この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」		火を使用する設備 避難経路上に設置する機器		下記仕様により防凍保温を行う。 ※保温仕様は保温厚さを呼び径32以下は50mm、呼び径40以上は40mmとする。 ・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。	(12) そ の 他	(1)図面上の縮尺は、発注図の大きさを日本工業規格A1版とした縮尺とする。 (2)受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを
という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)、 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)、公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) (以下「標準仕様書等」という。)及び監督員の指示に従い施工する。	(17-1) あと施エアンカー 	機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカー	20 塗 装	下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。		行うこと。
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。 (2)電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用		ボルトを選定すること。 施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技		※機械室、書庫、倉庫 下記の金属電線管は塗装を行う。 ※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出(※見えかかり部 )		(3)特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では夏休み期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
する。 (3)法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。		能及び経験を有した者が行うこと。   金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付する   こと。	②1) 電 線	表示なき電線は、600Vエコマテリアルケーブルとする。		(4) FF式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について FF式温風暖房機の一時取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者 製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの
2 特記仕様 (1)章は●印の付いたもの、項目は番号に〇印の付いたものを適用する。		接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、 埋込みの完了が分かる記録を添付すること。	(22) はっり	ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてX線撮影調査を		(一財)日本石油燃焼機器保守協会)が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後
(2)特記事項のうち選択する事項は、⊙印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない ⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。	0	(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。) あと施エアンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。	, ,	実施してから、ダイヤモンドカッターを使用すること。		に行うこと。
	設計年月日		課長副課長主	幹 主 査 担 当 縮 尺	事 名 称	図 面 名 図面番
		富士見市総合政策部管財課   		市立難波田城資料館	空調設備更新工事	機械設備工事特記仕様書(1)

1 設計温湿度	外 気 屋 内	1 長方形ダクト	※低圧ダクト(亜鉛鉄板製)	1 配管材料		面指示(図面指示が不足する箇所は下記) による。	1 配管材料	・露出部 M銅管 その他 保温付被覆銅管(M銅管)
	方     XI     一般系統       温度(DB)     温度(RH)     温度(DB)     温度(RH)     温度(DB)     温度(RH)     温度(DB)     温度(RH)     温度(DB)     温度(RH)     温度(RH)     温度(DB)     温度(RH)     20     ©     96     ©     96     ©     96     ©     96     ©     96     96     ©     96     ©     96     ©     96     ©     96     ©     96     ©     96     ©     96     ©     96     ©     96     ©     96     ©     96     ©     96     ©     96     96 <t< td=""><td></td><td>長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト(亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト(亜鉛鉄板製)</td><td>0</td><td>施工 箇 所 床下、暗渠内(ピット内、 ウエット厨房、浴室等の温 保温をしない屋外露出部</td><td>共同溝を含む。) ※SUS ·SGP-PD ・HIVP</td><td>O 2 絶縁フランジ</td><td>・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) 取付部は下記による。</td></t<>		長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト(亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト(亜鉛鉄板製)	0	施工 箇 所 床下、暗渠内(ピット内、 ウエット厨房、浴室等の温 保温をしない屋外露出部	共同溝を含む。) ※SUS ·SGP-PD ・HIVP	O 2 絶縁フランジ	・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) 取付部は下記による。
(2) 総合試運転調整	※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。	● <sub>塩</sub> ② 円形ダクト	- 高圧「ダクト(亜鉛鉄板製) - 高圧とダクト(亜鉛鉄板製) - ステンレス製ダクト(・A区分 ※B区分)・塩ビ製ダクト(・A区分 ※B区分   ※スパイラルダクト(※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管(VU	八	地中埋設部(水道直結部分	<ul><li>・ H I V P ・ 水道用ステンレス鋼管</li><li>・ 水道用ポリエチレン管</li></ul>	と 一般	※鋼管と銅管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分
2 松白风连私勋正	A	換   <del>と   1   1   1   1   1   1   1   1   1   </del>	・耐火二層換気管(大臣認定品) ※フレキシブルダクト(・保温付 ・保温無) (注)1 使用区分は図示による。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		<ul><li>※HIVP ・水道用ポリエチレン管</li><li>・水道配水用ポリエチレン管(PE)</li></ul>	設   3 弁 類   備 	(1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。
♥     空     気	室内外空気の温湿度の測定       ※する・しない         室内気流及びじんあいの測定       ・する ※しない         初期運転状態の記録       ※する・しない	備 3 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト		県営住宅 住戸内 その他の部分	<ul><li>※ポリブテン管(さや管へッダー工法)</li><li>※SUS ・SGP-PD ・HIVP</li><li>・ポリブテン管</li></ul>	4 ガス瞬間湯沸器 5 電気給湯器	※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型 飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。
和	工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する・しない	4 チャンバー	(1)内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2)消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさして記のとおりとする。		床下、暗渠内(ピット内、 湿潤シンダー内配管 中 保温をしない屋外露出部	<pre> %SUS ·SGP-PD ·HIVP %SUS ·SGP-PD</pre>		
<sup>                                    </sup>	<ul><li>(1)鉄板厚 (※3.2mm・4.5mm)</li><li>(2)ばい煙濃度計 ※設ける・設けない</li><li>(3)ばいじん量測定口 ※設ける(測定口は80Φとする)・設けない</li></ul>		・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。		小配   地中埋設部(一般部分)   管	<ul><li>※HIVP ・水道用ポリエチレン管</li><li>・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</li></ul>	〇 1 配管材料	屋内消火栓用       一般配管※SGP(白)       - STPG370(白)Sch40         地中埋設※SGP-VS       - HIVP
4 煙 突	※別途 ・本工事	5 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式(※遠隔 · )定格入力DC24V, 0.7A (2) ピストンダンパー 復帰方式(※遠隔 · )	以下		※SUS ・SGP-PD ・HIVP   ・ポリブデン管   48 またはJWWA G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は   3°42 ************************************		消火用一般配管※SGP(白)・STPG370(白)Sch40地中埋設※SGP-VS・HIVP不活性ガス消火用※STPG370(白)Sch40・STPG370(白)Sch80
(5) 長方形ダクト	<ul> <li>※低圧ダクト(亜鉛鉄板製)</li> <li>長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法</li> <li>・アングルフランジ工法</li> <li>それ以外の部分 ※アングルフランジ工法</li> <li>・高圧1ダクト(亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト(亜鉛鉄板製)</li> <li>・ステンレス製ダクト(・A区分 ※B区分)・塩ビ製ダクト(・A区分 ※B区分)</li> </ul>	6 多湿箇所の排気 ダクト	(1)排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管(VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管)を使用できる。 ※浴室(シャワー室、脱衣室を含む) (2)水抜き管は(※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 · )の排象 クトには設ける	<b></b>	2. ステンレス管に取付け 3. 飲料水以外の給水管は	プルス・拡管)便所・廊下流し廻り露出配管(※拡管)とする。 る弁は、JV8-1による。 、、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続 かため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水	2 建物導入部配管	図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4(・(a)・(b)・(c))
6 円形ダクト	※スパイラルダクト(※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管(VU) ・換気用耐火二層管(大臣認定品) ※フレキシブルダクト(・保温付 ・保温無)	7 保 温	下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト	2 一体形タンク	図面及び特記仕様書に記載さ	準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、 れた耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。	〇 ガ ス 設	都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 液化石油ガス 一般配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 SGP(白) 地中埋設 ※ PE管
7 風量測定口	(注) 1 使用区分は図示による。 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。		仕様はN・(ロ)・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より 1mの部分とする。			呼び13の水栓は、節水コマとする。 、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は	備 2 ガス漏れ警報 遮断装置	漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。
8 チャンバー	送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンバーの分岐ダク (1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。		※ ( ※ 厨房 ・ 湯沸室 ・	: し	※親メーター(※貸与品・		3 液化石油ガスの 供給権	ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。
	(2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバ及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750		風量調整	5 重水奋桝     6 弁 類		、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、	O 1 厨房機器の固定 厨	原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。
	(3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。			7 水 栓 柱	※防寒コンクリート水栓柱(	1200 L) - 不凍給水栓	設 備 2 シンク用水栓	※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓
ボックス	※亜鉛鉄板製・グラスウール製	1 ダ ク ト 2 排煙口の形式	※亜鉛鉄板 ・ ※天井取付(・スリット形 ※スイング形)	8 建物導入部配管	図示部分について下記のとお ※埋設用フレキシブルジョイ	ント2本をL字状に設ける。	3 安全装置の機能 の適用	標準仕様書第5編 1・6・1 の表5.1.6安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。
10 ダンパー	<ul><li>(1) 防煙ダンパー 復帰方式(※遠隔 ・ )定格入力DC24V, 0.7A以<sup>-</sup></li><li>(2) ピストンダンパー 復帰方式(※遠隔 ・ )</li></ul>	O +41-	<ul><li>壁取付 (・スリット形 ・スイング形)</li></ul>		● 標準図施工 4 ( ● (a)		舗装版切断時に発生する	る濁水の処理に係る特記仕様書
11) 配管材料	(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管(白)・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管(白)・ (3) ブライン管 ※配管用炭素鋼鋼管(黒)・	排     3     排煙口手動開放       煙     装置       品     #	開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要)	9 検針方法	うえ施工すること。	する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整の	舗装版切断時に発生	議書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト する濁水(以下「濁水」という。)の処理に関し必要な事項を定めるものである。
	(4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 •10以上 液管 •20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。	4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書 ((一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の 検査方法に準ずる。	1 O 水道利用加入金 1 1 本管取出し	水道本管からの給水取出し	する。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。 エ事は、本工事範囲とする。また、取出し部における		回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 聖量 汚泥(油分を含む汚泥) m3 と 市 地内、(株) ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却又は溶融含まず)
	(5) ドレン管(屋外) ※配管用炭素鋼鋼管(白) • 硬質塩化ビニル管 V P ドレン管(屋内) ※保温機能付空調用ドレン管(エスロンACドレンパイプ相当品) • 耐火二層管 V P (F D P S - 1)	1 中央監視制御装置	・有り ※無し 図示による		舗装の復旧も含む。		2 受注者は、別	・中間処理後、最終処分場又は再資源化(処理に焼却又は溶融を含む) 川の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収
	・配管用炭素鋼鋼管(白) ・硬質塩化ビニル管VP(消防協議事項: )	目   2 構成・機能   動     制     <sub>御</sub>   3 電気計装用機材	使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。	1 配管材料	施工箇序	11	とする。	棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するもの
	ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6)油管 ※配管用炭素鋼鋼管(黒)・ (7)蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管(黒)・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)Sch40・ステンレス鋼管		屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。		床下、暗渠内(ビット内、   雑 厨房等の温排水   排 耐火性能を要求される箇所	共同溝を含む。) ※リサイクルVP又はRF-VP ・VP ※SGP(白)・ ※耐火二層管VP(FDPS-1)又は耐火VP ・SGP(白)	なければならなし 3 受注者は、自	泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結し いものとする。 ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業 委託契約を締結しなければならないものとする。
	(8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管(白) ・		JIS B 2026(自動水栓)による電気開閉式とし、小便器(※一体形・分離形)とする・小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形	)。 O 排	配   管   その他の部分   床下、暗渠内(ピット内、:	※リサイクルVP又はRF-VP ・VP	て定める産業廃	水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律におい 棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。 施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなけれ
12 弁 類	規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書によるまた、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。		・	水 設	汚	111111111111111111111111111111111111111	ばならないものと 締結した委託契約 2 受注者は、エ	する。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき  書の写し及び許可証の写しを添付すること。  事検査時にマニフェスト原本を提示する。
13 温 度 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共) ※空気調和機の冷温水管(出入口共 ※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンバー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンバー	衛	・シャワー ペケーモスダット式 ・ミキシング式         ※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド         ・鏡 ※600×800(耐食鏡) ・傾斜鏡(・照明無 ・照明付)	備	その他の部分 地中埋設部	※リサイクルVP又はRF-VP・VP ※リサイクルVU又はRS-VU・VU ・卵形管(ゴム輪接合)	設計変更の対象 <i>と</i> 2 受注者は、舗	については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として こしないものとする。 i装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員
14 圧 カ 計	外気取入ダクト及びレダンチャンパー ※冷温水ヘッダー(往)及び各還り管 ※熱交換器の温水管(出入口) ・ 取付部は下記による。	具 3 衛生器具付属水栓 設	(1)器具付属止水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 (2)水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。		通 IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	※REP-VU(軽荷重の場合) ・リサイクルVP又はRF-VP ・VP	と協議するもの 3 この特記仕様	)とする。 表書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。
	※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共) ※空気調和機の冷温水管(出入口共) ※冷温水へッダー(往)及び各還り管 ※熱交換器の温水管(出入口)	備 4 自動水栓類の電源 5 暖房便座	※AC100V ・乾電池等 ・自己発電 (1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。		通 耐火性能を要求される箇所 気 配	※耐火二層管VP(FDPS-1)又は耐火VP・SGP(白)		
15 瞬間流量計	瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は(※1個 • 個)付属とする。 • 熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに(※固定形 • 着脱形)を設ける		(2)機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房 (3)温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式 (4)使用流体は、飲料用水道水とする。 (5)リモコン ※AC100V ・乾電池等 ・自己発電		RF-VP、RS-VU又は、 2. 雨水排水を含む場	※リサイクルVP又はRF-VP・VPリサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。		
16 油面制御装置	・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに(※固定形 ・着脱形)を設ける。 ※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ(※固定形 ・着脱形)を設ける。 制御盤には(※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御	6 大便器洗浄弁・ 洗浄用タンク	器具表又は下記の場合を除き、※節水 I 型・節水 II 型とする。 ・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式(※センサー式・タッチスイッチ式) ・( )部分で使用する大便器洗浄弁は低圧形とする。	2 洗面器等の排水管	意 洗面器等に直結する排水管	は、器具トラップより1サイズアップする。		
	・返油ポンプ制御 )の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。		※設ける(ピット内は除く) ・設けない	3 満水試験継手	3階以上にわたる排水立て ※掃除口付きソケット・	管には、各階毎に次の継手を設ける。 満水試験用掃除ロソケット		
17 冷却塔	※直交流式 ・向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	8 掃除流し 9 排水器具用ゴム継手	<ul><li>※共栓なしとする。</li><li>・共栓付とする。</li><li>※使用できる</li><li>・使用できない</li></ul>	4 桝の適用	別紙桝表による。			
18 空気熱源ヒート	標準仕様書によるほか下記による。 (1)圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御・オンオフ制御	10 標 記 板	大便器、小便器の洗浄水用に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。					
ポンプ空調機 	(2) 冷媒 HFC( R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを 使用すること。	11 水せっけん入れ	せっけん供給栓等がない場合は、洗面器、手洗器に必ず設ける。					
	(注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	12 擬音装置             13 そ の 他	・女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・男子用トイレブースに設置する。(・本工事 ※別途工事) ・多目的トイレブースに設置する。(・本工事 ※別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。					
		設計年月日		課長副課長主	幹 主 査 担 当	縮尺工事	事 名 称	図 面 名 図面番号
			富士見市総合政策部管財認			市立難波田城資料館空	調設備更新工事	機械設備工事特記仕様書(2)



### ■空調機器表(難波田城資料館) 新設

図中記号	名称	設置場所	設置数(台)	形	式	冷房能力(KW/h)	暖房能力(KW/h)	電源(φ-V)	圧縮機出力(KW)	送風機出力(KW)	機外静圧(Pa)	冷媒管接続口径 (mm×mm)	備考	工事内容
AC-1	マルチ型冷暖房 屋外機	屋外	1	インバータマル		56	63	3–200	5. 514×2	0.1×4		19. 05 × 38. 1	公共建築工事標準仕様 アクティブフィルター付 SUS製防雪フード 防振架台	新設
AC-1-1	マルチ型冷暖房 屋内機	常設展示場	2	天井埋込ダクト! (ドレンアップポ	ポンプ内蔵型)	11. 2	12. 5	1–200		0. 185	50 (高速:80)	9. 52 × 19. 05	ドレインアップポンプ内臓	新設
AC-1-2	マルチ型冷暖房 屋内機	特別展示場	2	天井埋込ダクト? (ドレンアップポ	ペンプ内蔵型)	7. 1	8	1–200		0. 09	45 (高速:80)	9. 52 × 15. 88	ドレインアップポンプ内臓	新設
AC-1-3	マルチ型冷暖房 屋内機	ホール	2	天井埋込ダクト3 (ドレンアップポ		7. 1	8	1–200		0. 09	45 (高速:80)	9. 52 × 15. 88	ドレインアップポンプ内臓	新設
AC-2	マルチ型冷暖房 屋外機	屋外	1	インバータマル	チ屋外機	28	31.5	3–200	7. 5	0.1×2		12.7 ×28.58	   公共建築工事標準仕様 アクティブフィルター付 SUS製防雪フード 防振架台	新設
AC-2-1	マルチ型冷暖房 屋内機	講座室	2	天井カセット四7 (ドレンアップポ		11. 2	12. 5	1–200		0. 08		9. 52 × 19. 05	標準リモコン	新設
AC-2-3	マルチ型冷暖房 屋内機	会 議 室	1	天井カセット四7 (ドレンアップボ		5. 6	6. 3	1–200		0. 025		9. 52 × 15. 88	標準リモコン	新設
AC-3	マルチ型冷暖房 屋外機	屋外	1	インバータマル	・チ屋外機	28	31. 5	3–200	7. 5	0.1×2		12. 7 × 28. 58	   公共建築工事標準仕様 アクティブフィルター付 SUS製防雪フード 防振架台	新設
AC-3-1	マルチ型冷暖房 屋内機	事務室	1	天井カセット四2 (ドレンアップポ		14	16	1–200		0. 13		9, 52 × 19. 05	標準リモコン	新設
\C-3-2	マルチ型冷暖房 屋内機	整理室	1	天井カセット四7 (ドレンアップポ		8	9	1–200		0. 04		9. 52 × 15. 88	標準リモコン	新設
AC-3-3	マルチ型冷暖房 屋内機	作業員室	1	天井カセット四2 (ドレンアップボ		4. 5	5	1–200		0. 055		8. 35 × 12. 7	標準リモコン	新設
CC-1	冷暖房機 集中コントローラー	事務室	1	制御機能:発揮(一	-括・グループ 況・優先指示・	┃ ・個別)・グルー〕 ・運転モード・風 <u>』</u>	┃ プ設定・運転モー 量・設定温度・オ-	ド切替・室温設? - トスイング・3	┃ 定・暖房切替・強制 室温表示・フィルク	┃ 削停止・デマンドキ ヌ ーサイン・点検 <sup>-</sup>	             	┃ ·及び点検サインリセ	ット	新設

# ■空調機器表(納屋·売店) 新設

図中記号	名称	設置場所	設置数(台)	形式	冷房能力(KW/h)	暖房能力(KW/h)	電源(φ-V)	圧縮機出力(KW)	始動電流(A)	冷媒ガス種	冷媒管接続口径 (mm×mm)	備考	工事内容
RC-1	空冷ヒートポンプエアコン	納屋	1	壁掛形ルームエアコン	4. 0	5. 0	1–200	1. 10	4. 5	R32	9. 5 × 6. 4	ドレン管: VP20	新設
RC-2	空冷ヒートポンプエアコン	売 店	1	壁掛形ルームエアコン	4. 0	5. 0	1–200	1. 10	4. 5	R32	9. 5 × 6. 4	ドレン管:VP20	新設

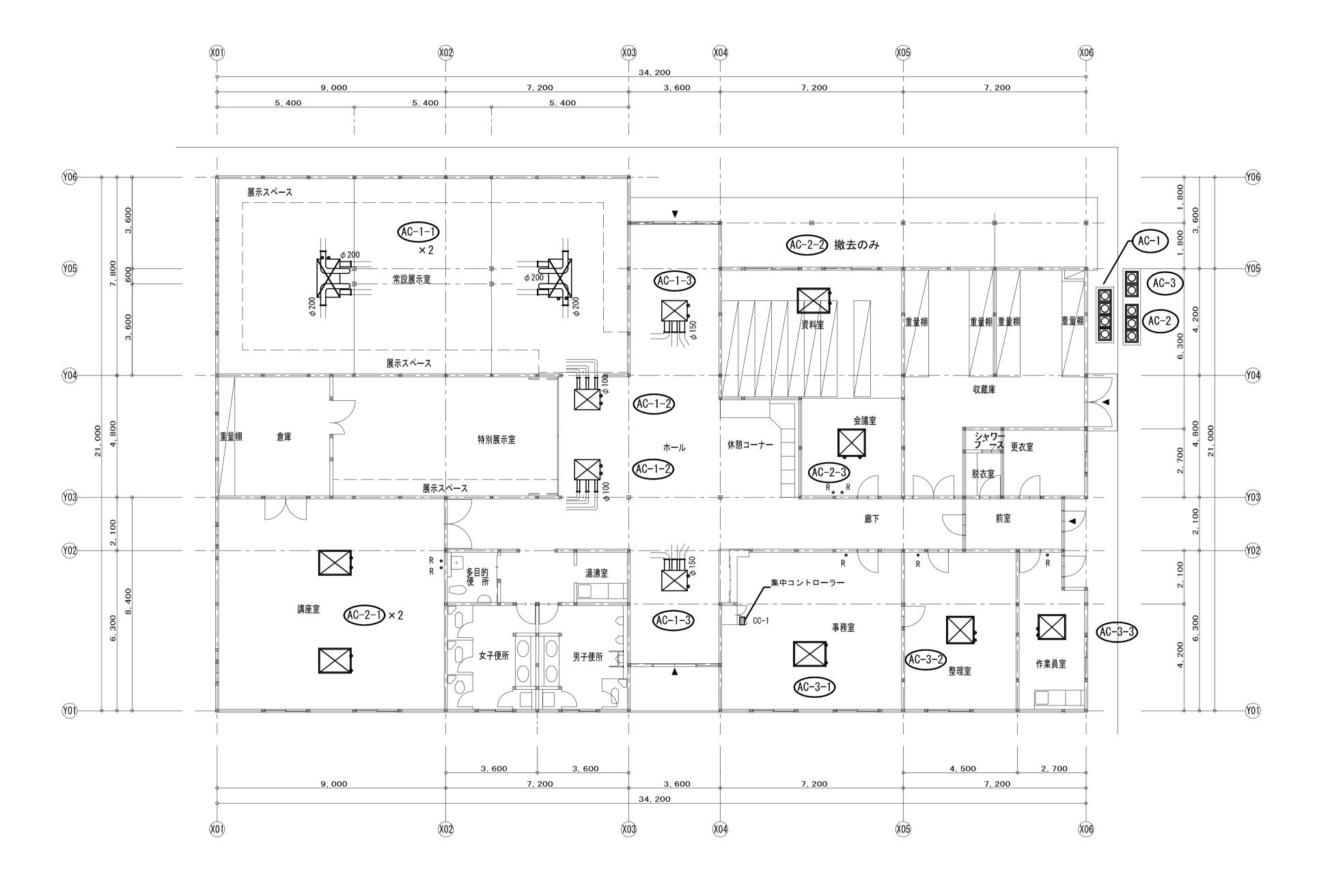
## ■空調機器表(難波田城資料館) 撤去

図中記号	名称	設置場所	設置数(台)			き力(KW/h) 暖	張能力(KW/h)	電源(φ-V)	圧縮機出力(KW)	送風機出力(KW)	機外静圧(Pa)	冷媒管接続口径 (mm×mm)	備考	工事内
AC-1	マルチ型冷暖房 屋外機	屋外	1	インバータマルチ原	<b>屋外機</b>	56	63	3–200	5. 514×2	0.1×4		19. 05 × 38. 1		既設撤去
AC-1-1	マルチ型冷暖房 屋内機	常設展示場	2	天井埋込ダクト型 (ドレンアップポン)	プ内蔵型) 1	1. 2	12. 5	1–200		0. 185	50 (高速:80)	9. 52 × 19. 05	ドレインアップポンプ内臓	既設撤去
\C-1-2	マルチ型冷暖房 屋内機	特別展示場	2	天井埋込ダクト型 (ドレンアップポン)	プ内蔵型) 7	7. 1	8	1–200		0. 09	45 (高速:80)	9. 52 × 15. 88	ドレインアップポンプ内臓	既設撤去
AC-1-3	マルチ型冷暖房 屋内機	ホール	2	天井埋込ダクト型 (ドレンアップポン)	プ内蔵型) 7	7. 1	8	1–200		0. 09	45 (高速:80)	9. 52 × 15. 88	ドレインアップポンプ内臓	既設撤去
.C-2	マルチ型冷暖房 屋外機		1	インバータマルチ原	로外機 3!	5. 3	40	3–200	5. 513. 75	0.1×3		15. 88 × 31. 8		
AC-2-1	マルチ型冷暖房 屋内機	講 座 室	2	天井カセット四方向 (ドレンアップポン:		1. 2	12. 5	1–200		0. 08		9. 52 × 19. 05	標準リモコン	既設撤去
C-2-2	マルチ型冷暖房 屋内機		1	天井カセット四方向	吹出型	9	10	1–200		0. 04		9. 52 × 15. 88	標準リモコン	既設撤去
AC-2-3	マルチ型冷暖房 屋内機	会 議 室	1	天井カセット四方向 (ドレンアップポン)	h	5. 6	6. 3	1–200		0. 025		9. 52 × 15. 88	標準リモコン	既設撤去
\C-3	マルチ型冷暖房 屋外機	屋 外	1	インバータマルチ原	量外機	28	31. 5	3–200	7. 5	0.1×2		12.7 ×28.58		既設撤去
AC-3-1	マルチ型冷暖房 屋内機	事務室	1	天井カセット四方向 (ドレンアップポン		14	16	1–200		0. 13		9, 52 × 19. 05	標準リモコン	既設撤去
\C−3−2	マルチ型冷暖房 屋内機	整理室	1	天井カセット四方向 (ドレンアップポン		8	9	1–200		0. 04		9. 52 × 15. 88	標準リモコン	既設撤去
\C−3−3	マルチ型冷暖房 屋内機	作業員室	1	天井カセット四方向 (ドレンアップポン)	I /	4. 5	5	1–200		0. 055		8. 35 × 12. 7	標準リモコン	既設撤去
CC-1	冷暖房機 集中コントローラー	事務室	1	制御機能:発揮(一括 監視機能:運転状況・								 及び点検サインリセ	<u> </u> :ット	

# ■空調機器表(納屋・売店) 撤去

図中記号	名 称	設置場所	設置数(台)	形 式	冷房能力(KW/h)	暖房能力(KW/h)	電源(φ-V)	圧縮機出力(KW)	始動電流(A)	冷媒ガス種	冷媒管接続口径 (mm×mm)	備   考	工事内容
RC-1	空冷ヒートポンプエアコン	納屋	1	壁掛形ルームエアコン	4. 0	5. 0	1–200	1. 10	6. 9	R410A	9. 5 × 6. 4	ドレン管: VP20	既設撤去
RC-2	空冷ヒートポンプエアコン	売 店	1	壁掛形ルームエアコン	4. 0	5. 0	1–200	1. 10	6. 9	R410A	9. 5 × 6. 4	ドレン管: VP20	既設撤去

	課長副課長主査監督員主	1	JOB MANAGER JOB CAPTAIN DRAFTING BY エ	工事名称	施工年度	図面番号
ᇢᅩᄝᆂᄵᇫᅚᄬᅘᅂᄜᆖ		一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号		市立難波田資料館空調設備更新工事		M-0 4
富士見市総合政策部管財課		(有)梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴		<sup>図面名称</sup> 空調設備 機器表	富士見市大字下南畑 地内	縮尺 A1:S=1/100 A3:S=1/200



資料館 平面図 1:100

# ■工事概要

- 1、既設空調室内機・室外機を更新する。(資料室のみ撤去処分) 2、更新機器は既設配管・配線を接続する。
- 室内機用ドレン管のみ1m/台を更新に見込む。
- 3、機器撤去に伴う冷媒ガス回収・処理は本工事とする。
- 4、ダクト接続の室内機はチャンバ―BOXも更新とする。

	課長副課長主査監督員主幹	JOB MANAGER JO	OB CAPTAIN DRAFTING BY 工事名称	施工年度	図面番号
<b>宣士</b> 目士 <b>公</b> 人 <u></u>		一 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号	市立難波田城資料館空調設備更新工事		—— M−0 5
富士見市総合政策部管財課		(有)梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴	図面名称 空調設備平面図	富士見市大字下南畑 地内	A1: S=1/100 A3: S=1/200

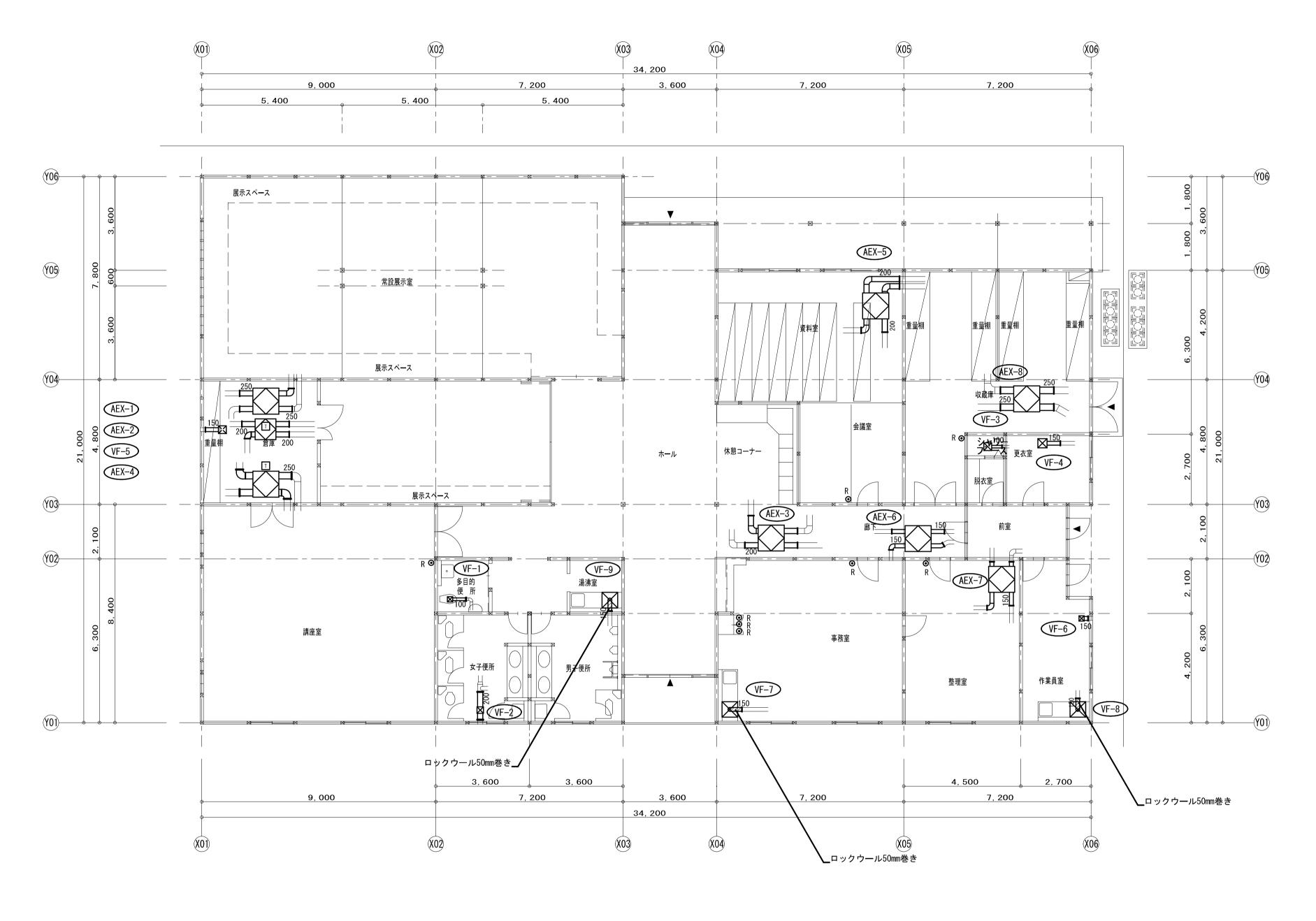
## 機 器 表(換気設備機器)

図中記号	名称	設置場所	設置数量(台)	形式	換気風量(m/h3)	機外風圧(Pa)	電源( <i>φ</i> -V)	送風機出力	ダクトロ径(mmφ)	備	考 工事内容
AEX-1	熱交換器付換気扇	倉 庫	1	天 井 埋 込 型	750	150	1–200	475	250	コンロスイッチ共 一括	既設撤去・新設
AEX-2	熱交換器付換気扇	倉 庫	1	天 井 埋 込 型	480	90	1-200	174	200	コンロスイッチ共 一括	既設撤去・新設
AEX-3	熱交換器付換気扇	廊下	1	天 井 埋 込 型	330	100	1–200	138	200	コンロスイッチ共 一括	既設撤去・新設
AEX-4	熱交換器付換気扇	倉 庫	1	天 井 埋 込 型	1110	100	1-200	545	250	コンロスイッチ共 手元	既設撤去・新設
AEX-5	熱交換器付換気扇	資料室・会議室	1	天 井 埋 込 型	330	100	1–200	138	200	コンロスイッチ共 手元	既設撤去・新設
AEX-6	熱交換器付換気扇	廊下	1	天 井 埋 込 型	240	70	1–200	119	150	コンロスイッチ共 手元	既設撤去・新設
AEX-7	熱交換器付換気扇	整理室	1	天 井 埋 込 型	280	40	1–200	119	150	コンロスイッチ共 手元	既設撤去・新設
AEX-8	熱交換器付換気扇	収 蔵 庫	1	天 井 埋 込 型	780	150	1–200	475	250	コンロスイッチ共 手元	既設撤去・新設
VF-1	天 井 扇	多目的便所	1	低 騒 音 型	100	50	1–100	15	100	VD-15ZC2	既設撤去・新設
VF-2	中間ダクトファン	女子便所	1	天吊埋込型・静音型	700	100	1–100	96	200	BFS 65S	既設撤去・新設
VF-3	天 井 扇	シャワー室	1	低騒音型	20	50	1–100	8. 4	100	VD-10CZ2	既設撤去・新設
VF-4	天 井 扇	更 衣 室	1	低騒音型	200	50	1–100	25	100	VD-18ZB4	既設撤去・新設
VF-5	天 井 扇	倉 庫	1	低騒音型	560	50	1–100	98	150	VD-23ZP4	既設撤去・新設
VF-6	天 井 扇	作業員室	1	低騒音型	200	50	1–100	25	150	VD-18ZB4	既設撤去・新設
VF-7	レンジフードファン	事 務 室	1	60cm幅深型レンジフードファン	600	50	1–100	123	150	V-605K	既設撤去・新設
VF-8	レンジフードファン	作業員室	1	60cm幅深型レンジフードファン	600	50	1–100	123	150	V-605K	既設撤去・新設
VF-9	レンジフードファン	湯沸室	1	60cm幅深型レンジフードファン	600	50	1–100	123	150	V-605K	既設撤去・新設

## 火気使用室の換気

記号	系 統	階	室名	ガス機器名称	ガス消費量 (kcal/h)(0)		汁 算 式 V=40*K*0	必要換気量 (m3/h)	決定換気量 (m3/h)	選定換気扇
					(KOa1/11) (O)	(40)	(K)	(1110/11)	(1110/11)	
VF-7	火気使用室	1	事務室	ガス給湯器 5号先止式 ガスコンロ 2ロガスコンロ 計	8, 100 5, 200 13, 300	40	0. 00108	574. 56	580	三菱電機 レンジフードファン(V-605K) 仕様:60cm幅 × 600 m3/h × 123 W 接続ダクト径:150 φ チェック:580(m3/h)<600(m3/h) <u>故に0K</u>
VF-8	火気使用室	1	作業員室	ガス給湯器 5号先止式 ガスコンロ 2ロガスコンロ 計	8, 100 5, 200 13, 300	40	0. 00108	574. 56	580	三菱電機 レンジフードファン(V-605K) 仕様:60cm幅 × 600 m3/h × 123 W 接続ダクト径:150 φ チェック:580(m3/h)<600(m3/h) <u>故に0K</u>
VF-9	火気使用室	1	湯 沸 室	ガス給湯器 5号先止式 ガスコンロ 2ロガスコンロ 計	8, 100 5, 200 13, 300	40	0. 00108	574. 56	580	三菱電機 レンジフードファン(V-605K) 仕様:60cm幅 × 600 m3/h × 123 W 接続ダクト径:150 φ チェック:580 (m3/h) <600 (m3/h) <u>故に0K</u>

	課長副課長主査監督員主幹		JOB MANAGER JOB CAPTAIN	DRAFTING BY 工事名称	施工年度	図面番号
<b>富士日士纵入北华加华</b> 时部		一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号		市立難波田城資料館空調設備更新工事		M-06
富士見市総合政策部管財課		(有)梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴		<sub>図面名称</sub> 換気設備 機器表	富士見市大字下南畑 地内	縮尺 A1: S=1/100 A3: S=1/200

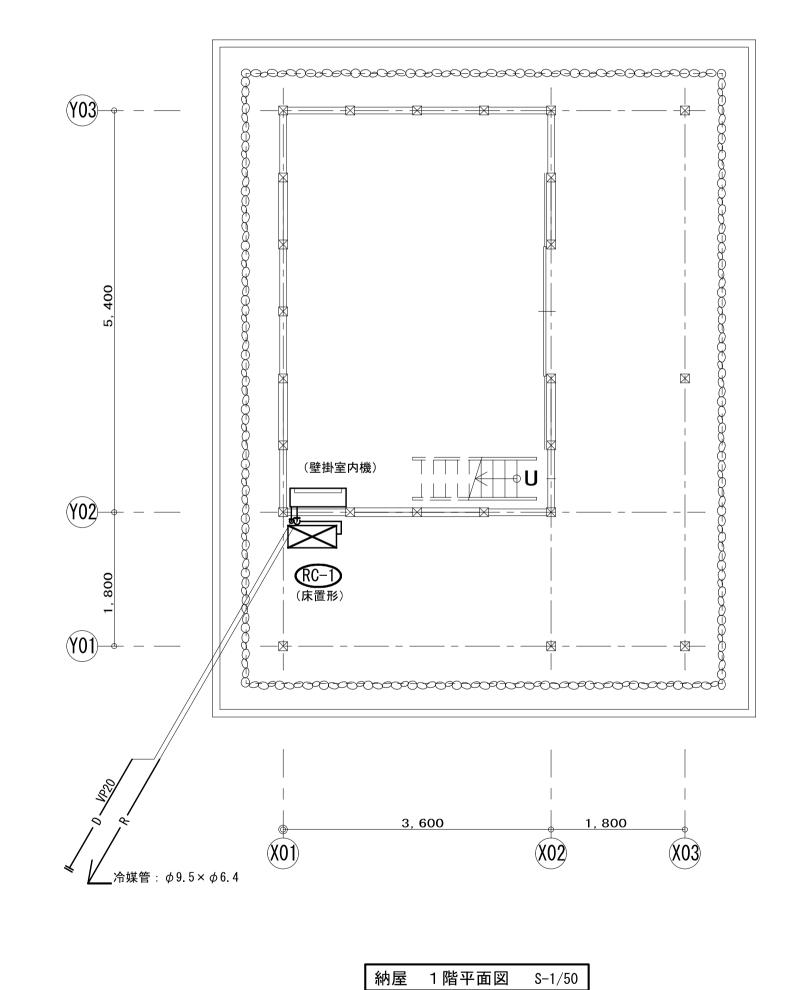


資料館 平面図 1:100

## ■工事概要

- 1、既設換気扇(全熱交換換気扇・レンジフードを含む)を更新する。 2、更新機器は既設ダクト・配線に接続する。
- ダクト類のみ0.5m/箇所を更新に見込む。
- 3、機器更新に伴う制気口の取外し再取付は本工事とする。
- 4、全熱交換換気扇の全てのダクト及び外壁面より1m以内の排気ダクトはグラスウール25mm巻きとする。
- 5、レンジフード排気ダクトはロックウール50mm巻きとする。
- 6、全熱交換換気扇のスイッチは電気工事へ支給する。

課	! 長 副課長 主 査 監督員 主 幹 ■		JOB CAPTAIN DRAF	TING BY		施工年度	図面番号
<b>富士县主</b> 级人政策如练肚珊		一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号			市立難波田城資料館空調設備更新工事	工事場所	M-0 7
富士見市総合政策部管財課		(有)梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴		図	<sub>面名称</sub> 換気設備平面図	富士見市大字下南	<u>新畑 地内</u> 縮尺 A1: S=1/100 A3: S=1/200



※屋外冷媒管カバーは建築工事にて化粧する

■工事概要 1、既設空調室外機・室内機及び冷媒管・ドレン管を撤去・新設する。 2、既設室外機の撤去に伴い冷媒ガスの回収・処理は本工事とする。 3、屋外室外機・冷媒配管の隠ぺい措置は建築工事とする。

売店 1階平面図 S-1/50 ※屋内冷媒管カバーは樹脂製とし、本工事とする。 屋外カバーは無し

	課長副課長	主 査 監督員 主 幹		AGER JOB CAPTA	N DRAFTING BY	工事名称	施工年度	図面番号
富士見市総合政策部管財課			一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 大臣登録第137820号			市立難波田城資料館空調設備更新工事		M-08
一			(有)梶 芳晴建築設計研究所 1級建築士 梶 芳晴			図面名称 納屋 • 売店 空調設備平面図	富士見市大字下南畑 地内	A1: S=1/50 A3: S=1/100